

## Ⅱ－２－２） 小児及び思春期の気管支ぜん息患者の重症度等に応じた健康管理支援、保健指導の実践及び評価手法に関する調査研究

代表者：大 矢 幸 弘

### 【研究課題全体の目的、構成】

わが国の小児気管支喘息の治療・管理ガイドラインは数回の改定を経て欧米先進国のそれに比肩する優れた内容を有するに至ったが、それは患者によって実践されて初めて効果が出る。そのためには、患者のアドヒアランスを向上させるような患者教育の実現が必要であるが、患者の長期管理や指導には行動変容をもたらす行動科学の技術が必要となる。そこで、今回行動科学的アプローチによる喘息患者（と養育者）への教育法を導入し、欧米先進国を凌駕する患者教育・管理指導の方法を開発することを目指した。病院・診療所の受診患者に対する患者教育はもちろんであるが、受診せずノンコンプライアンスとなっている患者を学校などの教育現場で発掘し受診行動と治療行動に結びつける患者教育法も開発する。

初年度は患者の意識調査を中心としたフィールドスタディによりアドヒアランスに影響を与える要因を抽出する作業を行う。そして先行研究を網羅的に検索し、因果推論に必要な二次調査票を作成する。また、コントロール不良の個別例に行った治療的介入を機能分析し、患者の行動パターンとそれへの行動療法についての症例集積を行う。2年目には大規模調査を行いアドヒアランスに影響する因子に関する統計学的因果推論を行い、患者指導マニュアルを作成する。このマニュアルには重症度や治療動機のステージに基づく患者教育および行動変容技法が盛り込まれる。3年目には、このマニュアルに基づいた患者教育および行動療法を病院・診療所および学校にて行い、その効果を実証する。

### 【研究項目】

アドヒアランスに影響する因子および喘息患者の機能分析に関する検討

#### 1 研究従事者（○印は研究リーダー）

○大矢幸弘（国立成育医療センター第一専門診療部アレルギー科）

赤澤晃（国立成育医療センター総合診療部小児期診療科）

渡辺博子（国立病院機構神奈川病院） 益子育代（群馬県立県民健康科学大学看護学部）

森澤豊（けら小児科） 二村昌樹（あいち小児保健医療総合センターアレルギー科）

#### 研究協力者

成田雅美 明石真幸 斎藤暁美 小嶋なみ子 宮崎晃子 野村伊知郎 須田友子

福家辰樹 萬木晋 中谷夏織 後町法子 小島令嗣 林啓一 那須紗弥子

（国立成育医療センター第一専門診療部アレルギー科）

伊藤浩明 植山こずえ（あいち小児保健医療総合センターアレルギー科）

原純子（京都女子大学発達教育学研究科）

重田誠（重田こども・アレルギークリニック）

水野正樹（大田区立中富小学校）

赤田朋美（清真学園中学校高等学校）

田中けい子 狩野知恵子（高崎市立南矢幡小学校）

## 2 平成18年度の研究目的

先進諸外国の気管支喘息治療・管理ガイドラインに比肩しうる小児気管支喘息の治療・管理ガイドラインを有するに至った我が国であるが、いくら優れたガイドラインであってもそれが普及し遵守されなければ意味がない。それを実現するためには、患者教育や地域の保健指導そしてセルフケアの充実に関する行動科学的研究が必要となるが、この分野ではわが国は欧米先進国に遅れをとっている。そこで、今回喘息患者（と養育者）のアドヒアランスに関する因果推論を可能とする実態調査を行い行動科学的アプローチによる教育・管理指導の方法を開発することを狙いとして研究を行うことになった。

I 計量心理学的手法を利用し、アドヒアランス行動に影響を与える要因という潜在変数としての因子を複数の項目によって計測可能な質問票を作成するための基礎的なデータの収集とパイロットスタディを行うための調査票の作成が平成18年度の研究目標である。喘息治療に対する患児および養育者のアドヒアランス行動を①定期受診②喘息日誌をつける③吸入薬のアドヒアランス④内服薬のアドヒアランス⑤環境整備の5つのカテゴリーに分類し、それぞれのアドヒアランス行動に影響を与える因子を抽出する。また、アドヒアランス行動はプロチャスカの **Trans-theoretical model** に基づいて前熟考期、熟考期、準備期、実行期、維持期の5段階の治療動機のステージ分類に分け、患児や養育者が調査の時点でどの時点に属しているかを明らかにし、重症度と治療動機のステージに応じたアドヒアランス行動への介入ができるよう全てのステージの患者と養育者から情報収集を行う。

II コントロール不良患者の原因としては非常に重症であるために既存の薬物療法や環境整備だけでは歯が立たないケースとノンアドヒアランス（ノンコンプライアンス）のケースとがある。しかし昨今の薬物療法の目覚ましい発展によりコントロール不良患者のほとんどは後者に属するケースである。そこで、彼らのアドヒアランス行動に関する機能分析（応用行動分析）とそれに基づく行動療法的介入を幾つかのケースで実際にパイロットスタディとして実践し、ノウハウの蓄積を行う。

## 3 平成18年度の研究の対象及び方法

対象：

アドヒアランスに影響する因子を明らかにするパイロットスタディの調査対象は、国立成育医療センターおよび分担研究者・研究協力者が勤務する施設（国立病院機構神奈川病院、愛知小児保健医療総合センター、けら小児科）に通院する小児・思春期の患者（0歳から18歳）の養育者および自記式質問票に回答できる年齢の患者（小学校3年生以上）および研究協力施設としての学校（高崎市立南矢幡小学校、大田区立中富小学校、清真学園中学校高等学校に所属する喘息患者およびその養育者とした。気管支喘息のコントロール不良患者に対する応用行動分析の対象者は、研究従事者が勤務する施設に通院もしくは入院中の患者とその養育者。

方法：

I アドヒアランスに影響する因子を明らかにするための一次調査票の作成：

最初に行った作業は気管支喘息患者のアドヒアランス行動やコンプライアンス行動に関する先行文献の網羅的検索である。Midline および Cochrane library を利用して検索できた約900の文献のなかから本研究との関連が深い重要文献のまとめを作成した。

先行研究を参考にしつつ、一次調査に用いる半構造化された質問形式の調査表の作成に着手した。小児用（小学校3年生以上の気管支喘息患者が対象）と成人用（気管支喘息患者の養育者が対象）それぞれに、定期通院に関するアドヒアランス、吸入薬のアドヒアランス、内服薬のアドヒアランス、喘息日誌のアドヒアランス、および環境整備に関するアドヒアランスのそれぞれの治療動機ステージを調査し、その理由を無記名自由記述方式にて記載する調査票を作成した。この調査票を国立成育医

療センターアレルギー科、国立病院機構神奈川病院、愛知小児保健医療総合センター、けら小児科に通院する患者と高崎市立南矢幡小学校、大田区立中富小学校、清真学園中学校高等学校に通学する気管支喘息患者に配布した。病院および診療所での調査は解答に新たな内容が出現せず情報が飽和したと思われる時点まで続けた。さらに、質問票では補足できなかった事実がないかを確認するため、国立成育医療センター第一専門診療部アレルギー科の患者および養育者とあいち小児保健医療総合センターアレルギーの患者と養育者に面接を行った。

これらの一次調査データを定期通院に関するアドヒアランス、吸入薬のアドヒアランス、内服薬のアドヒアランス、喘息日誌のアドヒアランス、および環境整備に関するアドヒアランスごとにエクセル表に集計した。併行して継続していた先行文献の調査結果も参考にしつつ、2次調査用紙の作成に着手した。一次調査で得られた患児と養育者の回答を集約しコンセプトモデルを作成、各コンセプトを構成する因子が3項目から6項目になるよう質問項目を作成し、先行研究で明らかとなったかもしくは可能性がある因子を盛り込んだ属性調査項目を入れて二次調査票を作成した。

## II コントロール不良患者に対する機能分析：

研究者が所属する施設の外来患者のなかでアドヒアランスが低いことによるコントロール不良患者を対象にアドヒアランスを向上させる試みを行ったケースを抽出し、アドヒアランス行動に関する機能分析（応用行動分析）を行った。それぞれの臨床現場では、いちいち患者の応用行動分析に基づいてシステマティックに行動療法を行っているものもあれば、経験則に基づいて試行錯誤するうちにうまくいったものもある。また、外来で解決したものもあれば入院加療を必要としたものもある。そうした試みをおこなった症例を集積し、三項随伴性を念頭に置きつつ、機能分析を行った。

## 4 平成18年度の研究成果

I 先行文献の網羅的検索である。Midline および Cochrane library を利用して検索できた約900の文献を研究者が分担して目を通し、過去10年ほどの間に発表された Review やランダム化比較試験など中心に重要文献を精査、気管支喘息患者のアドヒアランス行動やコンプライアンス行動に関する重要文献のまとめを表1として作成した。こうした先行研究から浮かび上がった喘息患者のアドヒアランス行動に影響を与える要因は、医療者側の要因としては、行動計画に基づく指導の有無、医療者のコミュニケーション能力、患者教育のあり方（視覚教材、看護師の介入、吸入方法の指導など）、提供された吸入デバイスの種類、救急外来での指導か非救急場面での指導か、定期的なフォローがあるかどうか、処方した薬の種類や数など、患者側の要因としては、患者の治療動機の強さ、ステロイド吸入に対する考え方、患者の年齢・性別、社会経済的要因、喘息の知識、医師との関係、親の行動、自己効力感、などが挙げられる。喘息患者とその養育者のアドヒアランス行動には複数のカテゴリーがあり、また彼らの行動に影響を及ぼす要因は実に多岐にわたる。また、アドヒアランス行動を改善するための教育プログラムについても詳細が記された文献は少なかった。先行研究から得られたアドヒアランス行動に関連する情報のなかには、患者や養育者の属性に関するものと、患者や養育者の認識に関するものがあり、それらを参考にして、半構造化された質問形式の調査票を作成した。

小児用（小学校3年生以上の気管支喘息患者が対象）と成人用（気管支喘息患者の養育者が対象）の2種類の一次調査票を作成した。それぞれの調査票は、定期通院に関するアドヒアランス、吸入薬のアドヒアランス、内服薬のアドヒアランス、喘息日誌のアドヒアランス、および環境整備に関するアドヒアランスから成り、それらの治療動機のステージ分類とその理由に関する自由記述データを収集し188名の患児と403名の養育者から回答を得たものをそれぞれ表2および表3にまとめた。

患児自身の定期受診のアドヒアランスに影響を与える要因としては、不安感（病院に通っていると安心できる、病院にかよっていると喘息が悪くならなくてよい、など）、自己効力感（病院に通ってい

ると喘息発作が起きなくなってきた、病院に通っていると喘息を早く治すことができる、など)、知識(病院に通っていると喘息について知ることができる、発作のときだけ受診すればよい、など)、信頼感(病院の先生が好き、など)、サポート(家族から病院に通うように言われている、家族が病院に連れて行ってくれる、など)、負担感(忙しくて病院に通えない、病院に通うために学校や習い事を欠席したくない、など)、スキル(受診を忘れてしまう、一人では受診できない、など)の7つの因子にカテゴライズすることができた。養育者の定期受診のアドヒアランスに影響を与える要因も同様に7つの因子にカテゴライズした。定期吸入や定期内服および喘息日誌や環境整備に関するアドヒアランスも個々の内容は異なるものの患児・養育者ともに7つの因子からなるコンセプトモデルを想定することができた。さらに、国立成育医療センター第一専門診療部に通院もしくは入院中の喘息患児と養育者に保育士が面接を行い、彼らのアドヒアランス行動に影響を与える要因についての裏打ち調査を行った結果、患者側の意識に関してはこの7つのコンセプトモデルが主たる要因を構成していることを確認できた。先行研究およびこれらの調査から得られた情報を元に二次調査票を作成し、該当年齢の患児らと小中学校教師8名に内容や表現についてのチェックを依頼した。それらの結果を踏まえて細部の表現の修正をくり返し二次調査票を作成した。

## II コントロール不良患者に対する機能分析

アドヒアランスに問題がありコントロール不良であったケースに対して介入を行い、機能分析による解説を加えた。

### 【症例1】

11歳男児。重症持続型喘息及び食物アレルギーのため当科通院中。フルタイド200 $\mu$ g/日、シングレア、テオドール、インターナル吸入により発作はコントロールされているが、本人が怠薬することが多く、コンプライアンスは7割程度であったため、時折発作をおこしていた。本人が忘れっぽいこと、注意力緩慢であること、セルフケア実施後に報酬がないこと、治療前後で母との係わり合いがないことがコンプライアンスを下げている要因であると考え、決まったワゴンの上に使用前の服薬一式を置き、テーブルの上に使用後の服薬を置き、近くに順番を書いた紙を貼った上で服薬を行い、全て完了したら母を呼び、母よりOKがでたら食事が食べられるという方法を行ったところ、コンプライアンスは著明に改善し、怠薬することは殆どなくなり、発作も認めなくなった。

《機能分析》服薬行動への先行刺激(弁別刺激)として、視覚刺激及び分かりやすい服薬方法を加えた。服薬行動に対する好子(正の強化子)として、母との係わり合い(母からの注目が得られる)と食事とが機能し、服薬コンプライアンス向上につながったと推測される。

### 【症例2】

1歳男児。中等症持続型喘息のため当科通院中。他疾患で入院中、喘鳴を繰り返すため上記診断し、退院前からフルタイドエア100 $\mu$ g/日をベビーヘラーで開始する方針となった。退院後、吸入を実施しようとするのが嫌がってしまいなかなかできず、一度中発作で救急外来を受診することもあった。このため、外来受診時に、母にベビーヘラーを遊び道具の一つとして用いること、母も時々児の前で吸入手技をマネしてやってみることで、児の嫌がりが減り、徐々に吸入器具に対する恐怖心は薄れ嫌がらずに出来るようになり、それに伴い発作は減少し、救急外来を受診することはなくなった。

《機能分析》吸入を嫌がるのは、導入時の指導で無理強いをしたため吸入という条件刺激(中性刺激)が恐怖という無条件刺激とレスポナント条件付けされたためである。そこで、この条件付けを脱感作するために、恐怖という無条件刺激が惹起されない状況下において、吸入という条件刺激を導入す

る工夫が必要と考えられた。母がベビーヘラーで遊んでみせることで吸入に使用するスプレーへの恐怖を取り除き、次に母が実際にベビーヘラーを使用して吸入をしてみせることで吸入と恐怖のレスポネン条件付けから脱感作した。次に患児に対して再度吸入を導入するときは無理強いせず機嫌が良いときに遊び道具としてのイメージを保ったままやらせてみることで、吸入と恐怖のレスポネン条件付けの再燃を防ぐことが可能であった。

### 【症例3】

7歳男児。定期受診は断続的で、今回喘息大発作にて入院となった。ADHDを合併しており、また母自身にADHDの要素があるという困難さを抱えていた。母子共にスキルは低いため、具体的に治療を細かく指示する方向に。①母に対しては、母の出来そうな範囲で目標を作成。具体的には「PEF、FP、内服、点鼻、日誌の5つを終わらせたなら遊んでよし!」という約束を児と母の中で習慣化してもらった。②児に対しては、喘息日誌のマスを大きく書きやすく工夫。また1日のスケジュールを細かく設定し、実行出来たらシール等で誉めた。枠組みをしっかりと与

えることにより、それなりにじっとすることが可能となり服薬行動が習慣化した。現在は発達心理科も併診しリタリン内服の効果もあり、完全に治療管理を行っており定期受診を継続している。

《機能分析》母親のアドヒアランス行動に対する先行刺激（弁別刺激）として子どもにピークフローメーターをふかせ、吸入と内服薬・点鼻薬を与えること、日誌をつけること、を毎日同じ時間にルーティン業務となっている別の行動（起床・食事）とリンクさせることにした。子どものアドヒアランス行動の先行刺激は母親からの働きかけと記入しやすい大きなマスの日誌である。そして子どものアドヒアランス行動（ピークフローメーター、吸入、内服、点鼻、日誌）が終了した直後に母親からの確認と賞賛による好子を与えた。医師は診察時に日誌の確認をおこない母子のアドヒアランス行動に対して賞賛（ごほうびシール）の好子を与えた。

### 【症例4】

11歳男児 1歳4ヶ月発症 5年前から母子共に低アドヒアランスのため外来で心理士の介入あったが効果なかった。2.3年前から療養所への短期入所を勧められていたが同意が得られないままであった。平成18年夏より週1回の発作が続くため当科入院となった。喘息のコントロールとアドヒアランスの向上を入院目的とした。アドヒアランスの向上のためにまず本人のセルフケア行動の習慣化を図った。本人への喘息教室も定期的に行い、知識を与えることによりセルフケア行動の強化を図った。一方母は児のセルフケア行動が確立してきた頃でも入院の意義を正確に理解しておらず、また環境整備も進まない状況であり、退院後に本人の治療行動を阻害する可能性があった。それに対しては喘息の治療の意義と自宅での本人のセルフケアをどうすれば強化できるかを繰り返し指導した。また試験外泊でも本人のセルフケアを強化できたか数回確認した。現在退院1ヶ月経過したが現在のところ定期的に受診している。

《機能分析》喘息教室などで喘息に関する知識を与えることで、セルフケア行動の意義について理解をさせた。入院中は看護師が決まった時間に配薬するため服薬行動の遵守は達成される。しかし一般的に退院すれば看護師が配薬するという先行刺激（弁別刺激）はなくなるため、服薬行動のアドヒアランスは低下するのである。しかし、入院期間が長いと次第に、服薬行動自体が生活の一部として組み込まれるため習慣化が起こる。ただ、帰宅後も服薬行動が続くためには外泊を繰り返して自宅でも服薬行動を含むセルフケア行動が生活の一部として組み込まれ習慣化された状態を実現することが必要となる。そこで、服薬のきっかけとなる先行刺激として決められた時間や既に習慣化している行動（食事など）を先行刺激として利用し服薬行動を惹起させる。そして服薬行動および日誌を着けると

いうセルフケア行動の直後に母親からの注目や賞賛という好子を与えるように指導した。また、外来を受診するたびにセルフケア行動を確認し賞賛することで好子を与え、オペラント条件付けによるセルフケア行動の強化を行っている。

#### 【症例5】

14歳女児。気管支喘息のため他院加療中。当院紹介初診までに10回以上の入院歴あり。重症持続型。不登校ならびに前医入院時に自宅に帰りたくないと訴えたため児童相談所を介して当院紹介入院となった。

問題点：自宅環境

①：幼少時に父親からのDVあり、現在母は父と離婚し、母方の祖母と母の兄夫婦と同じ敷地内に同居している(住居は別)。母は統合失調症にて加療中。育児能力は無いと診断され一時兄夫婦と同居していたが叔母と折り合いが悪く自宅に戻った。その後発作頻発し、入退院を繰り返した。

②：喘息の治療薬に対するコンプライアンスが低い。

③：不登校あり。

介入：隣接の養護学校に通学しつつ、中学卒業までの1年半、長期入院を実施。

①：入院時何日も同じ服を着ている、毎日入浴しない、身の回りの整理整頓ができないなど日常生活の習慣が十分に確立されていなかった。保育士、看護師と連携して計画し、月ごとに目標をたてて、日常生活習慣訓練を行った。

②：WISC score 評価したところ、境界ライン。決められた行動をその通りに行うことはできるが、変化があった場合に対応する力には著しく弱い傾向あり。治療薬の必要性をくりかえし説明するとともに、当初は治療薬の看護師管理から始め、徐々に1日分の治療薬をまとめて児に渡し決まった時間にスタッフステーションに自分でもってくる→1つ1つの薬の名前を言った上で実施→1週間分の薬を渡し、1日の朝晩ごとに分けてケースに入れさせる→毎日ケースをもってきて看護師の前で実施。実施できた場合チェックシートに記載して報償(シールを貼る)を実施。自身で治療薬の管理をできるようになった。

③：不登校 養護学校にて評価した学力は小学校低学年程度。当院退院後、自宅家族からのバックアップはあまり期待できないこと、高卒から就職を念頭に置いた方がよいこと等を考慮し進学先は養護学校に決定。

現在：高校2年生。自宅から養護学校に通学。治療薬のコンプライアンスは100%。

発作退院後なし。養護学校の担任、児童相談所の相談員、月に1回受診時に主治医や保育士と懇談などを資源とし、生活中。長期入院により、治療薬の実施習慣が確立されたことと、本人の精神的な成長が得られたこと。環境を調整して退院させたことにより、限られた資源のなかで、周囲から必要な支持が得られるようになったことなどが発作のコントロールに結びついたと思われる。

《機能分析》日常生活に必要な習慣の確立には、自分の衣服の着替え、整頓、入浴などの行動をひとつひとつ手順を教えて行動形成(シェイピング)を行った。このシェイピングにはスモールステップを踏んで一つ一つの段階を実現出来るたびに賞賛を与え自己効力感を満足させるという好子を与えることが有効でオペラント条件づけの手法を用いる。

服薬行動をセルフケア行動として実現するための手順として、服薬自体が嫌子とならないように、まずその必要性を理解させ、強制するのではなく服薬行動を看護師とのコミュニケーションのなかでシェイピングできるようオペラント条件づけを行った。すなわち朝夜の薬の名前を覚えさせ、決まった時間にナース・ステーションに持参して服薬すると賞賛の好子を与え、さらに一週間分の薬を渡して分類させナース・ステーションに持参させて服薬行動を確認するなど、学習可能なスモールステップに従って次第に複雑な一連の服薬行動が確立されるように、実行できたらシールを貼るという好子

使ってオペラント条件付けを行った。

養護学校は普通学級と違って一人一人の生徒の学習能力に応じた対応をするため嫌子が少なく好子が多い、従ってほとんどの生徒は不登校を克服することができる。このケースもあまり好子が多いとは思われない家庭であり、病院と連携した養護学校に通うことは好子の出現によるオペラント強化があるものと思われる。

## 【症例6】

### 14歳女児 気管支喘息

幼児期発症の気管支喘息。近医にて加療を受けていたが、中学2年生になった頃から毎晩のように発作が出現し、朝起床できないため通学できなくなった。このため当院紹介入院。

① 家庭環境：両親および弟と同居。両親不仲、毎日のように自宅でけんかをしている。

夜間、児が発作になると母が一晩中付き添い背中をさすっている。

② 治療コンプライアンス：父母は児が治療薬をきちんと実施していると考えていたが、児が入院後押し入れを掃除したところ大量に治療薬が出てきた

③ 学校：八方美人タイプ。誰にでも良い顔をしてしまうため、逆にクラスのトラブルメーカーになってしまう傾向あり。

喘息の治療に対する動機づけが弱い、むしろ喘息症状が有った方が、登校せずすみ、自宅でも母がかまってくれるという疾病利得があるものと考えられた。

当院に約9ヶ月間入院。隣接する養護学校に通学しつつ加療を行った

① 両親に対し、児の疾病構造を説明。自宅で元気でいたいと思うようになれば、発作のコントロールが付きにくい旨説明。当初父親は児の治療に関し、母親任せであったが、何度か面談の場を持つうちに、徐々に協力が得られるようになり、母の苦労や努力を認められるようになった。自宅の環境整備や、児の薬の確認なども協力してくれるようになり、母もそれを認め、両親のけんかの頻度は減少した。また、児も病棟での集団生活を通じ、自身の思いを(不満を)口に出して表現することができるようになり、両親に対し客観的に評価できるように成長が認められた。

② 喘息の病態メカニズム、治療薬の必要性について繰り返し説明。当初治療薬はICS、LABA、抗LT剤、気管支拡張剤内服、テオフィリン製剤等非常に多かったが、病棟生活を通じて発作のない期間を確保できたため、気道過敏性改善。ICSとLABAのみとした。それでもきちんと実施すれば十分に発作がコントロールできることを気道過敏性検査や運動負荷試験を通じて指導。実際の与薬も当初は看護師管理で実施していたが徐々に本人管理に移行した。

③ 養護学校、病棟での人間関係の中で問題が起こるたびに、本人、担任、保育士、主治医などで問題点を話あうようにした。しかし、中学3年進学を機に地元校への試験登校後退院を計画したが地元校へは通学できず退院後も養護学校に通学。

退院後養護学校を卒業。現在は普通高校に進学。不登校はなく通学できている。喘息治療薬の実施率は70-80%程度であるが、発作はなく、元気に日課生活を過ごしている。

《機能分析》両親が不仲であると、それ自体が嫌子になるだけでなく、子どもに充分な関心(好子)を向けることが出来なくなるため、嫌子の消去や好子の獲得を目指す行動が強化される。すなわちこのケースでは喘息発作を起こすことであった。これは意図的に起こすことができる患児もいるが、多くは自然に体が反応を起こして喘息発作が起こる。このような喘息は心因性喘息や難治性喘息と呼ばれることがある。治療のためには喘息発作を起こすことなく嫌子の消去と好子の出現を達成する必要がある。まずは、入院させることで両親の喧嘩の現場から遠ざけることでひとつの嫌子を消去した。

そのあいだに家庭環境の調節を行い両親の喧嘩の頻度を減少させ自宅環境における嫌子への対策を行った。また、自分の感情を言葉で表現することを訓練し、嫌子の回避を喘息発作という身体反応で達成するのではなく言語表現によって実現するスキルを身につけさせた。

喘息治療の仕組みを理解させ、服薬コンプライアンスがあがることで喘息のコントロールが改善することを実感してもらい、自己効力感という好子によってアドヒアランス行動をオペラント強化した。

地元の中学への登校は嫌子が多く実現しなかったが、高校に関しては中学時代の嫌子がないため登校できているものと思われる。また、自宅環境においても両親の不仲という嫌子が以前より減ったこと、また喘息発作ではなく言語表現による嫌子の回避が容易になったこと、また服薬コンプライアンスが向上したことで気道過敏性が改善し喘息自体も入院前よりは軽症化したため、支障のない日常生活をおくれているものと思われる。

### 【症例7】

HFA-BDP100、分2を定期吸入中の幼児。スプレーを嫌がる、母も1日2回を忘れてしまう。母も喘息で内科からはBUDタービュヘラーを処方されている。母の薬剤もエアロゾルに変更して、親子で一緒に1日1回吸入してもらうことに。(同)。

《機能分析》吸入行動を惹起するときの弁別刺激は母親が同じ薬剤を使用するときに出現するため、別の薬剤をしていたときよりも強い提示になる。また、母親が同じスプレーを使用すると、患児にとっては嫌悪反応がレスポナント条件付けされた条件刺激としてのスプレーに対する脱感作が進む。また、母親と同じ行動(吸入)ができるということが患児にとっては好子として機能する可能性がある。

### 【症例8】

FP200、分2を定期吸入中の学童。コントロール不良。どうがんばっても1日1回の吸入が出来るくらい。同量を分2→分1に変更、夕食時に茶碗の中にFPのデバイスを入れて食卓へ。母親が吸入を確認できたらご飯をよそう。その後はほぼ100%の達成率。(実は日常的に使用している作戦です)。

#### 《機能分析》

1日2回の吸入を1日1回に減らした場合、吸入を負担に感じていた親子にとっては嫌悪刺激が減少し拒否反応が生じにくくなる。それに加えて、夕食時に茶碗の中にステロイド吸入薬のデバイスを入れることは吸入行動を始めるときの弁別刺激(先行刺激)となるだけでなく、吸入をすることでデバイスという嫌子が除去され夕食という好子を引き出すオペラントが成立するためアドヒアランス行動が向上した。

### 【症例9】

2歳4ヶ月の女兒。これまで7回の喘息入院を繰り返していた。中等症持続型の気管支喘息で、吸入ステロイドと抗ロイコトリエン薬が処方されていた。8回目の入院のときに吸入ステロイドを嫌がって自宅ではできていないことを母親から確認し、その効率を上げるように両親と工夫した。当初は吸入補助具を何種類か試し、その吸入保持具に対してキャラクターシールを貼ったりしたが本人が嫌がることと、児があまりに嫌がるために母にもいくらかの諦めが生じてきているためにうまくいかなかった。

そこで今まで使用した種類の違う吸入ステロイド2剤とその吸入補助具を児の前に同時に用意し、1日2回の吸入の際に、その都度児の前に二つ並べて、今日はこちらにするのか児に選ばせることに



した。今までは吸入を一つ拒み続けていれば親があきらめた時点で、児にとってはもうしなくて済んでしまっただが、二つのうちの一つを選ばざるを得なくなったことと、選んだ吸入をするように促していると、自分で選んだ吸入をするようになってきた。そうなることで母親のモチベーションも上がってきた。

現在ではその方法から気に入った吸入補助具の付いた薬剤を決まって選ぶようになり、自宅でのステロイド吸入はうまくいっている。これまでの7ヶ月、児は小発作を起こして外来を受診することはみられたが、入院に至るような発作はみられず経過している。これまでは入退院が多く無理であったが、児の喘息が今までからみると落ち着いてきたことから、現在では母親が仕事に出ることができるようになった。

《機能分析》養育者が患児に一生懸命吸入をやらせようとする、それが嫌悪刺激となっただえって拒否反応を示すようになることはしばしば経験される。この症例もそのような無条件刺激に対する反応が吸入補助具という条件刺激を対提示したことで吸入補助具に対する拒否反応がレスポソドント条件づけされていた。そこで、まだ条件付けされていない別の吸入補助具を条件付けされた吸入補助具とともに提示すること、また親が本人に無理矢理押しつけるのではなく、本人が選択できるという状況に変化させたことで、拒否反応という無条件反応を惹起する嫌悪刺激（という弁別刺激）が消失したことで、レスポソドント条件付けされていた従来の吸入補助具が条件刺激となっていた状況が脱感作された。また、ステロイド吸入という行動に附随して自分で好きな補助具を選ぶことができることが好子として働きステロイド吸入のアドヒアランスが向上した。

#### 【症例 10】

中学2年生女児。1歳時に喘息を発症。小6の時に転居のため当科紹介初診。前医にて12回の喘息発作入院歴があり、低コンプライアンスであった。当科通院開始後、徐々にコンプライアンスも上向きではあったが未だ不十分であり、月に1-2回の小発作を認める状態であった。中1の時に感冒契機に中発作で入院。1ヶ月の入院で本人に喘息の病態についての説明を行い、服薬・日誌・PEFの自己管理を徹底させ、習慣化した。退院後は服薬コンプライアンスの確認のため、カウントの表示がある吸入薬は毎回持参させ、受診時には呼吸機能検査を行い、結果を本人に示し、評価させるようにした。児の自己管理の向上と呼吸状態の改善に伴い、環境整備に対して、非積極的であった母の態度に変化がみられ、環境整備もすすんだ。現在、閉塞傾向であったスパイロカーブに改善がみられ、徐々に減薬を試みているところである。

#### 《機能分析》

- ① 食卓に薬を置いたり、タイマーで知らせるのは服薬行動に対する弁別刺激（先行刺激）を整える意味を持つ。
- ② 吸入語のうがいだ面倒なというケースではうがいだ嫌子となっているが、歯磨きの直前に吸入することにしておくと、必然的にうがいをするようになるため嫌子としての機能を失う。また入浴やシャワー浴のときには水を扱っているためうがいをするのが容易になるため、嫌子としての機能は弱くなる。
- ③ 退院後のアドヒアランス行動の維持には適切な好子による強化が必要となる。アドヒアランスの確認を毎回の受診時に行い、それを医師が評価することは好子となることが多い。また、治療効果が感じられるようになるとそれ自体が好子となりアドヒアランス行動が向上する。環境整備に対する母親の前向きだ姿勢への変換はそのためであろう。

#### 【症例 11】

5歳女児 喘息大発作で入院中イソプロテレノール持続吸入を開始した。

吸入、タッピング、鼻腔吸引など大暴れしてしまうため  
看護師が手を焼いていてほとんどできない状況であった。

ある日、SpO<sub>2</sub>が突然75-85%台に低下し、食事中はチアノーゼも認めた。  
レントゲンにて下葉の無気肺を認めた。経過から粘液栓によるものが最も疑われた。  
体位ドレナージを試みるがやはり暴れてできない。ICU転科も考え始めた。

そのときにちょうどアンパンマンが始まったのでなんとなく一緒に見ることにした。  
感動的なクライマックスにメロンパンナちゃんが嵐の中を飛ぶシーンがあり、美佐子さんも多呼吸、  
咳をしながら喜んで見ていた。ときどき目を合わせて笑う。テレビが終わってから、メロンパンナち  
ゃんすごかったねー、美佐子ちゃんもあんな風にできる？と聞くと、嬉しそうにやってみるとい  
う。そこで空を飛ぶメロンパンナをイメージして行くと、体位ドレナージが可能となった。2時間ほど体  
位ドレナージを間歇的に続けると、突然SpO<sub>2</sub>が90%台に回復した。粘液栓が解除されたのであ  
らう。

その後もメロンパンナの話をしてしながら鼻腔吸引、体位ドレナージを続けることができた。看護師  
からも看護しやすい患者さんになりましたという声が聞かれた。その後無気肺もすべて解除され、コ  
ントロール良好である。

#### 《機能分析》

吸入、タッピング（体位ドレナージ）、鼻腔吸引などの処置はそれ自体は本来中性刺激なのだが、無理  
矢理行くと嫌悪刺激となり回避反応を誘発する。すなわち何度か試みるうちに、無理矢理行わなくて  
も、その行為自体が嫌悪刺激としてレスポナント条件付けされ（条件刺激となって）回避反応（暴  
れて嫌がる）を誘発するようになる。条件刺激は回避反応を誘発しないような状況下に置くと次第に  
脱感作されるという性質があり、患児の場合は体位ドレナージという行為を自分と同一視したメロン  
パンナちゃんが英雄的な行為をしているイメージに同化させることによって回避反応を誘発する嫌悪  
刺激としての条件刺激としての性質を喪失せしめることに成功した。また、別の処置するときにも自  
分自身をメロンパンナちゃんになった気分で行うことで英雄の気分を味わうという好子を与えること  
にもなりアドヒラランス行動の強化に貢献した。

#### 【症例 12】

10歳男子：悪化して初めて実感

コンプライアンスの低い喘息児 外来のたびに医師たちから吸入をきちんとやるように何度も言われ  
ていたが、母も子もやらなければならないという実感がどうしてもわかかなかった。しかしある時、中  
発作がおきて、そのとき突然親子ともども医師たちの言葉を思い出したという。そこで初めてこれは  
やらないと本当にまずいと実感できた。それからは父母も細やかに声がけをして本人に気づかせ、吸  
入を忘れない工夫をするようになった。本人もきちんと行えるようになった。

#### 《機能分析》

ステロイドの定期吸入を行わない患児が突然喘息の中発作を起こし呼吸困難に直面した。この発作は  
嫌子として機能する。人間は嫌子を嫌子を回避するのが自然の反応であるが、この親子はその場の発  
作止めの処置にとどまらず、今後この嫌子を出現させないための情報、すなわちステロイドの定期吸  
入を行うことが必要であるという医師の指導を思い出した。そこで、本人に定期吸入を実行させるた  
めの先行刺激として声かけなどをして吸入を忘れない工夫を親がするようになり、また定期吸入をす  
ることで嫌子の出現を回避できることを学習しアドヒラランスが改善された。

## 【症例 13】

### 2 歳 吸入嫌いのファロー術前患者

ファローの術前コントロールで、循環器科から依頼され喘息コントロールをすることになった。医療行為が大嫌いであったため、フルタイムの吸入を成功させられるかどうか手術前コントロールの鍵を握っていた。看護師にも協力してもらい、マイクロヘラーを大人が楽しそうに行うことから始めた。途中で本人がやりたいと言い始め、それでも何回かやらせずにじらした。最後に一度やらせてあげると必死にすったりはいたりしている。直後に割れんばかりの拍手で包むと、本人は幸せの絶頂に。マイクロヘラーが大好きになり、その後も自分から母を促して吸入を欠かすことはないという。手術も成功した。

#### 《機能分析》

マイクロヘラーはステロイド吸入を行うときの補助具であるが、無理矢理吸入させると嫌悪刺激と条件付けされて回避反応を誘発する条件刺激となってしまう。そこで、そのような条件づけが成立しないよう、そしてマイクロヘラーが好子として機能するような工夫を行った。すなわち大人が楽しそうに吸入を行う姿を見せることで、患児はマイクロヘラーとは楽しいものだという認識を持つようになった。また、本人が感心をもつようになり使いたいと言ってもすぐには与えないことで好子としての価値を高めた。得難いもの入手することは好子としてより強く機能するからである。そしてついに入手したマイクロヘラーをつかって吸入したら、その行動を賞賛することでさらに好子が与えられることになり、患児はマイクロヘラーを使って吸入することが好きになったのである。

なお、調査結果の表および研究で使用した調査票に関しては、最後に別添する。

## 5 考察

気管支喘息患者の良好なコントロールの実現のためには、患者の重症度に応じた適切な薬物療法と生活指導が必要となる。専門医へのアクセスには地域格差があり、ガイドラインに従った適切な治療が受けられないためにコントロール不良となっている患者もいれば、患者自身の意識の問題で医療機関への適切なアクセスを行わない患者もいる。さらに、ガイドラインに従った治療を提供している医療機関を受診していてもアドヒアランスの低い患者もいる。いくら優れたガイドラインを作ってもそれが遵守されないのでは意味がない。本研究はガイドラインの内容の検討ではなく、その普及や遵守に影響を与える要因について行動科学的アプローチを行い、その対策を考えていくものである。複数の地域の学校で調査を行ったのは、ガイドラインに従った標準治療を提供している病院や診療所に通う患者だけでなく、専門医療機関へのアクセスが困難な地域に住む患者の行動と意識を知るためである。しかし、こうした地域に住む患者の意識も教育・行政機関の啓発活動やマスコミ・インターネットなどによる医療情報の提供で従来とは変わりつつあるし、実際変えることが可能である。こうした変化はいずれ医療提供者側の変化をもたらしガイドラインが普及することを後押しすることになる。一方、既に標準治療を提供している医療機関にアクセスした患者側のアドヒアランスの問題が厳然として存在する。たんにガイドラインを遵守した処方箋を患者に渡すだけでは良好なコントロールは得られない。患者が喘息日誌をつけてこなれば正確な重症度を判定し適切な処方箋を行うことは困難であるし、定期的な服薬を遵守しなければ喘息発作を予防することはできない。アドヒアランスのよい患者とそうでない患者はどこが違うのか。さらに小児場合は、患児本人のアドヒアランスと養育者のアドヒアランスの違いが問題を複雑にしている。今年度は彼らの意識と行動を調査し、いくつかの共通する要因を探り出すことができた。本年度に作成した二次調査票にはこれらの項目が盛り込まれている。果たして、これらの要因が彼らのアドヒア

ランスにどのような影響を与えているのか、因果推論を行うための調査は平成 19 年度に行う予定である。

## 6 次年度以降の計画

＜平成 19 年度の実施計画＞ 平成 18 年度に行った一次調査から得られたデータと先行研究から得られた結果を参照し作成した二次調査票を用いて、研究協力施設（小学校、中学校、高等学校、および共同研究者が勤務する病院や診療所）にて患児 500 名以上、患者の養育者 1000 名以上を目標として大規模調査を行う。得られたデータを因子分析し、計量心理学的因子構造の同定を行い、共分散構造分析によってアドヒアランスとの因果関係を明らかにする構造方程式モデルを作成する。また、機能分析に基づいて行動療法を実施した症例を集積して、問題行動別の応用行動分析と介入法のフローチャートを作成する。これらの結果をもとに、重症度と治療動機のステージに合わせた患者教育指導マニュアルを作成する。

＜平成 20 年度の実施計画＞ 平成 19 年度に作成した指導マニュアルを使って、研究者が関係する各施設（研究協力施設を含む）にて、患者の重症度と治療動機のステージに合わせた患者指導を行う。このときランダム化比較試験が可能な施設では倫理委員会の承認を得て実施する。実施した全ての施設で患者指導の前後で実態調査票を用いて効果を測定する。効果測定の主要評価項目は治療内容とそのアドヒアランス、喘息発作の程度と頻度、治療動機のステージを予定している。

## 7 社会的貢献

質の高い治療管理ガイドラインの作成と患者側の良好なアドヒアランスの実現は喘息治療に欠かせないものである。申請者の施設では既に数年前から行動科学を導入した患者教育指導を行っており、その改良とともに年々治療成績が向上している。特に他施設から紹介された心因性喘息や難治性喘息などコントロールが困難とされた症例も短期間で良好なコントロールが可能となっている。またステロイド忌避患者への吸入ステロイドの導入などにも成功しており、行動療法の導入によるアドヒアランスの向上は著しい治療効果の改善をもたらす。本調査研究では、対象とする施設を広げ、全ての小児期思春期の喘息患者にこうした良好なコントロールをもたらすことを目的として治療管理手法の開発を行うことになった。本研究で得られた結果は全国の喘息治療・管理に関わる関係者に有用な情報をもたらし、我が国の患者教育水準の向上と指導管理技術の飛躍的向上に貢献することが期待される

### 【発表学会・論文】

なし

表1. 文献内容

対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師、など)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他
思春期から青年期									①喘息コントロールが悪いから鬱になる②うつだからアドヒアランスが低くて喘息が悪化する ③鬱だと免疫反応も低下するため喘息のコントロールが悪くなる	薬物・シートベルトをしない運転・危険な性生活は鬱やアドヒアランスの低下と関連があり	喫煙	過去の報告:健康の子2039と同人数の喘息の子供で比較 タバコを吸っている率はどちらも同じ 鬱は喫煙者で多いというデータはなかった。
									(吸入の正しいやり方がわからない。副作用が怖い。吸入のやり方の難しさ。経口か吸入か。吸入のタイプ(B2>ステロイド吸入)。患者と医者信頼関係。患者と医者の会話が乏しい。言語が違う。定期薬の必要性を感じない。病気だとは思わない。両親からの注意を得るため。薬の効果を理解していない。忘れてしまう。ストレスと忙しいライフスタイル。精神的要因。)12歳以下の教育。低学歴。家族が機能していない。無症状の時はステロイド吸入は必要ないと信じている。15歳~45歳は、ノンアドヒアランス。吸入ステロイドに関する好ましい考え方、治るために積極的になること、喘息が重要な問題であること、近いぜん息入院、高い年齢はアドヒアランスが高い	ぜん息重症度、ステロイド吸入に関する考え方、子供の行動の異常、不安、年齢、性別、社会経済的地位、教育経験、服薬回数、ぜん息の知識、ぜん息に対する動機		
		3811人				観察研究	少なくとも1ヶ月			患者や医師にデバイスの正しい使い方を教育すればコンプライアンスがあがるかもしれない	吸入デバイスの種類	
19人の町医者	平均年齢49歳(35歳~59歳) 開業医として平均16年勤務している	19人	各クリニック	医師		5段階方法で患者とコミュニケーションを図る患者とのコミュニケーションは煩雑でなく、たった5-10分の短い時間で問診できるテクニック Table1に具体的に示してある。	2003年11/12月、2004年1/2月、2004年6月の3回講座を開いて、町医者にレクチャートレーニング前(T0)、トレーニング後(T1)、トレーニングより4-10ヶ月後に監視者が質問紙表を渡す	「薬の大切さを強調する」(これはあまり役に立たない)スコアと「自分の動機付けの技能があがったと思う」スコアがベースラインに比べて優位に差がでた。	今後、医者の行動の変化と患者への効果を示していくことと、看護婦さんへのマネージメントも必要		pubMedによると過去に10個のアドヒアランスを上げるstudyがなされている。①3つは介入方法に関して②7つは結果を表している③4つはサンプルが小さく結果がはっきりとは表れなかった	
持続型の喘息患者でリリーパーとコントローラーをMDIを使って使用している患者(軽傷持続型を省く)	8-16歳	75人	MDIをコントローラーとしている患者でのリリーパーの使用頻度を確認			患児と両親は質問紙表に記載してもらう。(救急受診頻度や入院や学校を欠席した頻度など)	1ヶ月間	コントローラーへのアドヒアランスは46%の患者で期待通り使用していた。コントローラーを使用していた患者ではリリーパーの必要性はなかった。長期管理薬の使用と喘息による弊害(入院や救急受診、欠席など)との関連性はあったが、リリーパーとの関連性はなかった。				

対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師、など)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他	
4-11歳の中等症の喘息患者ステロイドナイーブの人であり、ステロイド投与が必要な人	4-11歳	29人	外来	医者	質問紙 呼吸機能検査、ピークフロー	インフォームドコンセントあり	一年 2ヶ月おきに来院してもらう	介入をしても25%の人しかいわれなかった。喘息発作の初期の状態だけでは、薬を増やすに値する効果はなかった。	個人個人に対してプログラムを組むことで早く喘息の初期症状を見つけ、自己管理ができるようにしていくことが課題である。8歳以下の子供に対しては親への指導が特に大事。8歳以上は子度に対する介入が大事。今回の調査ではそこまでしっかりフォローはできていなかった。			投薬VS行動療法のdebateはShared Decision Making Model of Healthに載っている。SDMMでは医者と患者が話し合い、最終ゴールを決めることで、医者が患者に命令的に処方する治療よりも受け入れられるとしている。	
adult, children, 両親					質問紙、個々にインタビュー、グループでの検討			右に記載	コントロールがいいと自分の重症度を勘違いし、薬が必要ないと思う人が多い。子供の場合には友達の前で服用することに親子とも抵抗を感じている人が多い。低所得層では費用に関する問題が大きい。	成人では①吸入ステロイドに対する副作用の心配 ②症状がないと薬をいらないと思ってしまう ③剤形が異なるものを一度に服用するのは面倒 ④薬代がかかる ⑤疾患に対する概念がない ⑥常用薬があると慢性疾患だという烙印をおされる ⑦単に飲み忘れる ⑧長期連用をすると効果がなくなると思っている ⑧薬依存性になりたくない ⑨社会的サポートが受けられない 子供とその両親に聞いたところ①薬を飲んでいるとノーマルでないといわれる ②副作用が心配 ③薬中毒になるのでは ④子供が反抗して薬を飲まない ⑤小さい子供の場合には親以外のベビーシッターや教師、祖父母などが関与するため、治療に対する概念がらがる 低所得層では①薬代が払えない ②薬の副作用などを知らない ③病気よりも日々の生活で精一杯 ④医者を信じていない			
36人の喘息患者、24人の非喘息者、18人の非喘息者	17-55歳	78人						喘息患者では喘息の単語と色の名前を組み合わせたときにより障害が強くて一般的な消極的な単語と色の組み合わせのときよりも。さらにこれらの能力は自己申告によるアドヒアランスのレベルと関連があった。特にアドヒアランスが高い人と低い人では色と喘息症状との組み合わせでより障害された。	感情的なStroop効果は客観的にも感性的にも病気の表現と関与している。病気への感情的な反応が普段の健康管理をも説明できるような研究であり、かつ感情的な表現と健康管理との関係が直線的になると仮定はするべきでない。			喘息患者では喘息の単語と色の名前を組み合わせたときにより障害が強くて一般的な消極的な単語と色の組み合わせのときよりも。さらにこれらの能力は自己申告によるアドヒアランスのレベルと関連があった。特にアドヒアランスが高い人と低い人では色と喘息症状との組み合わせでより障害された。	
						レビュー		3000億ドルがアドヒアランス不良により浪費されているとの試算がある。カナダでは160億ドル	アドヒアランス向上は医療費削減につながり、その研究は推進されなくてはならない				
成人ぜん息患者	18-65歳	46	外来	asthma care provider	audio tapeとテキスト(ぜん息について、薬の役割、吸入器の使用方法とセルフモニタリングに関する技術、環境、急性期の対応)		6ヶ月	テキストを使用すると6ヵ月後の本来のアドヒアランスが上昇していた。テープは効果がなかった。セルフレポートアドヒアランス、QOL、自己効力感に変化はなかった。		当研究の教育方法			
中等症-重症の成人気管支喘息	18-55歳	65人	外来	看護師	不明		7週間		self-management 教育がICSへのアドヒアランスを上昇させる				
42施設	6-11歳	333人	外来	医師	モンテルカスト、クロモリン吸入をそれぞれ4週間	無作為オープンラベル交叉研究	12週間	アドヒアランス、満足度はモンテルカスト内服の方が高かった(78%vs42%)	モンテルカストの方が吸入より安全でアドヒアランスが良い				

対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師、など)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他
喘息に対する心理介入に関する文献 1987年から2002年5月		26文献			MedlineとPsychinfo	文献をレビュー			心理介入は喘息予後に重要である			
6-15歳 軽症喘息 無治療	6-15歳	104名	外来	医師			1年間	2種の薬ともに臨床的効果があり、アドヒアランスはmontelukastの方が高かった				
成人喘息中等症から重症であり、アドヒアランスが低い患者	成人	介入群10名 対象9名	外来	医師	正確なステロイド吸入の知識をプリントを使って伝える		10週間	介入群でアドヒアランス上昇	有用である			
大学病院呼吸器外来患者	33-60歳	23人		研究員	喘息ハンドブックの配布、心理教育、自己管理法、行動認知療法		3ヶ月	介入群の症状悪化が少なくなり、QOLが上がり、否定的感情が少なくなり、アドヒアランスが上がった	患者教育、行動認知療法は有用である。			
喘息患者 (Child Asthma Management Programの8施設)	5-12歳	133人	外来	研究員	喘息日誌記入漏れ、予約の変更、		20-40ヶ月間	観察期間が長くなると喘息日誌の問題が多くなる。児の年齢が高くなるにしたがって問題が多くなる。喘息による不安を抱えているとアドヒアランスは保たれる。		年齢、試験期間	人種、家族の収入、性別	
西バージニア州の喘息患児	7-11歳	42人	電話	看護師	ピークフロー、喘息日誌。ステッカー、ごほうび、付箋、カラフルな喘息日誌	RCT 看護師による教育を施す	5週間	介入群の方が対照群よりアドヒアランスがよかったが統計的有意差はなかった	わずかな改善であったが臨床的には有用である。さらに大規模な研究を行う予定である。			
喘息でER受診した患者	18-70歳	62人(男19:女43)	救急外来			インタビュー		社会生活、人間関係、雇用、経済、治療費	患者とのパートナーシップのためには医師は患者の社会的、個人的、経済的負担を理解する必要がある	経済的な負担感		
アメリカ西部の喘息患者	-	122人	-	看護師	14の指標: フローメーター、吸入手技、禁煙、皮膚テスト、呼吸機能検査、予防接種、不眠、生活制限、入院、救急受診、発作頻度、欠勤、感染、トリガー	14の臨床的指標をチェックしそれに基づいてフローシートで介入	6ヶ月	14中13項目で改善がみられた。(禁煙以外)	フローシートの導入は有用である	フローシート		
都市部の8施設の喘息患児	4-9歳	1199人	電話聴取	調査員	9の指標: 入院、救急受診、喘鳴期間、活動性低下期間など Functional Status II		3, 6, 9ヶ月目の時点	多変量解析によるとアドヒアランス指標はそれぞれ独立していたアドヒアランスが低いとQOLが低下した	アドヒアランスが低いと予後不良であるが、小児科医の患者教育によって可能であることが多い			
青年期	11-16歳	304人	保健室	看護師	喘息薬の知識の確認、吸入手技のスコアリング	症状の程度、アドヒアランス、治療状況、吸入手技、病院への紹介、患者教育、ピークフロー、喘息日誌、喫煙状況などにつき介入	1999年9月から同年12月	保健室でのフォローは喘息のフォローを病院と比較して高める。コンプライアンスの確認の時に情報提供されることが多かった	青年期に限定した喘息ケアが必要である。学校でのケア提供は有用である。	保健室でのケア		

対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師、など)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他
ラテン系アフリカ系アメリカ人軽症～中等症	4-19歳	119家族		研究助手	喘息日誌・ピークフロー	3ヶ月間の患者家族教育	1996年から1997年	被教育群の知識、コントロール、自己管理、アドヒアランス、活動性が有意に改善。	患者教育は治療に有効	患者教育		
ぜん息	11歳～18歳	112人	外来	医師、看護師	テキスト、グループセッション、ビデオ		介入1年 調査2年	2年の時点で、患者申告アドヒアランスは介入群で有意に上昇、ほかの意思、態度、社会的影響、自己効力感、外的因子に関しては有意差なし	この介入はあまり効果がない			ASE-modelというものを使用して、self-report adherence, positive attitude, negative attitude, social influence, self-efficacy, feeling ashamed about having asthma, quality of communication with physician に関して5～10の選択項目を用いて評価している。
						レビュー			良好な医師患者関係、個人向けの実践的な教育を繰り返し供給するとアドヒアランスがあがる	良好な医師患者関係、個人向けの実践的な教育		
中等症から重症の喘息児(少なくとも6ヶ月前に診断)	7歳～11歳	42人	外来			ランダムに治療グループとコントロールグループにわけ、治療グループのみ行動療法を受ける	5週間	①行動変容の介入を受けるグループと受けないグループにわけられた。②両グループは毎日PeakLogでピークフローを測定し日誌に記載するように指示された。③介入グループは児のアドヒアランスを向上させるために両親が行動強化療法を受けた。④介入グループは毎週電話による介入を受けた。⑤PeakLogで測定された正確なアドヒアランスにおいて両グループ間に差はなかった。また、日誌のアドヒアランスにおいても差はなかった。そして日誌の正確さ(架空率)においても両グループ間で差はなかった。	児の自己申告はエラーをはらんでいる。児のアドヒアランスの監視に関する親の教育が児の自己管理を成功させるためには不可欠である。	両親の行動(推測)	電話による介入	アドヒアランスを向上させる目的で両親の教育を行ったが、不適切な対応があったために2グループ間で差が出なかったことが推測される。(日誌を書けたら誉めるはずが架空値を書いても誉められていたと考えられた)
喘息と診断された12人の非喫煙者(毎日抗炎症剤の吸入治療を指示されて登録4週間前から経ロブレドニゾンを要していない)	23歳～51歳	12人	外来	看護師	①喘息の基礎についてのイラストを用いた説明、②抗炎症剤とβ刺激薬の作用についてイラストを用いた説明、③デバイスを用いた正しい吸入方法について(正確にできるまで練習)④ピークフローを用いた喘息行動プランの使用説明(具体的に)	オープン試験	8週間	①30分間の喘息教育1回の効果をスパイロメトリー、ピークフロー、症状、喀痰中のbiological markerを8週間にわたって測定することによりbiological markerが教育介入の効果を反映するかどうかを調べた。②平均症状スコアが低下し肺機能はやや上昇した。好酸球の脱顆粒は50%低下しアルブミンは25%低下した。臨床的マーカーは低から中等度に気道炎症のbiological markerと関連した。	患者教育の効果は臨床的、生物学的結果として検出することができた。個々の教育はステロイド吸入のアドヒアランスを含む喘息のセルフケアに影響を与え、それによって気道炎症を抑制する。	看護師による教育介入		
軽症喘息児	7歳～16歳	122人(男児80人、女児42人)	外来			ダブルブラインドランダムマイズドプラセボコントロール試験	27ヶ月	①ブデソニドを吸入する群とプラセボを吸入する群にわけた。②外来時に薬剤の残数を回収しアドヒアランスを薬剤の実際に使用した回数/使用するべき数で計算した。③両グループにおいてアドヒアランスは低下した。④ブデソニドグループに比べてプラセボグループで早くアドヒアランスが低下した。⑤9歳以下の児では10歳以上の児に比べてアドヒアランスが高かった。⑥9ヶ月以降のすべての期間で朝よりも夕方の方が有意にアドヒアランスは高かった。	長期試験における軽症喘息児の薬物アドヒアランスは有意に低下する	9歳以下の児において10歳以上の児よりもアドヒアランスが高かったことに関しては親のモチベーションが高かったからではないかと推測される		



対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師、など)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他
急性期病院の救急外来で喘息の急性発作のために治療を要した人	17歳～65歳	100人	外来			ランダム化ドブコントロール試験	12ヶ月	①ランダムにPEFモニタリンググループとコントロールグループに分ける。②両グループに教育介入を行う。③PEFモニタリンググループには治療プランにピークフローモニタリングの読み方を使用した。④罹病率、肺機能、アドヒアランスいずれも両グループで改善した。⑤アドヒアランスはPEFモニタリンググループでより改善していたが、有意差があったのは中等症喘息においてのみであった。	適切な薬物治療、個々の自己管理教育、定期的なフォローアップという最善の条件の下ではPEFモニタリングは中等症の喘息においてのみ治療のアドヒアランスに有益な効果をもたらす。	PEFモニタリング		
中等症から重症の喘息児	6歳～17歳	55人	外来				2～20週間	①MDIのキャニスターの重さを量ることによってアドヒアランス＝実際に使用した量/指示された量を計算した。②平均のMDIアドヒアランスは44%(0から100%)であった。③MDIの1日あたりの使用回数が多い児においてMDIアドヒアランスは高かった。④MDIアドヒアランスはMDI/スプレーサーの手技(MDICスコア)や自宅での喫煙とは相関がなかった。⑤低アドヒアランスと1回以上予約を忘れることとは有意に相関があった。⑥やらなかった理由は「忘れた」が最も多かった。	MDIの使用は指示された44%、27%は手技が薬剤吸入を妨げていた。ほぼ半数で同居人が喫煙をしており21%は予約を忘れた。これらのはどのように臨床医がアドヒアランスを評価し改善するかに関わっている。	低アドヒアランスと予約忘れ	MDI/スプレーサーの手技、自宅での喫煙	ほとんどの児や親がMDIやスプレーサーを使うことを親が見ているべき、と答えている。アドヒアランス改善のためにはどのように親が監視し児を助けるかの教育が必要なのではないかと提言。
ATSにより喘息と診断された中等症から重症の喘息患者	18歳～55歳	92人	外来	看護師		ランダム化比較試験	6ヶ月	①ランダムにPEFモニタリンググループと症状モニタリンググループに分ける。②PEFモニタリンググループには行動プランにピークフローモニタリングの読み方を使用し、PEFが70%、50%、30%における行動プランが示された。症状モニタリンググループには行動プランに症状を使用。③教育(病態生理、薬物の役割と目的、行動プランの実行を要求する悪化症状の認識、誘因の回避、患者医師コミュニケーション、について)は両方のグループに対して行われた。④いずれのグループにおいてもFEV1、症状スコア、PG20、QOLは有意に改善し、β刺激薬の使用は有意に低下し、吸入ステロイドの利用は有意に増加した。両グループ間に有意差はなかった。⑤アドヒアランスはPEFグループ65%、症状グループ52%と両方のグループにおいて低かった。	教育、定期的フォローアップ、行動プランは、喘息のコントロールを改善しQOLを改善することに効果的であるが、介入にPEFを使用することはこういったことを達成する唯一の方法ではない。			いずれのグループにおいてもアドヒアランスが低かったことは、患者の行動変容を構築するプロセスの方法の難しさを反映している。

対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師、など)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他
医師により喘息と診断されていて、他の慢性疾患がなく、過去1年間に少なくとも1回は喘息の緊急治療を受けている	1歳～12歳	637人	外来		医師が受ける介入・教育プログラム。①喘息専門家による短い講義。②ビデオにより効果的な教育とコミュニケーションの行動を示す。③臨床問題のケーススタディ。④医師が自分たちのコミュニケーション行動を評価するプロトコル。⑤患者・家族に対するコミュニケーションメッセージや資料の復習。	ランダム化試験	2年間	①小児科医を、2つの喘息セミナーを受けるグループと教育プログラムを受けないグループにランダムにわけた。②2年後、低所得層(年間収入2万ドル以下)においてセミナーグループの医師に治療を受けたグループは吸入抗炎症剤の処方が増え、症状が変わったときの喘息行動プランを受け取ることが多く、学校欠席日数が少ないという傾向があったが、コントロールグループに比べて有意差はなかった。③また、低所得層(年間収入2万ドル以下)において、セミナーグループの医師に治療を受けたグループでは救急外来利用回数、入院、外来受診が有意に少なかった。	医師のための教育プログラムは低所得患者の結果を改善することができる。これらのハイリスク児を標的とした介入は入院や救急外来での喘息治療を減らすことができる。			
デトロイトの低所得地域の14の小学校での喘息児	7歳～10歳が93%を占める	835人			介入プログラム①学校の風通しをよくする(疾患管理トレーニング(例えばたばこの関係)、両親を含めたパンフレットや宿題)。②環境の検出(2つの学級で一般的に呼吸器に影響を及ぼすものの理解を深める討議を行う。このことは喘息児への共感をもたらす)。③校長やカウンセラーへ喘息教育とコントロールの方法。④保健教員による、環境因子が喘息の引き金となることや実際の治療教育のパンフレットや実演。⑤児や養育者向けに喘息治療の質疑応答のあるスクールフェア。⑥家族のための連絡帳(児の医師からの学校のプログラムについての情報、喘息行動プランを児に完成させる、そのコピーを学校に準備する)(①から⑤までの介入プログラムは完全に行うことができた。医師と連絡を取ることができたのはわずかだった)	ランダム化試験	24ヶ月	①介入グループでは有意に日中と夜間の症状が減少した。②日中の症状スコアに関しては、介入グループにおいて17%低下し、間欠型においても持続型においても有意に低下した。③夜間の症状スコアに関しては介入グループにおいて40%上昇し、間欠型では約2倍に増加、持続型では15%減少した。(夜間の症状スコアが特に間欠型で上昇したのは、両親が夜間の症状により注意を払うようになったためと考えられる。)④介入グループでは科学の成績が改善した。⑤すべての欠席日数において両グループ間に差はなかったが、介入グループでは喘息による欠席日数が減少した。⑥介入グループの両親の喘息管理指数は高かった。	介入は症状を減らし、科学の成績を改善し、喘息による欠席日数を減らすことができる			
									小児の呼吸器疾患をコントロールするためには、全ての関わる人間(患者、保護者、医師、行政、健康のシステム)が行動において変わらなければならない。喘息の介入は、自己管理を改善したり、より良い健康やQOLや個人的な目標に到達するために患者を手助けすることが大切。患者自身に症状の観察の仕方、判断の仕方、適切に行動することについて教えていかなければならない。	心理社会的因子: ストレスが高い、自己効力感が低い、適切な治療薬を使われていない、治療のサポートをする環境にない、喘息の子も持つ親のライフスタイルや関係性が自己中心的である。思春期の患者、喘息治療に対して積極的であることに対して、周囲がサポートしたり、自己効力感を盛っていたり、適切な認知がある、不安に対するコーピングスタイルが適切である。学童期の患者、喘息の知識について知っている、喘息の治療をするだけの能力がある、喘息の治療に対して積極的であることを褒められる環境にある。喘息をコントロールするためには、効果的な治療だけでなく、その子どもが社会的・行動的に治療できる能力があるかどうかも関連している。		

対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師、など)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他
入院した喫煙者、大多数はCOPDか喘息	平均63.8歳	85人	入院+外来			喫煙を継続することの深刻さによりコントロールは使用しなかった	入院中+退院後1年間	①入院中に介入を開始。介入としては・2人の看護師による個々のカウンセリングサポート・ニコチン代替療法・グループサポート(すでにやめた人たちによるサポートグループ)・リラクゼーション、禁煙の経験の共有。・ライフスタイルについてのグループ教育(禁煙と食事、運動、アルコール、ストレス管理の関係について。特に再発予防は強調される。)・喫煙、ニコチン、ニコチン代替療法についてのグループ教育・リラクゼーション・電話のフォローアップ(退院1週間後、1, 3, 6, 12ヶ月後)が行われた。②12ヶ月後、39%が禁煙を持続しており、52%がその時点では禁煙していた。③禁煙とやめようとした回数、禁煙準備、ニコチン依存度、入院の長さの間には相関がなかった。	介入は効果あり	個人的な介入	やめようとした回数、禁煙準備、ニコチン依存度、入院の長さ	
								①14の小学校を対象に教員、学校職員、両親、生徒に対してアンケート調査を行い喘息がどのように学校で管理されているかを記述してもらった。②教員はクラスルームや校庭でどのように効果的に喘息児をサポートするかの基本的教育の必要性を指摘した。③学校職員は学校スタッフの機能や喘息発作に関連した学校方針の実施に対する期待についての心配をあげた。④両親は児たちが学校で直面している問題をあげた。⑤喘息児は75%が喘息が学校の授業に影響を及ぼしていると考えていた。	すべての人にとって学校での喘息管理は有用である。			
保護者	3-14歳	91	外来	看護師		1回45分の個別面談		介入群は、喘息の知識や発作時の反応、活動の制限の減少、ピークフローが30%以下に下がる頻度が有意に減少				セルフモニタリング理論
本人と保護者	4-14歳	310	外来	健康教育者		10~15人の小集団で、1ヶ月に1回のセッションを6回		知識の上昇、入院回数の減少、自己管理項目の得点の上昇、発作時の管理の知識が上昇、発作の予測の仕方の知識が上昇、子どもたちが自己評価した自己管理のステージが上昇、咳に対する対処法、呼吸法、静かにすることについて子どもたち自身ができるようになった				社会認知理論
本人と保護者	8-12歳	239	学校	健康教育者		2-3週間にわたって、1回60分のセッションを6回学校で行う。8-12歳の集団セッション		自己管理項目の得点が上昇、症状スコアの減少、自己効力感が治療管理スキルと相関、学校の学年として適切であった				社会認知理論
本人と保護者	6-16歳	95	自宅と外来	リサーチナース		実験群のみに自宅と外来でセッションを行う。病院に来てもらい患者教育、3ヵ月後に自宅に訪問		学校の欠席日数の減少、1年後の肺機能の上昇、入院回数の減少、1年後の喘息治療管理の上昇				セルフモニタリング
本人と保護者	14歳未満	201	入院中	看護師		全体で45分間の個別面談を3回実施		再入院率の減少、日中・夜の発作のある日数の減少				セルフモニタリング理論

対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師など)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他
喘息	8-12歳	50	外来	レジスタードナース	AEP: 解剖生理、トリガーと避け方、発作のサイン、薬、呼吸動作、吸入手技、受診のしかたなど。	RCT、入院した子・発作でERを受診した子、介入群にはAEP (asthma educational program)を親と一緒に1時間、	12週間	喘息に関する知識(AKQ)のみ有意に改善。有意ではないが、入院数・欠席数・喘息に関する問題と重症度についての理解は改善傾向。AASやSAPSのようなセルフコントロールや喘息に対しての態度を柔軟させることに対しては最も効果的ではなかった。	もっと長い時間で内容を濃くすればどうか？		AEP	
本人と保護者	8-11歳	65	学校			2週間にわたって、60分のセッションを2回		FEV1の改善、喘息の知識の上昇、医師への定期受診および救急外来への受診の減少				自己効力感の構築
								<Stand-alone games>ゲームを通じて学習。有意差を持って喘息の知識、self-efficacy for self management behaviours、友人に説明する能力が向上する。ビデオテープを用いるよりもさらに有意にself-efficacy for self management behavioursが向上する。さらにERを訪れる頻度や学校の欠席などのより臨床的な効果も報告されている。<Internet-enabled programs> 112の文献を主に引用。interactiveで入力したデータに対してのfeedbackが早いところに優れる。				
								認知行動療法は喘息QOLを改善、バイオフィードバックはPEF、を改善、リラクゼーションは発作時の薬の使用をへらした	成人の喘息患者には心理的介入が喘息症状や精神的な健康の改善に役立つという十分な証拠はない。			
喘息	18-45	300	外来	医師	インターネット群はインターネット、PEFメーター、電子化された喘息日誌、電子メールOR電話による治療変更の指示	RCT、インターネット群、スペシャリスト群(外来で)、GP群(GPの外来で)	6ヶ月間	インターネット群が他の2つよりも有意に優れているのは、症状、QOL、肺機能、気道過敏性。		薬剤コンプライアンスの検討あり、インターネット群とGP群、スペシャリスト群とGP群、2群づつを比較すると有意差あり。		
喘息、過去6ヶ月間に1回以上の定期外受診and/or過去12ヶ月に1回以上の入院	1-17歳	488	救急外来	医師	1回の外来フォローアップ、介入群には60-90分の教育、Self-monitoring and management(生理・重症度・治療・アクションプラン・デバイスの使い方・マントレス&ピローカバー、PEF)、環境整備とトリガーコントロール、	エントリーする直前にERで3回の吸入、RCT	1、3、6ヶ月後	介入群は有意差を持って定期外受診が少ない、受診2日前に吸入ステロイドを使っている率が多い、QOLに制限が無い。		救急外来のあとの受診+教育、吸入ステロイドのコンプライアンス増加		
喘息、発症6ヶ月以上	24±6.5	16	外来	医師	Global Systems for Mobile Communications(GMS) mobile telephone short-message service。GSM群は週に1回の助言。	医師から1時間の教育、喘息症状や症状スコア、コントロールと発作の指標、MDI手技、PEF評価の仕方などについて。その後2群に、RCT。	16週間	PEF変動率、FEV1.0、咳、夜間症状は有意差あり。吸入ステロイド消費量、FVC、コンプライアンスは変わらず。	アクションプランの印刷物や標準的なフォローアップに追加することで喘息コントロールが改善するかも。		GMSIによる管理	

対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師など)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他
喘息	13-57	12	外来	医師	モバイルフォンのshort message survice(SMS)、1日に4回のSMS(薬を忘れないように、PEF・睡眠障害データ・薬の量を入力しろなど)	12人全員に介入	2ヶ月間	1日最低3回の返事を入力することを要求。患者あたりの返答率は0.69(中央値)、つまり半分の患者が日誌データの2/3以上報告した計算になる。調査期間を通して反応が減少する傾向はなく、9人のインタビューからはSMSダイアリーに非常に熱心であることが伺えた。が、1回で済むようなより簡単なもの、WEBインターフェイスのものを好んだ。	SMSは日常生活の一部であり、どこに居てもデータの収集を可能とする。今までのWEBページとSMSを組み合わせることによって、すぐに減衰してしまうWEBダイアリーよりも良い結果が得られる可能性がある。	SMS		
喘息、COPD、混合	16-75	276	GP外来	GPアシスタント	直接説明、1-4回の30分間のコンサルテーション、疾病・処方薬・コンプライアンス・hyperreactivity、標準化されたチェックリストによる吸入手技、疾病に対処する際の障害についての議論(たとえば喫煙する同僚にどう対処するか)、喫煙していれば禁煙プログラムのサポート、受診する時についての助言、もし有用ならば無料ブックレット(社会環境・薬・アレルギー)	1年間のベースライン評価、RCT、研究者・調査員はブラインド	2年間(1年後と2年後に評価)	呼吸症状(呼吸苦の程度、wheeze、慢性咳+痰)、HRQoLは少し良し、昼夜の障害の程度は変わらず、正しい吸入手技は有意差あり、抗炎症薬のコンプライアンスは少し良し、喫煙に対する態度は変わらず、Self efficacy(予期できない、ストレスな状況下でいかに上手く対応できるか)とCoping style(日常生活の中で病気に対して受動的~能動的に対処する能力)は少し良し。	症状とHRQoLは有意差はないが少し効果があった。今回のプログラムは影響を与えるには短すぎた。年1回の診察でGPアシスタントが患者の知識を見直し情報を追加し新たな問題について議論すれば効果的だったのではないか？	有意差はないが少しは教育の効果あり？		最近のHaynesレビューでもコンプライアンスを大きく変える教育は無く、禁煙・life style・phycosocialな問題に対してはmore intensiveな介入が必要とされる。と記載あり。
										ネブライザーのほうがMDIに比べて正確な投与量が与えられるが、アドヒアランスはMDIのほうが高い。影響を与える因子は重さ、サイズ、形		
喘息、持続型	6-17歳	10	外来	医師	自宅にPC、インターネットアクセス、アドヒアランスは治療モニタリング(定期吸入をしている患者のデジタルビデオ)、診断モニタリング(喘息症状日誌、PEFをしている患者のビデオ)を週に2回自宅から送る(電子的に)ことで評価。喘息コントロールはQOL、サービス利用、レスキュー治療、症状コントロール、自宅テレモニタリングへの満足度、喘息知識の維持で評価。	喘息教育を半数は0、2、6、12、24週目に小児科外来受診して直接受ける(office)。半数はウェブサイト(virtual)から。RCT。0-90日、90-180日に分けて検討。	180日	前半から後半になると有意差をもって吸入手技は改善、PEFビデオと喘息日誌提出率は低下、PEF値は上昇。ただし、office群もvirtual群も同様に化する(2群間に有意差なし)。喘息のコントロール、知識について2群間で有意差なし。	インターネットによるアドヒアランスの評価は効果的である。	インターネットで教育・管理すれば、直接受診と変わらない効果を期待できるか？		
喘息、鼻炎。SPTで肺疹平均径 $\geq$ 陽性コントロールの66% and/or IgE $\geq$ class2。かつマットレスのダストでAcarex Test $\geq$ +。	3-50	378	外来	MIEC	介入群はMIECが訪問時に医師からの説明に加える形で完全なものとする	MIECがマットレススペースと寝室の床からダストを採取。その後、2群へ、RCT。	5ヶ月後に評価	枕・掛布団を洗う、枕を交換する、マットレススペースを交換するコンプライアンスに有意差あり。マットレススペース・カーベットの床のダニの減少度に有意差あり。		医師の指導に追加したMIECの訪問指導		

対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師、など)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他
中等～重症成人喘息患者	18～72歳	72人	多施設	看護師(トレーニングを受け、各施設4人のチーム)	5つの教育セッション(病態生理、薬物療法、トリガー、再燃、自己管理)		1年間	無症状期間は介入群88%とコントロール群89%で同等の物であった。介入群のみに分析を絞れば、行動計画に完全に従った例は無症状期間が多かった。	自己管理プランでのコンプライアンスは教育プログラム中の重要な決定因子と思われる。	行動計画		
6～17歳の喘息児	6～17歳	330人	38の薬局(公共、病院、チェーン店、個人経営など)	薬剤師	薬剤師には8時間のグループ教育セッションやビデオ。介入としては、吸入技術に留まらず、疾患についての疑問やカウンセリング、薬物、症状マネジメント、トリガー、環境について。		1年間	介入群において救急外来、肺機能、機能的状態、QOL、自己管理、欠席日数における改善のエビデンスは認められなかった。	地域薬局の薬剤師による介入において明らかな効果が認められなかった。薬剤師の行動と患者の結末に影響を与えられるものではなかった。地域薬局での統合的な喘息ケアをするためには、薬剤師は膨大な患者-薬剤師に関する妨害を予想し克服することが必要である。			
成人喘息患者(心理学クラスの生徒28名、一般大学コミュニティ32名)	18-51	60名	実験室	医師、看護師、心理士	・スパイロメーター・PSS(Perceived Stress Scale)・自己管理目的のワークブック(治療条件のワークブック、ブラシーボ条件のワークブック)・CBT	・検査群(マニュアルに基づく)・統制群に分けて調査・①両群の肺機能をスパイロで測定・②問診による被検者の状態のチェック。③①と②の患者で状態が同等なものに封筒(ワークブックが割り当てられた)を配る・④検査者とコンタクトをとらないで、被検者はワークブックを遂行する・⑤全ての課題を回収した後、電話にて被検者のスケジュールを確認して、フォローアップセッションのスケジュールをたて、セッションにて質問紙、肺機能の検査、ワークブックのチェックを行う。*毎回、ワークブックの評価を与える。	4週間	治療グループは、ブラシーボグループに比べて、肺機能尺度において大きな変化を示したが、ストレス知覚尺度における差異は見受けられなかった。	優先的なサポートして、マニュアルに基づいた、自己管理介入を実行すると、喘息の健康利益につながる。	・ワークブックを遂行することが、自らの喘息改善に繋がるかもしれないという患者の信念・治療群に関しては、患者自身が喘息の改善を実感していたということ・ワークブックを遂行することがさほどの手間がかからないということ・しっかりワークブックを遂行した物には、10ドルの特別報酬		
喘息	8-16歳	134	外来	ナース コーディネーター	インターネット、喘息症状・PEF・薬・活動制限や欠席について1日1回入力、翌朝には編集されて返ってくる、他にも喘息についての質問やトリビアがある。	最近1年で2回以上ER受診歴and/or1回以上の入院歴がある人、標準的な講義(PEF使用法、green-yellow-redゾーンとそのときの対応)、その後には振り分けRCT。対象群は通常の喘息日誌。	6週目、12週目に受診。そこでチェックと講義あり。	活動制限、FEFがyellow/redゾーンへ低下する、薬を忘れる、インターネット(喘息日誌)を忘れる率は介入群のほうが有意に少ない。	インターネットを用いた管理の方が優れる。			
喘息	16-72	80	入院	asthma nurse	退院前にasthma nurseから30分間の教育を2-3回、ブックレットを使って喘息のメカニズム、トリガー、仕事・レジャーなどのライフスタイル、薬の種類、PEFメーターとその評価・対応、個々に応じたセルフマネジメントプランを作成。	入院48時間以内に、リクルートされて吸入手技・PEF・知識レベルを評価、2群に分けられて、RCT、対照群はルーチンケアとしてスタッフから教育をされる。	退院後6週間、4ヶ月(GP受診)、6ヶ月	介入群では喘息に関する知識、適切な行動、悪化していく症状を見分ける能力は向上。緊急のGPcallは少ない。再入院は変わらない。	退院前に濃厚な教育をすれば自己管理できる。			

対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師、心理士)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他
成人喘息患者	18-51	検査群123名 統制群122名	外来	医師、看護師、心理士	テキスト	I すべての被検者にセルフマネージメントのトレーニングが施された。(喘息の病態生理学、薬物療法、自己効力感、発症の兆候、症状、喫煙、身体体操) * 病態悪化時の自己治療法のみグループSだけに施された。II 1年後喘息の自己効力感がフォローアップされた。	1年後	すべての患者において、大幅の喘息に関する知識が改変させられた。病態悪化の対処において、検査群の自己効力感、ソーシャルサポート、自己治療法、セルフマネージメントの行動に変容があった。	自己治療ガイドラインは有効である。	Banduraの社会認知理論に基づく自己効力感	知識のみでは行動変容を促さない	
喘息、COPD	18-70	喘息78、COPD62	外来	trained nurse、理学療法士	通常の外来の後に、2回、2時間のグループセッション、1-2回の40分の時間の個別のセッション、病態生理、薬、症状への気付き、治療プラン、理学療法、吸入手技、PEFに依じたプランなど。	通常の外来の後に2群へ、RCT、処方薬(吸入ステロイド)の消費量を検討。消費量/処方量>0.75をコンプライアンス良好とする。	12ヶ月間	喘息患者では、中央値で55%:82%(対照群:介入群)と有意差あり。COPDでは効果は認められなかったが、対照群は短時間作用型B2吸入薬を2倍使用していた。		濃厚な教育により吸入ステロイドのコンプライアンスが上がる。		
低所得者医療扶助制度が受けられる施設の小児プライマリケア担当者	小児	53人のプライマリケア担当者	低所得者医療扶助制度対応の施設	トレーニングを受けた地域のプライマリケアリーダー、喘息専門医、行動療法士、ヘルスエデュケーター	喘息教育完全ツールキット(配付資料、行動計画、ポスター、ウェブサイト情報、アラビア語・アジア語対応)	プロバイダーはコスト負担なし、食事付き5時間セミナー、50ドルの報酬あり	1年間(6ヶ月、12ヶ月のサーベイ)	セミナー受講した者は当初喘息についての知識について自信たっぷりであったが、喘息の自己管理スキルについて患者とやりとりする事について不確かだった。患者教育と自己管理スキルを含めたコミュニケーションとカウンセリング技術は6ヶ月ポイントでより頻回に使用し、一部は1年間保持できた。	セミナーは喘息治療のゴールと行動計画の使用に対するコミュニケーションスキルを高めた。しかしこのような訓練は継続してブースティングすることが必要である。			
症候性の診断された喘息児と診断されていない児	小学生(平均8.1歳)	510人の診断された喘息児、299人の診断されていない児	デトロイトの公立小学校14校		アンケート郵送、電話		2年間	中等～重症では機能的状態(例えば有症期間、有症の夜、活動が制限された日数)は有意に、未診断の介入群で減少した。診断されている喘息児でも同様の結果だった。	未診断の喘息児は一般的にnon-atpicであるが、診断されている児に匹敵する症状を持つものも居る。介入は診断された児と同程度、未診断の喘息児の機能的状態を改善した。			
プライマリケアをする者	活動性の喘息児2~12歳	731名。プライマリケア101名	合衆国内の10施設	プライマリケアする者(99名小児科医、家庭医1名、開業ナース1名)	構成は、地域の呼吸器科医またはアレルギー科医によるショートレクチャー、症例検討、ビデオをモデルとしたコミュニケーションスキル。プログラムは2時間半のレクチャーを2回。	1年で一人につき50ドルの報酬あり	1年間	セミナーの1年後完全に電話インタビューでフォローされたのは731名で、介入群では家族の喘息への心配度をより多く尋ね励まし、治療成功へのゴールを設定する。結果、有症日数及び救急外来受診回数の減少を有意に認めた。	このプログラムは、両親のレポートによると、医師コミュニケーションスキル・症状日数、救急施設利用を改善した。	成功のカギは、地域のインストラクターにプライマリケア医を喘息「チャンピオン」としてリーダーシップを取らせたこと。		
一度でも入院歴のある気管支喘息児	5-12歳	101名	家庭訪問		質問紙			養育者の持つ喘息に対する様々な概念が明らかとなった	新たな質問表の作成が可能となった			
気管支喘息患者	3-18歳	141人	外来	医師			6ヶ月	二つの薬でアドヒアランスに違いはなかった、どちらも低かった	アドヒアランスは薬剤の形状によらず低かった			

対象者	対象年齢	人数	場所(外来、入院、救急外来など)	介入者(医師、看護師、など)	用具(テキスト、気管支モデル、など)	手続き	調査・介入の期間	結果	結論	アドヒアランスに影響していた因子	アドヒアランスに影響していなかった因子	その他
70%は持続型喘息	2歳～17歳	group1 116人 group2 118人 group3 118人 total 352人	電話でフォロー		group1の人・ビデオテープ、ピークフローの吹き方、	group1 通常のEDでの喘息教育を行う(喘息のピークフロー・PEFやMDI製剤の使い方・喘息発作の薬の説明・7日以内にかかりつけ医に連絡を取ること・喘息重症度にあわせた喘息のケアプランをたてていく group2 group1のやり方とEDチャートをわたし、喘息のケアプランに関してどうすることがお勧めかを話す・リサーチコーディネーターがかかりつけ医に連絡を取り、患児がED受診したこと、今後どのようにしていくかなどを話します、これを14日間は続ける group3 基本的なED教育と退院後の計画(この方法はFAMの方法に基づいて行われている)→基本的な喘息の知識と環境やタバコについての調査、家族全体での喘息治療のゴールをどこにするか、FAMの喘息キットを使用した喘息教育、他のサービス機関やコミュニティーが照会される	EDにかかった患者を6ヶ月エントリー、その後フォローをし、トータル16ヶ月(2003/2-2004/5)	全体の37.8%はその後ED受診となった。(①が38.4%、②が39.2%、③が35.8%)各介入で変化なし。どのグループもQOLスコアは上昇した。コントローラーを使用した率は全体で69.4%から81.4%に上昇し、どのグループでも差は認めなかった。	EDでプライマリーケアを何通りか行ったが、スタンダードはEDケアとの差は認められなかった。			
4施設の救急受診患者46%は間欠型54%は持続型	1-18歳	464人	救急外来に来た患者に対して1から2週間後に電話で介入を行っている。	医者、看護婦、呼吸機能療法士、	tailoredのほうでは喘息のプランだとか、教育要約を英語とスペイン語で作成。介入群に対してはフリーのホットラインが使えるようにし一般的な喘息に関する内容が聞けるようになっている	12歳以上の子供には本人のICも必要。それ以下は親のICが必要	12ヶ月 一回のEDで患児に介入する時間は30分以内。	喘息の悪化を防ぐレベルがより高かったのは介入群であった。介入群では9ヶ月後も喘息はよい状態が続いた。EDに戻ってしまう率は介入群で圧倒的に低かった。	自己管理について介入することで喘息コントロールは良好となった。さらに評価を行っていき、長期管理の介入も行っていく必要あり			
ハワイの4つの施設に喘息・喘鳴・気管支れん縮で受診した患者とその両親	1歳～18歳	phase I 延べ706人(590人) phase II 延べ353人(313人)	ED受診者	EDスタッフ(リサーチアシスタント・プロジェクト企画者・呼吸理学療法士・看護婦・医者)	視覚にうったえるグッズを使用する(肺機能モデル・6分間の喘息講義DVD・喘息発作時の対応などの記載してあるテキスト)肺機能モデルは視覚だけではなく触って気管支収縮が体験できるもの6分間のDVDは喘息の症状・コントローラーなどの治療について・喘息への対応など。このDVDには咳の音や喘鳴の音も入っている。	phase I ではEDスタッフと地域の健康管理専門家が喘息治療計画を作成するための戦略を練っていた。Phase II の一ヶ月前までにはEDスタッフはその戦略を供給されている。phase I ではED受診3週間後に電話 phase II ではED受診3週間後と3ヶ月後に電話で確認する。また3週間～3ヶ月の間に再度追加で喘息の講義をきくことはできる	phase I 2002/10/8～2003/10/1 最初のED受診3週間後に電話で状況を確認 phase II 2003/10/1～2004/7/8 最初の受診の後、3週間と3ヶ月後に再度確認。	介入前後で喘息に対する計画を持っている患者の数は48人から322人に増加した。また186人の持続型喘息患者のうち、コントローラーを使っていたのは34人であったが、3週間後には80人に、3ヵ月後には68人が使用していた。	EDではプライマリーケアについては供給できるが、長期コントロールは他の者が行ったほうがよい。		EDでビデオを見なかったものは①過去に聞いている②疲れている③タイミングが悪いなどがあった。親の因子でビデオを見るか見ないかは決まっている。(ほかにもTable5にアドヒアランスに影響する因子がまとまっている)	





④-1	④-2	④-3	④-4	④-5	⑤-1	⑤-2	⑤-3	自由記述欄
1	5	1	2	いろいろと忙しいし、夜は早くねたいから	3	ピークフローが低いときだけ、スラムリにやらないこと	それをえの時だけはやらないと、熱が出る可能性があるから	吸入(インター)の時間が長くて、朝時間がない時が困る。飲み薬(オインなど)をたさんのんでるので、それでおなかがいっぱいになってしまふ。花粉(スギなどの木やカモガヤなどの草)に近づかないようにしているんだけど、通学路のりょうわきに花粉があり、通もせまいので、学校へ行くには必ず花粉の道を避らなければいけないのがこまる。その上、通っている学校は木にこまれているんだけど、その木の中にスギ科(メタセコイヤやヨジレスギ)やヒノキ科(シブ/ヒバやコテガシワやカイイブキなど)がたくさんふくまれているんだけど、だいたいようぶなのか。その木の近くで虫とかをかきつてしまわなければならない時はたくさんあるんだけど、だいたいようぶなのか?
1	3	3	2	n	3	イヌをかうのをがまんしている。ぬいぐるみを買うのをがまんしている。	n	n
n	2	n	n	n	n	n	n	n
1	3	1	1	なぜかと言うと、日誌をつけたほうがおしいやさんがいつほっさがなつかわたりやすいから	1	イヌはかいたいいけどなめられると、じんましんがでるのでイヌはかいてはけません。	そうじをしているときにほこりをすつたらぜんそくがでました	4
1	3	1	1	日誌をつけていると自分の体のことが分かるから	1	けむりにちがつかない	けむりをすつたら苦しかったから	n
1	3	1	1	日誌をつけると、自分がどんな時に悪くなるのかが分かる	1	布団をほして。部屋のかつづけをこまめにしている	めんどろだったけど、発作がおきにくくなるから	運動はやっていて良かったと思います。結構体力がついて走っていても発作がでなくなった
2	1	1	1	日誌をつけたほうが先生にわかりやすい。つけると自分の体がわかるとおもうけど、忘れる。メンドクさい。	1	あばれない。けむりに近づかない	あばれるとくるくなる。けむりに近づくと息が苦しくなる	昔を思うと人間はスゴイ楽になってきているので、これからは続けたいと思う。先生のいうことをまもりたいと思う。薬をちゃんとやる。
2	1	1	1	n	2	動物はさわらないようにしている。ぬいぐるみも買わないようにしている。	n	n
1	5	1	2	めんどろ	1	n	n	n
1	3	1	1	状態に応じている薬がもらえるから	1	あまり走りすぎないようにしている	走りすぎると発作がでるから	n
2	n	n	n	n	1	ネコのいるえいに行かない	ネコあるぞーだから	とくにない
1	5	3	2	めんどくさいから	1	n	n	n
1	2	2	1	n	2	n	n	n
1	2	1	2	めんどくさい	1	部屋をきれいにしている	きれいにしたら発作がおきないから	n
3	1	3	1	日誌をつけるとお母さんが怒るから	3	火花やけむりに近づかない	n	けむりをすつたら苦しかったから
2	n	n	n	n	1	体調管理	うがい、手洗い、すいみん、栄養	n
1	5	1	1	日誌をつけると、自分の状態がよく分かるから	1	火花やけむりに近づかない	火花のけむりなどをすうとせきがでるから	n
n	n	n	n	n	n	n	n	n
2	n	n	n	n	1	「日誌をつけて」とは言われていない	n	n
2	1	n	1	n	2	n	n	n
2	1	n	n	n	1	ホコリ類やペット(犬など)に近づかないようにしている	けむりをすつたら発作が夜おきると思ったから	n
2	1	2	1	自分のため	2	n	n	n
1	3	3	1	いつぜん息があたかわかるから	1	手あらいがいをちゃんとしている	ぜんそくがでたらすぐのむ手をあらわなきや、きんがついて、かぜをひきやすくなるから	なし
1	3	1	3	めんどくさい気持ちがある	3	あんまり犬の近くによらない	犬の毛などで発作がおこるコトがあるから	とくになし
1	1	1	2	めんどくさい	3	煙を吸わないようにしている。体力をつけるため、朝の6:30~7:00まで走っている。	発作を起こさないようにするため。やせるため	n
1	4	2	1	1日1日のぜんそくのこと分かるから	1	煙のあるところにちがつかない。ほこりをたせさない。犬やネコにさわらない。	犬やネコをさわると、せきをしたり目がかゆくなるから	きゆうにゆうなどしかない
1	n	n	1	日誌をつけると発作が起きるかもしれないということが分かる先生に聞いたので。	3	イヌを飼っている友達の家には行かないようにしている。	アレルギーだから。	n
1	5	1	1	日誌を書けばどんなに変化しているか分かるから	1	ペットのいる家には行かないようにしている。	猫アレルギーだから。	n
1	5	3	1	自分の体のことが分かるから	3	煙を吸わないようにしている。体力をつけるため、朝の6:30~7:00まで走っている。	煙を吸ったら苦しなりそうだから	n
1	3	1	1	何となく	1	運動しない、猫に近づかない。	猫と遊んだら発作が起こったから	n
1	4	1	1	日誌をつけた方がいいと思うから	1	薬を忘れず飲んで	薬を飲まないで発作が起きるから	n
1	3	2	1	自分のことは自分で責任をもってぜん息日誌をつけた方がいいと思う。	1	僕はイヌと猫は好きだけど喘息が起きるので飼うのを我慢している	n	-
1	1	n	3	初めてなのでこれからつけます。	1	猫をさわらない。煙を吸わない。掃除をする。	猫をさわったら目が腫れたり痒くなったり、火花の煙で咳が出るから。	n
1	4	1	1	日誌をつけるとお医者さんに言われたから。	1	なるべく薬を忘れずに飲む。	発作が起きてくるときは遊ばない。	n
1	4	2	1	日誌をつけると自分の体のことがわかるから。	1	煙を吸わない。風邪をひかないようにうがいをしている。	煙をすうと、発作がおきてしまうから。風邪をひくと発作になってしまうから。	n
1	1	1	2	めんどくさいから。	1	運動をしないようにしている。煙に近づかない。	煙を吸ったら苦しくなるから。運動したら発作が起こるから。	n
1	5	3	1	どんな様子か分からなくなるから。	1	あまり騒がない	ぜえぜえなって発作が起きるから。	n
2	1	3	2	めんどくさい	1	きをつけていない	n	n
1	3	3	3	日誌をつける理由が分からないから。	1	n	n	n
1	5	3	2	自分でつけるのは面倒だから	1	毛のある生き物をかいていない	発作が起きるから。	手洗いうがいをしして風邪をひかないようにしている。
1	4	2	1	お医者さんが記録できるから。	3	ぬいぐるみさわらないようにしている。	毛やダニがいるから。	17
1	5	3	3	日誌をつける理由が分からないから。	1	イヌを飼うのを我慢している	片付けをしないと怒られる。	13
1	n	n	3	まだつけていない	1	わかりません	n	n
1	5	1	1	n	1	n	n	n
1	5	3	1	n	1	フルタイムをきちとする。火花や煙に近づかない。猫のいる家にはいかない。	猫にさわったら発作が起こった。火花や煙に近づかないのは、お母さんに言われた。先生にきちとフルタイムするように言われた。	n
1	4	3	3	お母さんが書いているから	1	n	n	吸入器と吸入薬
1	5	3	3	n	1	n	n	n
1	1	3	3	よく分からない	1	火花や煙に近づかない	煙を吸ったら苦しかったから	n
1	5	3	3	別に気にしていないから	1	できるだけしたばたしない	ほこって咳がでるから	火花が長時間できない。
1	5	3	n	ついでに	2	外から帰ってきてから手を洗っていること	手が汚れていると発作が起こると思うから。	14
1	4	2	1	これからつけようと思っている	1	イヌに近づかないように	片付けをしないと父さんに怒られる。	13
1	1	3	3	わからない	3	わからない	n	-
1	1	3	3	n	3	毛の生えた動物を飼わないようにしている。イヌを飼うのを我慢している。	喘息と言われているから	n
1	5	3	1	日誌をつけるのが面倒だから	1	火花や煙に近づかない。	煙を吸ったら苦しかったから	n
3	1	3	2	日誌をつけるのが面倒だから。	3	イヌを飼うのを我慢している	n	n
1	3	3	1	日誌をつけていると自分の体のことが分かるから	1	猫にさわらない、布団をばきばきしない	猫と遊んだら発作が起こったから	n
1	3	1	3	日誌をつけるのが面倒だから	1	何もしていない	何も気をつけていない	n
1	2	n	3	n	1	n	n	n
1	4	1	1	自分の体の状態が分かるから	1	掃除をして清潔に	部屋を綺麗にしたら発作が起こらないから	n
1	3	1	1	自分の気持ちや生活を先生に正直に言わないといけないから。日誌をつけた方がいい。	2	できるだけ布団をバタバタさせない。	発作がおこらないように	1
1	2	3	1	n	1	プール	n	n
1	1	2	3	日誌をつける理由が分からないから。	1	n	n	n
1	4	2	1	先生によく分かってもらえるから	2	風邪をひかないようにしている	体がよわつくと喘息が起こるから	14
1	5	3	3	自分で書くより下手だからお母さんにつけてもらう	3	猫のいる家に行かない	発作が起きないため	n
1	5	1	1	日誌をつけていると自分の体のこととお医者さんに言われるから	1	火花や煙に近づかない	発作をおこさないように	n
1	5	3	3	自分では日誌をつけることがないから	1	煙に近づかない	煙を吸ったら苦しかったから。	おじいちゃんがドクダミを飲んだら喘息がよくならないと言っていた。
1	2	3	2	日誌をつけていると自分の体のことが分かるから	3	ほこりをさわらない	ほこりを吸ったら苦しかったから。	3

N	年齢	子どもの性別	自分の治療をしている	小発作	中発作	大発作	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	②-3	②-4	③-1	③-2	③-3	③-4		
67	10	1	4	2	2	1	1	2	2	めんどくさい	1	4	1	喘息のため吸入した方がいいから	1	5	1	喘息を治したいから		
68	15	2	2	4	3	3	1	5	1	一応診てもらった方がいいと思うから。アトピーもあるし。薬がなくなったらもらわないといけないと思うから	1	1	3	吸入が実は面倒でその後のうがいも面倒。周りからしなさいと言われるけれど。吸入が面倒だと思うのが一番になる。	2	n	n	n		
69	11	2	2	3	2	2	2	1	1	私は喘息がひどくないと思うが定期的に病院に通った方がいいと思う。	2	n	n	n	2	n	n	n		
70	13	1	4	2	1	1	1	3	3	部活があるから	1	5	1	吸入しているのと発作が起きないから。	1	3	3	薬が効いているか分からないから。		
71	12	2	5	1	1	1	1	5	1	喘息がでないように医者にみせて薬をもらえば、喘息の発作が出ないようになるから。	1	3	1	吸入をすれば発作が出ないから毎日の生活ができるから。	2	n	n	n		
72	11	2	4	3	2	1	2	1	3	喘息がひどいときは通った方がいいけど普通の時は行かなくてもいいと思うから。でも親が行けって言ったら行きます。	1	3	2	2	吸入するのが面倒だから。	3	2	2	薬を飲むのが面倒だから。	
73	17	1	4	2	1	1	1	5	1	喘息を早く治したいから	1	3	2	2	粉っぽくて苦手	2	n	n	n	
74	10	1	3	1	1	1	1	3	1	薬をもらわなきゃいけないから。喘息をなおすため	1	5	1	喘息をなおすため	1	5	1	喘息を治すため		
75	12	1	4	4	4	2	1	5	1	n	1	5	3	n	n	n	n	n		
76	11	1	1	1	1	1	2	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n		
77	11	1	4	1	1	1	1	5	1	自分の為になるから	3	3	1	飲み薬は簡単だから	2	n	n	n		
78	10	2	1	3	3	2	2	1	1	自分の喘息を早く治したいから	2	n	n	n	1	3	1	薬を飲むのは発作があまりでないしそれで良くなるのなら飲むと思う		
79	12	2	4	3	1	1	1	5	1	n	1	4	1	1	3	1	喘息を治すためにも薬を飲んだ方がいいと思ったから。			
80	14	2	5	3	2	1	1	5	1	n	1	1	2	吸入するのが面倒だから。吸入した後口をすすぐのが面倒。時間がかかる。	1	3	1	お医者さんが飲みなさいと言うから。飲まないとお母さんに怒られる。吸入をろくにやっていないから。		
81	13	1	4	1	1	1	1	5	1	定期的に診てもらった自分の状態を知るため	1	5	1	1	発作がいつ起こるか分からないから	2	n	n	n	
82	11	2	5	1	1	1	1	5	1	n	1	5	1	n	1	4	1	n		
83	13	1	4	2	1	1	1	3	1	n	n	n	n	n	n	n	n	n		
84	9	1	3	1	2	1	2	2	1	1	1	4	1	1	3	4	1	薬を飲んでいれば発作が起きないから		
85	10	1	5	2	1	1	1	5	1	ランキー	1	3	1	1	3	1	3	1	発作が起きにくくなるから	
86	12	1	2	4	3	1	3	n	1	n	1	2	1	n	2	n	n	n		
87	10	1	5	1	1	1	1	5	2	早退するのがいやだから	1	3	1	1	吸入した方が喘息にならないから。	2	n	n	n	
88	12	1	2	2	1	1	3	5	2	僕は病院が好きじゃないから行きたくない	2	n	n	n	2	n	n	n		
89	8	2	4	1	1	1	1	5	3	わからない	1	5	1	1	吸入しないと発作が起きるから	1	5	1	飲まないで喘息がまたひどくなっちゃうから	
90	15	1	5	1	1	1	1	5	1	僕は喘息になってから9年になります。あまり病院には通いたくないけど早く治したいから。	1	5	1	1	あまり薬は使いたくないけど、吸入をしなさいという発作がおこるか不安だから。	2	n	n	n	
91	12	2	4	1	1	1	3	5	2	喘息はひどくないし、通院が大変だから。	2	n	n	n	2	n	n	n		
92	11	2	4	1	1	1	1	5	3	私は3年生の時に1ヶ月入院した結果、気管支喘息だったことがわかってそれからがんばる。	1	1	3	n	3	3	3	n		
93	10	2	4	2	1	1	3	4	3	学校を早退するのはやだけれど別にいいから。	2	n	n	n	1	5	1	効果があるか		
94	9	1	3	2	1	1	1	4	3	n	1	4	1	n	2	n	n	n		
95	10	2	3	2	2	1	3	4	1	自分の喘息が早く治ってほしいから	1	3	1	1	1	早く治ってほしいから	1	n	n	
96	11	1	2	1	1	1	1	3	1	日にちが決まっているから来る	2	n	n	n	1	5	1	薬を飲まないといけない		
97	9	2	3	1	1	1	1	5	1	通った方がいいから	2	n	n	n	1	5	1	薬は飲むと楽しいから		
98	11	1	3	3	2	1	2	1	1	ものすごく激しく運動してもスムーズに息がしたいし、うま空気をとくさん吸いたいから。喘息をなくしたい。	2	n	n	n	1	5	1	n		
99	12	2	4	4	4	2	1	3	3	自分の為だから来た方がいいと思う	2	n	n	n	1	3	1	発作はいつ起きるか分からないので、毎日薬を飲んだ方がいいと思う。		
100	11	2	4	2	1	1	1	5	1	通った方が喘息が出てなくなるし、自分の状態が分かるから。	1	5	1	1	喘息が出てなくなるから。	1	5	1	発作が出てなくなるから	
101	12	1	3	4	1	1	1	5	2	よから	1	3	3	面倒だから	1	3	3	気持ち悪くなる		
102	10	2	1	3	2	1	1	5	1	同じ病院の他の科にも通っているから	1	3	1	1	発作の回数が減っているから。	2	n	n	n	
103	11	1	3	2	2	1	1	5	3	いつ発作が出るか分からないから	1	3	1	1	吸入しているのと発作が起きないから。	1	5	1	薬を飲まなければ喘息がもっとひどくなるかもしれないから。	
104	9	1	4	4	2	1	1	5	3	喘息はあまりひどくないので喘息のために病院にはあまり行かない。	1	5	1	1	たまたま咳が出るから	2	n	n	n	
105	10	1	3	1	1	1	2	5	2	僕の喘息はひどくないと思うから	2	n	n	n	2	n	n	n		
106	9	1	2	2	1	1	1	4	3	僕の喘息はひどくないと思うから	1	4	2	2	吸入に時間がかかるから	1	4	1	念のため	
107	9	1	1	2	n	n	2	1	2	n	1	5	3	n	1	5	3	n		
108	12	2	4	2	1	1	1	5	3	その時による	1	1	1	1	発作とか起きないから	2	n	n	n	
109	9	1	4	1	1	1	1	5	1	行って薬をもらわないと苦しくなるから。	1	5	1	1	1	1	5	1	咳がでるから	
110	16	1	4	1	1	1	1	5	1	呼吸機能検査を受けていることにより、自分の喘息の状態を把握できるから。	1	5	1	1	吸入しているのと発作が起きないから。	2	n	n	n	
111	9	1	n	1	1	1	1	3	3	n	1	5	1	1	喘息がいつやだから	1	5	3	のまないといけないけれど飲みたくない	
112	13	2	5	1	1	1	1	5	3	n	1	3	1	1	吸入はした方がいいと思う。でも、後味があんまり好きじゃないです。	1	5	3	予防のために飲む方がいい。	
113	10	2	4	4	1	1	1	3	1	私は喘息がしょっちゅうおきるからお母さんが仕事でも自分が行けるようにしたらいいと思う。	1	3	1	1	発作が1回起きたら結構続くから毎日吸入した方がいいと思う。	1	3	1	発作が起きなくても発作が起きないように毎日飲んだほうがいいと思う。	
114	16	2	4	2	2	1	3	3	3	必要な薬をもらうため。	1	3	1	1	発作がおきたらしんどいからすべし。	2	n	n	n	
115	14	1	4	1	1	1	1	5	1	また発作がおきて、入院しないように。	1	5	1	1	もし吸入しなかったら発作などがおきたときに困るから。	1	5	1	少しでも安心できるように。	
116	18	2	5	3	2	2	1	5	1	声優になるのが夢なので早く治したいから。	1	3	1	1	毎日吸入して少しずつ発作を減らして完治させる為に必要だと思う。	2	n	n	n	
117	18	2	5	4	4	1	2	1	3	n	1	5	1	n	2	n	1	n		
118	11	1	3	2	1	1	1	5	1	あまり発作は出ないけど念のために行ったほうがいいと思うから。	1	5	3	1	1	早く喘息がなくなるべく治って欲しいから。	1	5	1	薬が飲みやすいし、発作が出なくなるようになるから。
119	10	1	4	3	1	1	1	5	2	ややくいから	1	3	3	1	1	3	1	n		
120	12	1	5	3	1	1	1	5	1	スポーツをやっているのと通った方がいいと思う	1	3	1	1	1	3	1	1	薬を飲むのは発作が起こりにくいから。	
121	9	1	5	n	n	n	3	1	1	n	2	n	n	n	2	n	n	n		
122	12	1	4	1	1	1	1	5	3	お母さんがカレンダーに書いているから	1	5	3	1	1	5	3	1	いつものことだから	
123	10	2	4	3	2	1	1	5	1	喘息を早く治したいから	1	3	3	1	1	5	3	1	薬をのんでいれば発作が出ないから	
124	7	2	1	1	1	1	1	5	1	なおるとおもう	1	5	2	2	n	1	5	2	n	
125	12	1	3	2	1	1	1	5	1	n	n	n	n	n	2	n	n	n		
126	12	2	4	3	1	1	1	5	1	大きな発作につながらないためになるべく病院に行くことを心がけています。(大きな発作を起こしてこわい思いをしたことがあるので...)	1	5	2	2	2	2	2	2	長く飲んでるので副作用が怖い。	
127	11	1	3	4	3	1	1	5	1	ひどいと思うから	1	5	1	1	吸入はめんどくさいけど、やらなきゃ後で苦しくなるから	1	5	1	薬を飲まないで後で苦しくなるから	
128	10	1	4	3	1	1	1	5	2	いつもそうしている。入院中だから治してこんどからは通いたくないから	1	5	2	2	1	4	2	2	まずくもないけど飲むのが大変	
129	16	1	4	2	1	1	1	5	1	通うことが日課になっていないから	1	5	1	1	1	5	1	1	昔から飲んでいるから	
130	16	2	3	1	1	1	1	5	3	めんどくさいけれど、たいたことではないから	1	3	2	2	めんどくさい。発作がないので忘れる	2	n	n	n	
131	10	1	4	2	1	1	1	5	1	かえりに本を買ってくる	2	n	n	n	1	5	1	5	薬を飲むと学校が楽	
132	12	1	3	2	1	1	1	5	3	ふつうだから	1	3	3	3	うがいがめんどくさい	1	3	3	飲むのがめんどくさい	
133	12	1	3	3	2	1	1	3	1	ひどいと思うから	1	5	3	3	吸入した後の効果がどれぐらいか分からないから。	1	5	1	薬をのんでいれば発作がおこらないから。お医者さんのがみないというから	
134	14	2	4	3	2	1	1	5	1	時々発作が出るので通院して診てもらったり、相談した方が安心して毎日過ごせる。	1	3	1	1	1	3	1	3	飲んでいた方が発作が出ていくから。	

④-1	④-2	④-3	④-4	④-5	⑤-1	⑤-2	⑤-3	自由記述欄
2	n	n	n	n	3	特にない	n	
3	1	1	1	入院していたときつけてたけど退院してからつけていない。日誌が消えた。	3	何も気をつけてないです。	n	
1	4	1	1	日誌をつける自分の様子等が分かり、とてもいいと思うから。	1	花火や煙に近づかない。カーベットのひかない。ぬいぐるみを買うのを我慢している。水かぶりをしている。	n	4
2	n	n	n	n	1	腫瘍を患っている。	n	2
1	2	1	1	お医者さんが自分のピークやちゃんと吸入しているか分かるから。	1	ぬいぐるみ、花火の煙、イヌや猫、を飼うのを我慢している。埃に気をつけている。	n	じゃまっつて言うのか分からないけれど喘息日誌はたまにしかかかない。理由はつい忘れちゃうからです。
1	1	n	3	日誌をつける理由が分からないから。	1	激しい遊びをしない。動物を飼わないようにしている。暑い日はなるべく歩かない。	n	6.7
1	5	1	3	n	2	ほこりのある所にはないようにしている。	n	3
2	1	n	1	n	1	タバコの煙を吸わないように	n	4
n	n	n	n	n	n	n	n	
2	1	n	3	面倒だから	1	煙を吸わない	n	-
2	1	n	1	自分の様子が分かる	3	ぬいぐるみを買わないようにしている。イヌ、猫にさわらないようにしている。	n	-
1	5	1	1	自分の状態がよく分かるから。	1	掃除などの仕方。	n	
1	1	1	2	日誌をつけるのは面倒。すくなくす。時間がかかる。	1	イヌを飼うのを我慢している。ぬいぐるみに袋をかぶせている。花火やタバコの煙にはなるべく近づかない。土日は布団などを干しにするよう	n	4
1	3	2	1	自分の状態を知る上で大切だと思うから。	1	水かぶりをしている	n	1
1	5	1	1	n	1	猫のいる家にはいかない	n	-
n	n	n	n	n	n	n	n	
2	1	n	3	日誌をつける理由が分からないから。	3	これからです	n	
2	5	1	1	発作が起きているか起きていないかが分かるか	1	なるべく歩かないようにしている。	n	
1	2	1	3	n	3	n	n	
1	3	3	2	日誌の付け方がわからないし、つける暇がな	3	n	n	-
1	3	3	2	日誌は何のためにつけるのかわからないからつ	1	けむりに近づかない	n	-
2	n	3	n	n	1	イヌを飼うのを我慢している。動物のいる家には行かない。ぬいぐるみを買うのを我慢している。	n	9
1	5	1	1	日々の自分の状態が分かるから。	1	部屋の掃除をきちんとしている。イヌとなるべくふれあわないようにしている。花火や煙のあるところ	n	8
1	2	1	1	日誌を続けるのは面倒だけれどつけておいた方が	2	埃っぽい部屋に行かない。埃っぽい部屋で布団をたたかすなど	n	3.6
1	2	1	2	n	3	n	n	
1	4	1	1	お医者さんにほめられるし。楽しいから。	3	ぬいぐるみを買わない、遊ばない。	n	10
1	4	3	3	n	1	イヌを飼うのを我慢している。	n	9
1	3	1	1	n	1	ぬいぐるみを減らしている	n	5
1	5	1	1	日誌書かないと怒られる	2	気をつけていない	n	
1	5	3	1	自分でしたいから	2	薬を飲んでいる。イヌを飼うのを我慢する。	n	9
2	1	n	2	n	2	n	n	
1	3	1	1	先生に自分の状態を教えずに早く喘息を治せるよ	1	n	n	
1	5	2	1	日誌をつけた方が体の状態が分かりやすいから	1	花火や煙の近くに行く時はマスクをする。部屋の掃除をする。	n	4
1	3	1	2	面倒だから	2	n	n	
1	3	3	2	障害があるため自分では書けない	1	良くない物は部屋に置かない。学校にも協力をお願いして教室に空気清浄機を置いてもらったり通学時などはマスクをしています。	n	-
1	2	3	1	日誌をつけていると自分の体のことが分かるか	1	ほこりがたないようにしている。	n	3
2	n	n	n	n	2	花火やけむりに近づかない。絨毯をひかない。ぬいぐるみもかわない。ベットをかわない。	n	16.4
2	1	n	2	僕はぜん息日誌はつけていないけれどつけるのはめんどくさい。	1	イヌを飼うのを我慢している。花火の煙に近づかない。	n	16
1	4	2	1	日誌をつけていると自分の体のことが分かるか	1	ぬいぐるみを減らした。運動を控えめにする。	n	3
1	3	3	3	n	3	動物にあまり近づかない。ソファ、ぬいぐるみ、クッションなど置かない。絨毯を敷かない。	n	
1	1	1	1	日誌をつけたら先生に誉められる。	1	動物のいる家には行かないようにしている。	n	-
1	4	3	2	つかれるから	1	花火や煙に近づかない。なるべく外で遊ぶ。	n	4
1	3	1	3	日誌をつけていると自分の体の状態が常に分かるから。	1	タバコや花火の煙に近づかない。水かぶりをしている。	n	4
1	5	3	1	ピークフローで調子のいいときと悪いときがあるから。	1	片付けを毎日している。	n	3
1	5	1	1	1	1	動物とかにも注意している。	n	家族が気を配ってくれる！
1	4	1	1	日記をつけていると自分のことがよく分かる。	3	走ったりしない。部屋を片付ける。	n	6
1	2	1	3	日誌をつけることは必要と思ってもよく忘れる。	3	イヌやネコにあまり近づかない。ほこりっぽい所に行かない(長く滞在しない)	n	3
1	5	1	1	調整が分かるから。	1	花火などのけむりに近づかない。	n	9
1	5	1	1	毎日つけていないと先生に自分の体のことが分かりにくいと思うし、自分も気を付けるためにや	1	なるべく部屋と片付けるようにしている。空気の入れ換えを毎日している。煙たい所には行かないようにしている。	n	1
1	1	1	3	n	1	n	n	
1	3	3	1	発作をいっばいしていたときとの差が分かるか	1	ときどき自分の部屋を掃除している。	n	3
1	3	1	2	やさしい	1	わからない	n	
1	2	3	3	日誌のことが頭に入らない。	2	ほぼぼ	n	特にない
3	n	n	1	n	3	かたづけを毎日している	n	4
1	5	3	3	きらくを残してほいから	2	咳が出たら親に言う	n	
2	n	n	3	やっています	1	へやのかたづけをしてもら。寝具の手入れを	n	16
2	1	n	n	n	3	n	n	
1	3	1	1	1	1	特になし	n	-
1	5	1	1	発作がおきたときに日誌を見ることができて、どう	1	みずかぶりをしている。身の回りを掃除している。掃除機、カーには近寄らなくマスクをして近	n	2
1	3	1	1	つけたほうが自分の体調が良く分かるから	1	けむり類に近づかない。(特にタバコのけむり)イヌを飼うのを我慢している。ネコをさわらない。ネ	n	4
1	5	1	1	日誌をつければ情報が分かって、早く喘息が治	3	毎日家でほろろしている。水かぶりをしている。掃除機、カーには近寄らなくマスクをして近	n	-
1	5	1	1	日誌になっているから	1	ほこりをすわないようにしている。少し苦しくな	n	3
1	3	1	2	毎日大変だし、忘れる	2	カゼはひかないようにしている。	n	14
2	1	n	3	3	1	薬をのむ。花火をあまりしない	n	4
1	3	3	3	めんどくさい	1	そうじをする	n	-
1	3	1	1	日誌をつけるという発作になったかが分かるし、	1	薬を飲んでいる。	n	-
1	3	1	1	ピークフローを書くことと喘息の自分の状態が良く分	1	なるべく早く寝る。体力をつける。	n	-
1	3	1	1	日誌をつけた方が自分の健康状態が良く分かる	1	なるべく早く寝る。体力をつける。	n	-

N	年齢	子どもの性別	自分の治療をしている	小発作	中発作	大発作	①-1	①-2	①-3	①-4	②-1	②-2	②-3	②-4	③-1	③-2	③-3	③-4
135	8	1	4	3	4	1	1	3	1	n	1	3	1	n	2	n	n	n
136	14	1	5	1	1	1	2	5	1	n	1	5	1	吸入をしていると発作がおきにくくなるから。	1	5	1	薬を飲んでいて発作がおきにくくなった。
137	15	1	3	3	3	1	3	5	1	なおりたいから	1	5	1	らくになる	1	5	1	発作が出ないから
138	14	1	4	2	1	1	1	5	1	自分の喘息はあまり悪くはないと思うが病院に来た方が詳しく分かるから	1	5	1	毎日吸入すればなおると思えるから	2	n	n	n
139	15	2	3	2	2	1	1	3	2	学校があるから休みたくない	2	n	n	n	1	3	1	とまらないとひどいから
140	9	1	5	3	1	1	1	5	1	行ったりしたら自分の身にもなるから	2	n	n	n	1	5	1	飲んだ方が自分のためになるから
141	8	1	4	1	1	1	1	5	3	ぼくのぜん息はひどくないと思うから	1	5	3	吸入はのみ薬よりもかんたんにできるから	2	n	n	n
142	13	2	2	2	1	1	1	3	3	他にやりたいことがあるから	1	3	1	ちと息苦しくなるから	2	n	n	n
143	15	1	4	2	1	1	1	5	1	n	1	5	1	n	1	5	1	n
144	4	2	5	1	2	1	1	5	1	喘息の発作がないからといって治ったわけではない、普段から予防して発作の起きにくい体質にしておくために定期的な診察と投薬が必要だと思うから。	1	4	1	予防治療はとても大切です。(出来ればより副作用が少ないといわれるハルミコートに変えたいです)フルタイドもほとんど副作用ないですけど。	1	4	1	予防治療はとても大切です。
145	11	1	2	5	1	1	1	1	1	最近全然行っていないから。病院に行つて治ってもまた行かないとまた喘息にまたひどくなると思うから。	1	1	1	飲まないともたひどくなるから	1	1	1	薬を飲まないともた発作が起きるから。
146	9	2	1	2	1	1	3	2	3	よく分からない	2	n	n	n	2	n	n	n
147	11	2	4	3	2	1	2	1	3	行った方がいいけれど大変だから	2	n	n	n	2	n	n	n
148	9	1	3	2	1	1	1	4	2	咳が出るので苦しいので医者に行く	1	2	2	吸入するのが面倒だから	1	4	2	毎日飲めば早く治るから
149	8	2	3	2	2	1	1	5	1	n	1	3	1	n	2	n	n	n
150	10	2	1	1	1	1	2	1	3	n	2	n	n	n	2	n	n	n
151	9	1	5	4	3	1	2	2	3	吸入薬を事前に病院からいただいているため	1	3	3	予防のような薬なので、忘れてしまうことがある。発作がない日は毎日する必要があると思う。	2	n	n	n
152	10	2	1	1	1	1	3	5	3	私の喘息はひどくないと思うから。	2	n	n	n	1	5	3	薬を飲まないとお父さんに怒られるから
153	9	2	2	2	2	1	2	1	1	私の喘息はひどくならないと思うけど、たまに苦しくなってしまうように病院に行つた方がいいと思うから。	2	n	n	n	2	n	n	n
154	9	2	4	4	3	2	1	5	3	発作になるのはいやだから	1	5	2	時間がかかるから	1	5	2	めんどくさいから
155	10	2	3	2	2	n	2	1	3	悪い事をしていてその時間内になかなかいけないから	2	n	n	n	2	n	n	n
156	12	2	2	n	1	1	1	5	1	健康な体調を保ちたいから	2	n	n	n	1	5	1	自分が好きなことをするために嫌いな薬でも飲んだ方がいいと思つているから。
157	9	1	3	3	n	n	2	1	3	n	2	n	n	n	2	n	n	n
158	10	1	3	1	n	n	1	5	3	n	2	n	n	n	1	1	2	n
159	10	2	4	2	2	1	3	4	1	病気を治すために病院に通つて少しずつ治して行きたいから。私は動物アレルギーであまりさわつてはいけないので早く治療しているんな動物と遊びたい。	1	4	1	発作がなくて毎日朝と夜にして病気を治したい。飲み薬よりも簡単だから。	1	4	1	薬を飲んでいれば苦しくないしゼーゼーとも言わなくていいから。
160	16	1	4	1	1	1	2	1	3	薬をもらつていればなんでもないから	2				1	5	1	効き目が実感出てくるから(止めたら悪くなったことがある)
161	13	1	3	1	1	1	2	1	3	僕の喘息はひどくないから。	2				2			
162	13	1	3	1	1	1	1	3	2	喘息がひどくないと思うから	2				1	3	2	発作がないので薬を飲まなくても良いと思つた
163	16	1	1	1	1	1	1	5	1	早く治したいから	1	3	1	毎日の吸入は面倒だけど、早く治したいと思つて、忘れはするけどやってきた	1	3	1	長い期間中様子を見る時期もあったり、飲むのを忘れたりがあったが、発作の事を思うと「飲まなければいけない」と思つ
164	14	1	4	1	1	1	2	1	3	発作が起きていないから	2				2			
165	14	2	3	1	1	1	2	1	1	いざと言うときに発作が起きたら大変だ	1	3	1	一刻も早く喘息を治したいから	1	3	1	早く喘息を治したい
166	13	1	4	3	3	1	1	1	2	自分の喘息はほぼ治つていると思う。何年も発作を起こしてないから	2				2			
167	13	1	1	1	1	1	2	1	2	他にやりたいことがある	2				2			
168	13	1	4	1	1	1	2	1	3	自分の喘息はそれほど悪くないと思うから	2				1	5	3	薬を飲み忘れた時でも発作がきほど起きないから
169	15	1	4	2	1	1	2	5	3	自分の喘息はそれほど悪くないと思うから	2				1	5	3	薬を飲んでいれば発作が起きないから
170	12	1	4	1	1	1	3	1	3	そんなにひどい喘息ではないから	1	3	1		1	3	1	薬を飲んでいれば発作が起きないから
171	15	2	2	4	2	1	1	5	2	病院に行くために学校を休むか早退しなくてはならないから	1	3	2	面倒だから	1	5	1	飲まないとも発作が起りやすいから
172	13	2	1	1	1	1	2	1	3	今は喘息が出ていないため、よく分からない	2				2			
173	12	1	4	2	1	1	3	1	1	1	1	3	1	1	1	3	1	1
174	12	1	4	2	1	1	2	1	3	特に自分の体のどこも悪くないから、通つても意味がないと思うから。また、通わなかったら、喘息がひどくなった時に行けば良いと思う。だから自分の体の様子をみて病院に行くことだと思	1	4	3	吸入するのは発作があるときだけだから、自分の体調管理をしっかりしておけば、するもしないも別に大丈夫だと思う	1	5	1	薬はお金を払つて飲んでいて、発作がなくても喘息が治っていないかもしれないから飲んだ方がいいと思
175	16	1	3	1	1	1	3	1	2	もう何年も発作がないから	2				2			
176	16	2	4	1	1	1	2	1	3	現在喘息は完治しているの	2		3	完治しているから	2		3	完治しているから
177	13	1	2	2	1	1	3	1	1	やはり喘息というのはいつ起こるかかわらないから	1	3	1		1	3	1	日々の予防により喘息の発作がなくなるから
178	14	1	1	2	1	1	2	1	3	発作がなく行かなくても困らない	2				2			
179	15	2	4	5	3	1	1	5	1	定期的に受診していれば、お医者さんにどういう状態かプロの目でみてもらえるから	1	3	1	今まであまり発作がなかったで、「忘れても別にいいか」と思っていたのですが、最近発作が多くなってからは、していないとほとんどの確率で発作が出てしまうので、した方がいいと思つます。(フルタイドで、した方がいいと思つます。)	1	3	1	今まであまり発作がなかったで、「忘れても別にいいか」と思っていたのですが、最近発作が多くなってからは、していないとほとんどの確率で発作が出てしまうので、した方がいいと思つます。(フルタイドで、した方がいいと思つます。)
180	13	2	3	1	1	1	2	1	2	私の喘息はひどくないと思うから。他にやりたいことが沢山あるから。病院に行く他の人から風邪とかが移る可能性があるから。面倒くさいから	2				1	1	2	発作がないのでお薬を飲まなくても良いと思つた。薬がまずいから。面倒くさいから
181	14	2	4	2	1	1	1	5	3	そんなにひどくないし、行くヒマもないので、母が薬をもらつてきてくれる	2				1	5	1	薬を飲んでいれば発作は出ないから
182	14	1	3	1	1	1	2	1	1	喘息は放っておくと大変なことになるから	2				2			
183	17	2	4	1	1	1	2	1	1	発作を起こさないようにするため	2				2			
184	13	1	2	1	1	1	2	1	2	僕の喘息はひどくないから。	2				2		2	発作がないのでお薬を飲まなくても良いと思つた
185	14	2	4	3	1	1	1	5	1	薬をもらうため	3	1	2	吸入に時間がかかるから	1	5	1	発作を防ぐため
186	13	1	5	1	1	1	2	1	3	面倒臭いから	2				2			
187	16	1	4	1	1	1	2	1	1	1	2				2			
188	12	2	n	2	2	1	2	1	1	n	2	n	n	n	2	n	n	n

④-1	④-2	④-3	④-4	④-5	⑤-1	⑤-2	⑤-3	自由記述欄				
1	5	2	2	n	1	かたづけを毎日している。ぬいぐるみを買うのをがまんしている。イヌをかうのをがまんしている。	n	n				
1	5	1	1	1	1	日誌をつけていると自分の体のことがわかるから	2	ネコと接するとぜいぜいする為	n	9		
2	1	1	2	2	1	めんどくさい	1	けむりをすうと発作がおこるから	n	4		
1	5	1	3	3	1	何と書いていいかわからない	1	あまり動くとつらくなるからあまり動かないようにしている	n	6		
1	2	1	1	1	2	日誌をつければうちもなくてすむから	2	n	n			
1	5	1	1	1	1	日誌をつけてると自分の状態がわかるから	1	ふとんをバサバサしないこと。ネコにさわらな	n	n		
1	4	1	3	3	1	日誌をつけていると自分の体のことがわかるか	3	花火やけむりに近づかない。	n	n		
1	2	1	2	2	1	めんどいから	3	ネコには近づかない	n	n		
1	3	1	1	1	1	n	1	アレルギーがあるから	n	9		
2	4	3	n	3	1	まだ4歳なので母親が書いている	1	n	なし			
1	1	n	1	1	1	日誌をつけないとどんなことがあったかわからないから。	2	なるべく部屋をいつも綺麗に掃除して綺麗に保つこと。寝具もダニのつきにくいものに変え、いつも清潔に保つ。なるべく風邪をひかないようにする。薬をきちんとのみ続けること。	1	ハウスダストやイヌが行けないと言うことなので常に綺麗にするように心がけています。風邪が喘息に移行するケースが多かったから。薬はきちんと飲み続けて効果の出る物だと思ってるから。	n	
3	1	n	n	n	1	マスクを使う	1	マスクを使う	n	n		
2	1	n	2	2	2	大変そう	3	猫がいても少しだけさわったら近寄らないようにしている	n	n		
2	1	3	3	3	1	日誌をつけるとその時の様子が分かるのでつけた方がいいと思います。	1	咳が出ているときは暴れないようにすること。	n	n		
1	1	3	2	2	1	n	1	n	n			
2	1	n	n	n	1	n	1	n	n			
2	1	n	n	n	2	n	2	n	n			
2	1	n	n	n	1	n	1	n	n			
2	1	n	3	3	1	お父さんの言うことをきちんと聞いている。	1	お父さんの言うことをきちんと聞いている。	n	n		
2	1	n	3	3	3	ほこりっぽいところには行かない。猫やイヌを飼うのを我慢している。喘息が治った後の体育の授業などは休んでいる。	3	ほこりっぽいところには行かない。猫やイヌを飼うのを我慢している。喘息が治った後の体育の授業などは休んでいる。	n	n		
1	5	3	2	2	1	めんどくさいから	1	煙を吸わない。苦しければ休む。	n	n		
2	1	3	3	3	2	日誌のつけかたが分からない。日誌をつけてくれといわれたいから。	2	朝夕の気温の変化が激しい時には服を1枚余分に羽織るようにしている。花火の煙に近づかない。	1	気温の変化が激しい時に、外で遊んでいて呼吸が苦しくなったことがたくさんあるから。煙を吸うと苦しくなるから。	n	
1	5	3	1	1	1	日誌を書いた方が病院に行ったときにどんなことがあったのかお医者さんに分かってもらいやすいと思うから。	1	花粉に注意する	1	私はアレルギー体質だから。	n	
2	n	n	n	n	2	n	2	猫や小動物のいる家には行かない	n	n		
2	1	n	2	2	1	n	1	n	n			
2	1	n	3	3	1	日誌をつけてくださいとお医者さんにいわれないから。	1	まめに掃除をして窓を開けて空気を入れ換えをしたりしている。	n	n		
2	1	3	2	2	2	面倒である	2	喫煙者の近くに行かない	n	n		
2	1	3	3	3	3	日誌をつける理由がわからない	3	煙に近づかない。埃っぽいところに行かない	n	n		
2	1	3	3	3	2	日誌をつける理由がわからないから	2	時々掃除をする。花火や煙に近づかない	n	n		
2					1	特に煙、気温	1	特に煙、気温	n	n		
2	1	3	3	3	1	日誌をつけるほどひどくないから	1	ネコは触らない	n	n		
2					1	n	1	n	n			
2	1	3	3	3	1	日誌をつける理由がわからないから	1	こまめに部屋の掃除をする(埃など)	n	n		
2	1				3	煙や冷気に気をつけている	3	煙や冷気に気をつけている	n	n		
2	1	2	2	2	3	日誌をつける理由がない。面倒くさい	3	イヌを飼うのを我慢している	n	n		
2	1	3	3	3	2	お医者さんに各様には言われていないので、書く必要がないと思う	2	風邪をひかないように気をつけている。埃が多い所に近づかないようにしている	n	n		
2	1	3	3	3	1	つける理由がわからない	1	羽毛の毛布は使わないようにしている	n	n		
2	1	3	3	3	2	面倒だから	2	特に気をつけていない	n	n		
2	1	3	3	3	1	小さい頃のこと、喘息日誌なんて初めて聞いた	2	特になし	n	n		
2	1	2	2	2	1	n	1	n	n			
2	1	2	2	2	1	日誌をつけなくても、薬を飲んでいれば大丈夫だと思うから	1	布団などをバサバサしないこと	n	n		
2					2	n	2	n	n			
2	1	3	3	3	2	完治しているから	2	過去はぬいぐるみを我慢しておりました	n	n		
2	1	2	2	2	3	日誌をつけていても発作したら病院に行けば良いから	3	過去はぬいぐるみを我慢しておりました	n	n		
2	1	1	1	1	2	自分の体のことがわかるから	2	手洗い、うがい、衣服を清潔にする、風呂に入り洗髪する、風邪をひかないよう気をつける、バランス良い食事、規則正しい生活	n	n		
1	2	1	1	1	2	自分の体のことがわかるから健康状態がわかりやすくなるから。(でもつけていない)	2	花火や煙に近づかない。布団で遊ばない	n	n		
2	1	2	2	2	2	日誌をつけるのが面倒だから	2	特にない	n	n		
2	1	2	2	2	2	それほど喘息がひどくないので、必要性は感じない	2	薬を飲むのは忘れない	n	n		
2					2	n	2	n	n			
2	1	3	3	3	2	現在、喘息の治療の終了を言われて発作が起きないから	2	特に意識はしていない	n	n		
2	1	3	3	3	2	日誌をつける理由がわからないから	2	規則正しい生活、食事、バランスのとれた栄養、部屋をきれいに掃除	n	n		
2	1	3	3	3	2	日誌をつける理由がわからないから	2	風邪をひかないようにうがい	n	n		
2	1	3	3	3	1	日誌をつける理由がわからないから	1	空気清浄機をかけている	n	n		
2	1				1	片付けを心がけている	1	片付けを心がけている	n	n		
2	1				2	ペットを飼わない。掃除をまめに行う。雑草に気をつける(内科)	2	ペットを飼わない。掃除をまめに行う。雑草に気をつける(内科)	n	n		
2	1	n	n	n	1	一気にたくさん走らない	1	一気にたくさん走らない	n	n		

表3.

N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	喘息が医療機関にかかっている期間にかかった年(年)	保護者の割合(%)	小発作	中発作	大発作	定期受診の必要無と	①・1	①・2	吸入薬の処方	②・1	②・2	③・1	③・2
1	母	6	女	4	n	0	2	n	n	いいえ	n	n	なし	n	n	なし	n
2	母	2	女	1.8	n	0	3	1	1	はい	4	定期的に受診していることで安心できるため、見てもらっている。子どもの状態を把握してもらえた	なし	n	n	あり	4
3	母	11	男	3	8	0	1	1	1	n	5	n	あり	5	n	なし	n
4	母	7	男	2.8	5	75	2	1	1	はい	5	大人になっても喘息に苦しむのは辛いことなので、なるべく小学生のうちに完治させたいと思っています。	あり	3	吸入は必要だと思うが、本人の意志もあるため、吸入に関しては本人に任せている	あり	4
5	母	4	男	2	2	0	2	1	1	はい	5	n	n	4	n	あり	5
6	母	6	男	3	n	0	2	1	1	はい	5	子どもの喘息はそれほど重症な方ではないと思うが、発作を起こすと子どもが辛いので治療はしっかりしていきたい。	あり	4	治療の為に必要ならば、しっかり続けたいが、副作用は心配している。	あり	5
7	母	4	男	2	2	0	2	1	1	はい	5	n	n	4	n	あり	5
8	母	7	男	6	0.3	0	3	2	1	はい	3	少しひどいので 定期受診して早く治してあげたいので。	あり	4	薬になるのなら、必要な薬は処方したい(今までかかった病院とは違う処方をしていただけなので安	あり	4
9	母	7	女	n	n	0	2	1	1	はい	3	子どもの喘息を治してあげたいから	あり	4	定期治療薬を続ける必要性を感じるから。	あり	4
10	母	2	女	0	1	0	3	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	4
11	父	3	女	3	0.5	0	2	1	1	はい	4	定期受診が必要なので、診察を受けています。	あり	1	今のところ吸入は必要がないそうです。必要になればさせます。	あり	4
12	母	5	女	5	0.1	0	4	5	1	はい	3	重症だと思うから。心配だから。	あり	2	続ける必要性を感じる	あり	4
13	母	7	男	4	1	0	3	2	2	はい	4	医師から定期受診するようにいわれているから、定期受診の必要性があると思うので。一度入院している為、ひどくならない為にも	あり	4	定期治療薬を続ける必要性を感じるが、薬の副作用は心配です。	あり	4
14	母	5	女	5	n	0	3	3	1	はい	4	小さいときに喘息を治したいから	なし	n	n	あり	4
15	母	2	男	2	0.1	0	4	1	1	はい	4	喘息のため、定期検診するに言われているから	あり	4	吸入の必要性を感じるから	あり	4
16	母	4	女	3	1	0	3	2	1	はい	5	症状があまりない時でも毎月1回は喘息のための薬をもらうため、定期受診をしています。	あり	5	副作用があるのかとも気になるが知らないでいる。でも吸入を忘れると症状が悪化するのできちんと治るまでは続けるのが子どものためにいいと思っています。先生を信じています。	あり	2
17	母	2	女	1	1	0	3	1	1	はい	5	医師から喘息のために定期受診するよう言われているし、薬が必要だから。	あり	2	忙しく、忘れてしまうことが多い。	なし	n
18	祖母	5	男	4	n	0	1	3	1	はい	4	受診が必要な限り受診したい	あり	4	副作用の有無はよく理解できないが、咳が少ないと本人も楽だと思う。現在使用している吸入は、時間も短くていい。	なし	n
19	母	2	男	0.5	1.5	75	2	2	1	はい	4	薬を飲んだ方が落ち着いた様子だから	あり	4	状態が落ち着くから	あり	4
20	祖母	2	女	1.4	0.4	0	4	1	1	はい	4	n	なし	n	n	あり	4
21	母	6	男	3	3	0	1	3	1	はい	4	n	あり	4	n	あり	5
22	母	7	女	5	3	25	2	1	1	n	n	n	n	n	n	n	n
23	母	6	男	3	0.3	75	2	1	2	n	4	n	n	4	n	n	4
24	母	5	男	2	3	0	4	1	1	はい	5	n	あり	2	元気な時期が長いと治療をやめてしまう。	あり	5
25	母	10	女	8	2	0	3	3	2	いいえ	3	最近頻繁に小発作を起こしていて子どもも親も心配なので	あり	5	インタールの吸入は必要のある時のみですが行っている。	あり	5
26	母	2	男	0.5	1.5	0	3	1	1	はい	4	n	あり	5	n	あり	5
27	母	11	女	2	9	0	1	1	1	はい	5	n	あり	5	n	なし	n
28	母	1	男	0	0.5	0	1	1	1	はい	4	n	あり	4	n	あり	4
29	母	8	男	5	3	0	3	2	1	はい	4	n	あり	4	n	あり	4
30	母	6,10	男・女	2	7	50	3	1	1	はい	2	n	あり	5	n	あり	5
31	母	5	男	1	4	0	4	3	1	はい	5	自分も喘息の苦しさわかるから、ちゃんと診察していれば大発作の時など妨げられるから。	あり	3	子ども自身でできるが、自分の体調が悪くて全部面倒みれないときがあつたら。補助員の手入れも面倒。	あり	5
32	母	16	女	6	10	75	1	1	1	はい	5	n	あり	4	n	なし	n
33	母	7	男	1	6	0	2	2	1	はい	5	医師から定期受診するに言われているから	なし	n	n	あり	5
34	母	2	男	1.6	0.5	0	2	1	1	いいえ	4	医師から喘息を発作をおこさないようコントロールしていきましょうと言われた。	あり	4	発作を起こさないために必要な治療と思うから。	あり	4
35	母	11	女	3	9	50	3	1	1	はい	5	アトピーもあるので定期的に通っている。前の病院から移ってきたが、その時も定期的にかよっていた	なし	n	n	なし	n
36	母	13	男	10	4	25	4	1	1	はい	5	n	あり	5	n	なし	n
37	母	5	男	1	4	0	1	1	1	はい	5	n	あり	5	n	なし	n
38	母	5	男	3.5	2	75	1	1	1	はい	5	n	あり	5	吸入ステロイド薬を夜1回吸入していますが、機関支の状態が良くなって、吸入ステロイド薬を使用しない状態になってほしいと心から願っています。	あり	5
39	兄	8	女	8	0.1	n	1	2	1	いいえ	n	n	あり	2	副作用が心配だ、補助員の手入れが面倒だ	なし	n
40	母	11	女	3	8	25	3	2	1	いいえ	3	n	あり	4	n	なし	n
41	母	7	女	3	3	75	2	1	1	はい	5	放っておくとどんどん悪くなり、定期的に通院していると進行をゆるめられているから。また、1ヶ月1回のペースで先生に相談できるのが安心。	あり	3	飲み薬一錠、吸入薬一錠、夜2錠・・・これを本人に任せて飲ませているので忙しいときのみ忘れ、たまに薬が不足したりする。	あり	3

喘息から話されたことを医師から	④ ・ 1 2	④ ・ 2	環境整備を医師から	⑤ ・ 1 2	⑤ ・ 2	⑤ ・ 3	自由記述欄
いいえ	n	n	はい	5	ペットは飼わない。そう日は毎日する。布団をローラーできれいにする。	こちらの病院で最初にそのような話もありましたし、書類にもよくかいていいるから	n
はい	4	日誌をつけることで喘息治療を日常に取り入れる。忘れないようにする。(内服など)	いいえ	4	毎日掃除するようにしている。モップがけなど…布団を干したり。	ほこりなど良くないと思うので気を付けている。	
はい	5	n	はい	5	n	n	運動を続けること。生活のリズム。
はい	2	日誌をつけなければと思うが、忙しくてできない。それに、成長とともに発作の発作が変ってきているのでピークが安定しているからいい調子とは限らないので必要性があるのかなと。	いいえ	5	毎日掃除に時間をかけている。生花等は置かないようにしている。	n	学校での校庭の砂埃。マット。ストープ等。
はい	5	n	はい	5	n	n	n
はい	5	医師に状態をしっかりと見てもらうため、必要だと思っている。	はい	5	父のたばこは近くでは吸わない。実家のペットには気を付けている(近づけないなど)、こまめに掃除。	犬と接触した後は、皮膚が必ず発疹が出てかゆみがあり、ひどいときは喘鳴がある。	n
はい	5	n	はい	5	n	n	n
はい	4	定期治療病院が遠いので日誌をつけていると急な発作が起きたときに、近くの病院に行くとき安心な	いいえ	3	なるべく清潔、掃除をまめにしたい。	n	n
はい	4	日誌で日常の状態を医師に把握してもらう為にも記入しようと思う。	はい	4	ペットとの接触には気を付ける	掃除はこまめにしている。布団も日光干している。	n
はい	4	日誌をつけることで自己管理ができていると思う。	はい	5	家や車での禁煙。毎日の掃除。ペットに近づかせない。	n	気温の変化
はい	4	日誌を記載して診察時に医師に確認してもらえらるから、日誌は症状の参考になると実感しているから。	はい	4	掃除機を強力なものに変更。空気清浄機購入。	掃除、特に布団の掃除機がけにより効果を感じたから。	n
はい	4	医師から記載するよう言われており、診察時に確認してもらえらる。	はい	5	ペットは飼わない、なるべくこまめに掃除をしている(毎日ではないが)	血液検査では、陽性にはななかったが、ほこりやダニ等が影響しているかもしれないので掃除には気を付けている。	n
はい	n	今日初めて日誌を記載するよう言われたばかりですが、毎日がんばってつけるつもりです。	はい	4	できるだけまめに掃除するよう心がけている。布団も天気の良い日に干す。布団を変えた。	n	n
はい	4	日誌で病状の参考になると思うから。	はい	4	毎日掃除している。	布団を変えて効果は感じられただけで、親子3人が喘息のため	n
はい	4	日誌は症状の参考になると実感しているから	はい	4	毎日掃除している。	n	ほこりやダニのふん(掃除機をかけた後咳が起るから)
いいえ	1	日誌のことは言われていないので。	はい	3	今まではペット(猫)も同じ布団で寝ていたが、ペットがそばに行かないようにしました。新しい家を探している。高いところのほこりを月に1度は取るようにしました(それまではほこりがたまっていた)	n	医療費の負担が6歳までなので、もっと長くあると良いと思います。中学生になるまでか、義務教育の期間は無料など。(万が一、お金がなくて病院へ連れてこれないなんてことがあると親も辛いので。あまりこういうことはありませんが)
いいえ	1	n	はい	5	布団はこまめに干している。たたくより払っている。シーツは3日に1回洗う。部屋にものを少なくすること。ほこりがたまる場所を少なくしている。毎日掃除。床ふきをしている。	ほこりが少ないと咳も少ない。	外で遊ぶようにしている。体をたくさん動かすようにしている。
いいえ	n	n	n	4	たばこは屋外で喫煙している。蚊取り線香および虫除けスプレー等使用しないようにしている。	屋外で吸うようにしてから咳が出なくなった。猫がいるため、掃除機を何回もかけるようにしている。	n
はい	4	診察時に先生に分かりやすいので。	はい	3	掃除をこまめにする	布団を干すと効果があると思われるから。	ペットの毛(ねこ、いぬ)公園などにいるときわたりなでたりする。たばこの煙やニオイのする部屋に長時間いると咳が止まらないかも。
はい	3	もらえるから	はい	n	n	ねこに気を付けるように言われています。	n
いいえ	n	n	はい	5	n	n	n
n	n	n	はい	5	掃除を毎日する。室内にカビを作らない。布団をまめに干す。カーペットを使わない。布団で遊ばないように話す。	布団で遊んでいると咳が出ることがあるから。	室内のカビ
いいえ	n	n	はい	4	寝室の敷き掛け布団、枕、絨毯をひかない。	n	n
はい	2	日誌1冊終わってからもっていない	はい	2	マットレス布団で遊ばないように遊ばないように注意する。	n	n
いいえ	2	日誌についての指示もなく日誌をもらっていない	はい	5	二宮分府の時に指示を受けているときの状態を保つため、ペットを飼っている家には行かせないようになっているが、掃除が3~4日おきになっている。	子どもの習い事やPTAの面立ができていないので無理がある。もう少し時間を作りたいと思う。	n
いいえ	1	医師から言われていないから。	はい	4	こまめに布団を干す。布団に掃除機をかける。子どもの前で掃除機をかけないようにする。拭き掃除をする。	n	1日のリズムが崩れると発作が起きやすい気がする。昼寝ができないとき、夜遅くなるなど。
はい	5	n	はい	5	たばこは屋外、外食時は禁煙席	n	n
いいえ	1	記載を進められていない	はい	4	毎日掃除している。布団はなるべく毎日干す。ぬいぐるみ類を一切置かない。	n	n
いいえ	2	n	はい	5	ぜん息児のいる前ではたばこを吸わない。掃除や布団干し。ケのある動物には近づかない。人混みの中に入るときにはマスクをつける。	n	n
いいえ	2	n	はい	2	布団を干す際、アレルゲンというスプレーをしている。	n	花粉、ほこり
いいえ	2	発作が出てないときや、小発作の時には日誌をつけていない。中発作のときは食事や水分がとれたか記入(熱、薬の服用など)。	はい	2	ほこりなどなるべくないようにしているが、子どもが3人いてなかなか掃除ができないのと自分の体調が悪くて掃除家事全般ができない。布団を干すようにしている。	3人の内2人は私が体調が悪く、施設に預けていて、2人も施設にいるときは発作は出ないが自宅に外出で帰ってくる下の子が発作を出すことがある。ほこりも原因なのかわからないけれど、たばこが一番の原因。施設ではたばこを吸う場所が通うし、空気もよい。外泊してきたときは、たばこは外で吸うようにしているが、たばこの煙を吸うとせーせーしている(おじいちゃんたちに注意をしている)。	n
いいえ	2	n	はい	2	たばこは吸わない。花火などの煙の方向にきをつける。ちりが出にくいタイプの布団を購入。(枕カバー、布団カバー)	n	季節の変わり目、急に寒くなったとき等、タバコを吸う人の傍にいたとき。
いいえ	2	医師から日誌を記載するよう言われていない	はい	2	タバコは屋外、ペットのいる家にはなるべく吸わない。加湿をしている。換気。風邪をひくと発作が出やすいため、なるべく風邪をひかないよう心がけている	周りのほとんどがタバコを吸うため。実家にペット(猫)がいるため。	n
はい	4	病状の確認や説明する際に役立つと思うので	はい	4	毎日掃除機をかけて拭き掃除をしている。タバコは屋外で吸ってもらう。布団やぬいぐるみをこまめに洗う。布団をペットにかかた。絨毯をはずした。まめに掃除をする。	喘息と診断されてもうすぐ半年。診断してから本やパンフレットをみて整備に努めているところ。	n
いいえ	3	アトピー日誌をつけている。	はい	4	入院治療してからずいぶん良くなりました。入院している間に家を片付け、整備しました。	入院治療してからずいぶん良くなりました。入院している間に家を片付け、整備しました。	やっぱり、掃除だと思ふ。ほこり・ダニの除去ですね。(たんだんいい加減になってきています)
いいえ	n	n	いいえ	5	小4のときに子ども部屋で寝るようにしてから喘息になったような気がしました。布団を新しくしたり、掃除機をたたりていましたが、あまりわからないので、寝る部屋を1ヶ月前にかえてみました。定期的にも過ぎたのか、ここ数日調子がいいような気がします。	寝る部屋を変えて、2階のベランダがあるので、できる限り布団を干してはいます。腹巻きをさせて寝ていますが、多少効果があるような気がします。(体を冷やさないようにすることも大切だと思います)	n
はい	5	n	いいえ	5	布団にマイクロガードなどのカバーを使い、毎日掃除機をかけている。	n	親も子どももなるべくストレスを感じないように生活できれば良いのでは。
はい	5	日誌は症状の参考になると実感しているから。ぜん息日誌を毎日つけるのも大変です。	はい	5	子どもの友達の家遊びに行くとき、家の中でイヌや猫を飼っている家も多く、本当は行かせたくない(私の家にはペットはいない)。花火もしない、タバコも吸わない。	布団をたまには掃除機で吸引する。	n
いいえ	1	発作が頻繁に起きているわけではなく、日誌をつけたりするとストレスになると思う。	いいえ	1	ペットをさわったら、うがい手洗い、シャワーなど	ペットはまずいと言われましたが、環境整備は当然です。	n
はい	2	n	はい	3	カーペットが廊下や階段や室内に張ってある家でしたが、すこすつフローリングにしています。ペットは飼わないようにしている。お父さんのタバコはやめてもらった。できる限り布団を干すように、できるだけ掃除機をかけるようにしている。	n	n
いいえ	n	n	はい	4	タバコ…主に夫が吸いますが、車内、室内では吸わないようにしています。寝具…天気の良い日にはなるべく太陽に当てています。布団の清掃機吸引は月1回くらいです。清掃…清掃機を買いました。以前縦型パック式からサイクロン式へ、たまたま吸引すると自戻しすぎのため以前より清掃回数が減り	子どもの血液検査をしてからダニ、ほこり、タバコの煙、ペット等気をつけるようにしています。薬も飲んでるのでそれなりの効果が出ていると思います。が、果たして環境整備のどの程度の購入なのか。疑問です。また、血液検査をした方がよいのでしょうか?	体格がよい、気管が圧迫されているということはないでしょうか。食べ物で野菜をあまり食べません。就寝時間が学校のある日も10時~11時と年齢の割には遅い方です。



N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	喘息で医療機関にかかっている期間(年)	保護者の関わり(%)	小発作	中発作	大発作	定着診断の必要と	①・1	①・2	吸入薬の処方	②・1	②・2	内服薬の処方	③・1	③・2	
																				①・1
42	母	10	男	7	3	0	2	1	1	1	はい	5	以前は異合が悪い時だけだったが、調子の悪くないときも定期的に受診するようにしてからのほうが発作の回数が少なくなった。(前の小児科医はそんなに重症でないから症状が出たときだけの治療で良いと言っていたが、違う医師に定期的に治療しないといつまでも治らないと言われ病院を変えた)	あり	5	本人の治したい気持ちが強くなり、発作回数も少なくなったので、必要性を感じ、本人がしっかりとやっている。内服薬はとていまいやがっていたが吸入は毎日できている。	なし	n	n	
43	母	7	男	7	0.1	0	1	1	1	1	いいえ	5	アトピー性皮膚炎などの関係で、定期受診しているため、特に喘息の為に考えていない。その都度診ていただくつもりである。	なし	n	n	あり	4	主治医を信頼しているので、投与された通り飲ませるつもり、心配事は、その都度相談するので不安もない。	
44	母	4	男	2	1	0	3	2	1	はい	5	n	定期受診した方が子どもの体調も良い。親も安心できる。	あり	5	薬の副作用が心配ですが、吸入を毎日やることで発作が減っていると思うから続けています。	あり	5	n	飲んでいた方が発作が出にくいので。
45	母	12	女	0	12	50	3	1	1	はい	5	n	n	あり	5	n	あり	5	n	
46	母	4	女	3	1	0	4	n	1	n	4	定期的に受診し子どもの様子を見ていただきたい。どうにか良い方向に症状が向いてほしいため受診している。	あり	4	時々子どもが寝てしまったりなどは吸入できない時もあるが、忘れないように気を遣い、毎日行うように心がけている。	なし	4	吸入の治療を行っている、発作、咳の多い時に飲み薬を飲んでいる。		
47	母	7	男	4	3	75	1	1	1	はい	5	5	素人が勝手にやめて良いか判断できるものではない。	あり	5	吸入は今最も確実で安全だと言われているから。	あり	5	主治医を信頼している。	
48	母	10	男	0	10	75	1	1	1	はい	5	5	0歳の頃から喘息治療を発生して以来一生かかって今の状態をコントロールできるように定期的に受診するという医師とまた、子どもが喘息と分かってから子どもと協力し合ってゆきたい。	n	5	発作があるころは、吸入(いやがる)するとき、大変だった。補助具の手入れ、通院することも大変だったが。	あり	5	主治医を信頼している。	
49	母	8	男	4	4	0	3	1	1	はい	5	5	たまにしか発作でないけれど、完全に治るものなら治してあげたいから。	あり	3	子どもがいやがったりしたとき、無理矢理やるともついでにやがってしまいそうだから。	なし	n	n	
50	母	13	男	2	1	75	1	1	1	はい	5	5	小学校高学年より悪くなったので中学に入っても引きずっているようなので	あり	5	副作用が心配だが、咳で苦しい姿を見るよりはちゃんと薬を続けたい。	なし	5	必要ときには先生と相談している。	
51	母	12	男	2	11	25	4	4	2	はい	5	n	n	あり	5	n	あり	5	n	
52	母	11	男	10	1	25	1	1	1	いいえ	5	n	n	なし	n	n	なし	n	n	
53	母	3	男	2	1	0	2	2	1	はい	5	5	早く治療して重度の喘息にならないようにすることが大切だと思うから。先生のお話を聞いて自分でも本気で勉強して納得したから。お話ししやすい先生と出会えたから。	あり	5	副作用も気にならないといえは嘘になるが、重い発作が起きて強い薬を使わなければ行けなくなる方が恐いし、その前に治療することが大切と考えます。そのリスクも理解の上の服用です。	あり	5	副作用も気にならないといえは嘘になるが、重い発作が起きて強い薬を使わなければ行けなくなる方が恐いし、その前に治療することが大切と考えます。そのリスクも理解の上の服用です。	
54	母	3	男	2	1	0	3	1	1	はい	5	n	n	あり	5	n	あり	4	n	
55	母	24	男	6	18	75	3	1	1	はい	5	5	薬を飲んでいけば発作が出ないから	あり	5	定期治療薬を続ける必要がある	あり	5	定期治療薬を続けているが副作用は心配である。	
56	n	n	n	n	n	n	n	n	n	はい	5	n	n	あり	5	n	あり	5	n	
57	母	5	男	n	n	n	n	n	n	いいえ	n	n	n	なし	n	n	なし	n	n	
58	母	5	女	1	4	0	5	4	2	はい	5	5	定期的に発作が起きるため、薬や吸入を使わないと落ち着かないのと、定期的に通って治していきたいから。	あり	3	発作の時には必ず吸入を行うことができるが予防のためのインテールなどの吸入を忘れたりすることが多い。	あり	5	忘れてしまう時もあるけれど、なるべく飲ませるようにしている。	
59	母	3	男	0	3	0	3	1	1	はい	5	5	情報が得られる。定期的に受診している。医師に状態をよくしてもらえるので。もしも時にもかかりやすい。	あり	3	n	あり	3	つい忘れてしまう。	
60	母	6	男	3	3	0	2	1	1	はい	5	n	n	あり	5	n	なし	n	n	
61	母	6	男	1	5	75	3	2	1	はい	5	5	管理が大切で定期受診で必要だと思うから。	あり	5	日常生活において定期治療薬の必要性を感じるから。	あり	5	日常生活において定期治療薬の必要性を感じるから。	
62	母	5	女	1	4	0	3	1	1	はい	5	5	予防できるように常に体調管理を心がけ、発作のない時も受診している。早く良くなることを願っている。	あり	5	副作用は心配。丁寧な説明がほしい。呼吸器の消毒が面倒でインテールをやめようと思うときもある。	あり	5	いつまで飲み続けるのか不安。副作用も。	
63	母	7	男	3	3	25	2	1	1	はい	5	n	n	あり	5	副作用が心配でできるだけ早く中止したいと思う。	あり	5	薬の副作用が心配だけ薬を続ける必要があると思う。	
64	母	7	男	4	2	75	1	1	1	はい	5	5	大人になるまでに喘息を完治させたいから	あり	5	長期にわたる薬の服用については不安があります。	あり	5	アトピーなどアレルギー症状が他にもあるため、薬の服用は必要だと思っているため	
65	母	3	男	2	1	0	1	1	1	はい	5	5	小児喘息はしっかりと治療することで完治するものなので、今の内に完治させ、大人になってから困らないように指示に従っていく考えです。	あり	5	薬の副作用についても医師、および喘息教室等で疑問もない。吸入させないことで常に発作を起こして苦しめるより、日常生活を支障なく送らせてやる方が大切だと思います。	あり	5	定期治療薬を続ける必要があると感じます。薬を飲まなければ常に喘息の心配があり、発作を起こす都度吸入を土に病院に行ったり入院させたりと本人も辛いと考えておりますので薬を飲ませることに抵抗はありません。	
66	母	3	男	3	1.5	0	3	2	1	はい	5	5	発作で入院したのが始まりだったのでそれ以来、受診している。	なし	n	n	なし	n	n	
67	母	12	男	0	12	75	1	1	1	はい	5	n	n	あり	5	n	あり	n	最近さほどひどくないので吸入だけで済んでいる。	
68	母	10	男	2	8	n	1	1	1	はい	5	5	定期的に受診していると安心だから	あり	5	以前吸入をやめたから1ヶ月くらいで咳が出始めたから。	なし	n	n	
69	母	15	男	6	9	0	1	1	1	はい	5	n	n	あり	5	n	なし	1	6歳で喘息を発症してから内服薬を飲み続けたが、いっこうに改善せずかえって症状が悪くなったため、発作時のテオフェリンの点滴も効かなくなっ	
70	母	3	男	1	2	0	2	1	1	はい	5	n	n	あり	5	重症だったため、定期治療薬を続ける必要があったため。	あり	5	主治医を信頼している。	
71	母	5	男	1	4	0	3	1	2	はい	5	5	喘息は長期にわたる管理が必要であることを知っているから。1	あり	5	必要であることを知っているから。	あり	5	必要であることを知っているから。	
72	母	5	男	2	3	0	1	1	1	はい	5	5	必要性を感じる	あり	5	必要性を感じるため	あり	5	必要性を感じる	
73	母	6	女	0	6	0	3	1	1	はい	5	n	n	あり	5	n	あり	5	n	
74	母	8	男	1.5	7	75	2	1	1	はい	5	n	n	あり	5	n	あり	5	n	
75	母	7	女	5	1.5	75	1	2	1	はい	5	5	もう発作を起こしたくないから	あり	5	もう発作を起こしたくないから	あり	5	発作を起こしたくない	
76	母	4	男	0	1	75	1	1	1	はい	5	5	定期的に受診することで心の安定にもつながるから	あり	5	吸入をやめることの方が不安。	あり	5	主治医をとて信頼しているし、薬を続けていることによって、発作もすいぶん減っている。	

喘息日誌 から 言われた 医	④ ・ 1 ・ 2	⑤ ・ 1 ・ 2	環境 整備 を 医師 から 言 わ れ た	⑤ ・ 1 ・ 2	⑤ ・ 3	自由 記 述 欄		
はい	5	5	日記をつけていると調子の良い悪いの確認ができる(ピークフローの数値など)。医師からつけるように本人が言われたので自覚してつけている。	はい	5	掃除をまめにしている。部屋の換気は毎日する。布団を干したら掃除機をかける。ペットの傍には行かせない。	少しでも早く治ってほしいと思うから、できることはしてあげたい。	n
いいえ	2	2	予防的な治療をしているので症状がないため、つけないでいる。本当は小さなことでもつけた方が良く思っている。	いいえ	5	タバコの煙のあるところは極力避ける(家族は吸わない)。毎日寝る前に部屋の掃除、布団の掃除機がけをする。空気清浄機の設置。洗濯物は屋内に干す。ぬいぐるみ、クッションを置かない。ほこりに注意。	子どもの体調が良くなったので全て心がけて続けている。	アトピー性皮膚炎やアレルギー性鼻炎が良くなる。喘息になるという情報があるので(本当かどうかわかりませんが)気になるところである。
いいえ	n	n		いいえ	5	まめに掃除をする。	やはりよいとは思うので。	n
はい	5	n		はい	5	掃除、布団を清潔にする(掃除機で吸う)	n	n
はい	4	4	日記をつけるのは初めのうちは面倒であったが、なれてくると症状が分かりやすく、とても良い。備考などに咳をし始めた原因など自分で記入したりしている。	はい	4	タバコは屋外で吸い、吸っている人の傍へは行かないようにしている。お布団は掃除機をかけ、掃除機をし、床を拭き拭きしている。	環境整備を続けるのは難しいです。しかし、今回のアンケートでまだいろいろできるのではないかと思います。整備することを忘れずにしようと思いましたが、特に理由はない。	n
はい	5	2	症状の参考になるし、医師にも伝えやすい。	いいえ	2	アレルギー症状が出ている場合は、ペットにさわらないようにしている。タバコは屋外で吸っている程度。	前住んでいたところは、道路沿いでダンプカは目の前を通ることで砂埃がかなりひどく、商店街で風通しは悪く(窓一つ)環境変え、風通しの良い家でフローリングになってからすごい変化がありました。	n
いいえ	n	5	退院してから日記をつけていない、必要ならば記入したいと思う。	はい	5	今まで絨毯の上に布団を敷いて寝ていましたが、フローリングの部屋に変更し、ベッドでシーツ類などもタンゴなど通さない。病院内で紹介していただいたベッドのいる家には行かない。ほこりやカビに気をつけカビがでそうなどはアルコールで清掃。長年ずんでいた家を売って引っ越したら変化がありました。	お布団が入っている押し入れに子どもが入ったとき目が痒い小発作などの症状が出たのでそれから気をつけています。	n
いいえ	1	5	症状が出ないため、日記をつける必要はないと考えているから。	いいえ	5	まめに布団を干したり掃除したりダニ、埃を寄せ付けないようにしている。	家族の協力を得て。	将来的に薬を続けていることで、どうなるかが不安です。
はい	5	3	先生に症状を伝える手段として毎日日記をつけています。年単位で症状を抑えるので。	はい	3	毎日掃除、ペットがいる実家には泊まらない。どこでも禁煙の場所を選ぶ。	家族の協力を得て。	将来的に薬を続けていることで、どうなるかが不安です。
はい	3	n		はい	5	毎日掃除をしている。寝具は防ダニのものに変えている。ファンヒーター使用をやめてエアコンに変えた。タバコを吸うときは子どもから離れるか、別の部屋で吸うようにしている。	寒暖の差(朝晩今の時期は冷え込んでいる)	
いいえ	1	n		いいえ	3	布団を干し、掃除機がけしている。湿度を保つ、洗濯剤は刺激の少ないものになっている。	n	n
いいえ	1	5	まだ程度であること、よく病院へかかるので先生とお話できると思っているから。もし、治療しても進行するようなことがあれば、何が良く何が行けないのか日頃からチェックし直すようにしようと思えます。	はい	5	布団の掃除、湿度、温度計をつけてチェック、ものを置かないようにする。おもちゃも少しして清潔にする努力、カーテンをやめた。海の近くへ引っ越した。土壁に変えた。	大変ではあるけれど、その生活が自分(親)も変えにくる気がしています。少し気を配ることで、規則正しく暮らせるならば続けたいと思います。何よりすっきり暮らすことでその分手をかけてあげられるのが良いと思います。効果があるかはまだこれからです。	子どもと親とって合った先生と出会うのはとても難しいことなので感じます。子どもが生まれてからたさんの先生に出会いましたが、この人なら...と考える先生に出会えば遠くでも治療したいと思えます。そういう出会いが少ないのも事実です。賢沢だとは思いますが、そういう先生が増えたいなと心から願います。自分の子と同じように苦しむお子さんとお母さんこそそういう出会いがあれば...と願います。私たちが続けられるのは先生の笑顔のおかげです。これも大事。
いいえ	3	n		いいえ	5	掃除はこまめにするようにしている。布団も晴れた日には干すように心がけ、布団を掃除機を使ってほこりをとることもたまにしている。寝室のカーテンの洗濯は特に季節ごとに行うようにしている。	効果は特に「に」感じないが、喘息原因になるものを少しでも減らしたいので。	自分(母親)の周囲にも子どもが喘息、喘息気味、という子がたくさんいるが、どの親もなるべく飲ませたくないといっている。だから少し良くなる親の判断で薬を中止し、ぶり返したという話をよく聞く。病院の先生や薬局ではいつも副作用は心配ないと言われているが、親が薬に対する知識を持たないといけないと感じる。また、関係ないかもしれないが、薬だけに頼らず、心身ともに鍛えて行かなければならないと
n	2	n	症状が出るのがヶ月に1度くらいなので日記は記入していない。(今現在は)昔は発作などありましたので毎日書いていました。	n	n	n	n	n
はい	5	n		はい	5	ペット類は買わないことにした。ちりほこりがでないように特に気をつけている。空気の入れ換えに気を遣っている。	n	n
いいえ	n	n		はい	5	ベッドは全部マイクロガードを使用。動物園には行かない。	n	n
はい	3	2	発作が起きた日は、まめにつけているが、そのほかの日はまとめて書いてしまうことが多い。	はい	2	毎日掃除を心がけている。布団を掃除機で吸ったりしているが、毎日ではない。タバコは本人の前では吸わないようにしている。ペットは外へ飼うようにし	n	n
はい	2	5	母が仕事を休んで忙しなため	いいえ	5	タバコは屋外、布団はアレルギー対応、加湿器、空気清浄機	とにかく発作を起こさせたくない。	n
はい	5	n		はい	5	布団に掃除機をかける。掃除をこまめにする。	ステロイドの吸入とインターの吸入両方が合ったときにはすごく煩わしかったのですが、インタールだけになって精神的にも(親が)楽になりました。	学校への発作時の薬の持ち込みが親と子の安心につながるから。
はい	5	5	記録として残し、発作時の対応に生かしたいから。	はい	5	ペットのいる家にはいかせないようにしている。子どもがいない時間に掃除機をかける。布団を喘息用の布団にしている。ニオイのきついところ、排気ガスの多いところをさける。	効果が感じられたので、親が子どものためにするべきことだと思うから。	学校への発作時の薬の持ち込みが親と子の安心につながるから。
はい	4	2	病状はいつどんな形で起きたのか忘れてしまう。日記は必要だと思う。	はい	2	タバコの煙に近づかない。ほこりっぽいところへいかない。	日々の掃除はしているが、風邪の治りかけ、天気による発作など防げないのが原因ということが多い	異常気象、長梅雨、その年によって違う。薬は大切だと思うが、予防薬などで準備しても天候には逆らえない。
はい	5	n		いいえ	2	タバコは屋外、毎日掃除、布団干しなど	n	n
はい	5	5	喘息症状の状態が分かるし、薬を減らしていくための指標にもなるため	いいえ	5	1日に2回掃除機をかける。ペットは飼育しない。布団カバーを変えた。	布団カバーの効果はあった。	今住んでいる家が23区内にあり、空気が悪いこと。
はい	5	5	今後の発作のサイクルの参考になると思います。私が仕事をしたりと多忙のために天候など細かいところが記せずに気にしているが、常に記すようにしている	はい	5	タバコを吸う人もない。来客はベランダへ、居室には埃がたまるような棚はない。カーテンは月1洗濯している。毎日掃除機がけをしている。エアコンや空気清浄機のフィルターは毎月は無理があるが、2ヶ月おきに掃除と洗浄している。エアコンは年に1度エアコンクリーニングを業者に頼んでいる。布団は毎日干し、シーツも毎日変えている。布団の掃除機がけもできている。外干しできない日は乾燥機	シングルマザーなので、協力者などないが、月に掃除、スケジュール表を作って、仕事と合わせてできるようにキャッチリ管理している。金銭的に喘息用の布団などは買い換えられないが、まめに掃除洗濯をしている。カーペット類などは全て捨てた。以前、元気がときに友達とカーテンで遊んでいて、大きな喘息発作を起こしたので、大変必要性を感じている。	交通量の多い大通りの近くに住んでいるため、とても悪い環境だと思えます。引っ越しは考えているがこちらへの通院ができる距離と家賃のかねあいが今は難しい。現在は、区管住宅で生活は維持できている。もちろん引っ越し気持ちはあるが収入は少ないが、仕事を休んで暮らせる収入に成り次第環境+α通院しやすい家を探したい。
はい	4	2	小発作が月に1~2回あるので、こちらに受診するに当たって、近所の小児科でもらった薬を記録するため。また、今後の治療のために必要だと思う。	はい	2	掃除をまめにする。ぬいぐるみを置かない。空気清浄機を設置。	n	n
はい	3	n		はい	2	n	カーペットの部屋をフローリングにしている。	n
はい	3	5	つい忘れてしまうから	はい	5	布団をこまめに干している	n	n
はい	5	n		はい	5	毎日掃除をしている。ペットを飼っているが、なるべく隔離するようにした。	n	n
はい	5	5	子どもの様子をつけるには日記よりも文章に書いた方が詳しく書けるため。	はい	5	掃除をこまめにする。布団を干す。除湿をする(梅雨、雨の時期)外に出るとき、大勢の人の中に行くとときにはマスクをさせる。うがいもさせる。	n	n
はい	3	5	必要であることを知っているから。ただ、あわただしい日や発作が強い日はしていない。また、毎回いつも同じ値なので本当に参考になるのか実感はまだない	いいえ	5	毎日の掃除、カーテン掃除をする。照明器具と量を変える。細かいおもちゃは全て捨てる。家族中の布団を袋入りガードにする。子どもの前には掃除機はかけない。	効果が感じられたから。(というより整備しないと発作がおこる)	水分を多めにとらせる。背中をマッサージ。らかながジュース、筋肉のこりをほぐす整体。空気の悪いところには行かない。
はい	3	5	作業が大変なため	はい	5	掃除をまめにする	医師からの指示があったため	n
はい	5	n		はい	5	フローリングにし、カーペットをやめた。ぬいぐるみを処分した。布団は干した後に掃除機をかける	n	季節ごとのアレルギーは防ぎようがないので困る
はい	5	n		はい	5	毎日掃除、ペットがいる実家には泊まらない。どこでも禁煙の場所を選ぶ。布団を毎日掃除機で。	n	小学校に入学してから、周りのこと違うことなどの理由で薬を飲んだり吸入することをいやがるようになった
はい	5	5	異変に早めに対応できるように	はい	5	ソファを布張りから革張りへ、カーペットをなくす。布団の手入れ、掃除をこまめに	発作はもういい	n
いいえ	5	5	ぜん息日誌は勧められていないが、生まれてから毎日の体調のようなものは必ず日記のようにつけている。いつ具合が悪くなったかなどを後で読み返すことができるので。	はい	5	タバコは屋外、火花などの煙にも気をつける。掃除は毎日、ペットになるべくふれさせない。風邪をひかないように気をつける。ぬいぐるみを置かない	マイクロカーを使っている。	n

N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	保護者の関わり合い 喘息で医療機関にか かっている期間にか かっている期間にか	小発作	中発作	大発作	定形受診の必要無 と	① ・ 1	① ・ 2	吸入薬の処方	② ・ 1	② ・ 2	③ ・ 1	③ ・ 2	
																		③ ・ 1
77	母	12	女	4	8	75	1	1	1	いいえ	5	今までずっと定期受診してきたが、症状も落ち着いており、喘息に関しては、悪化した際に受診すればいいものと考えております。ただ他に、食物アレルギーやアトピー性皮膚炎もあるため年に一回ほどの受診を続けております。	なし	n	n	なし	n	n
78	母	13	女	8	5	50	2	1	1	はい	5	軽症なのだと思うが、完治をしているわけではないし、いつか大発作が起きるかもしれないと思うと、定期的に受信、検査の必要性を感じるから。	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じるから。	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じる。主治医をとても信頼している。
79	母	10	男	2	8	25	1	1	1	はい	5	こちらの病院で、講習を受けたときに、「喘息はなおる」と聞いたので、子どものために治してあげた	あり	5	きちんと吸入して、体調が良いのは親子ともに。	あり	5	主治医を信頼している。
80	母	6	男	3	3	0	3	1	1	はい	5	子どものアレルギーは重いと考えられており、早く症状を改善したいから。	あり	5	定期治療を続ける必要性を感じているので。	なし	n	n
81	母	6.10	女	2.9	3.4	0	1	1	1	はい	5	定期的に受診する方が安心できるため。	あり	5	n	あり	5	n
82	母	9	男	6	3	0	2	1	1	はい	4	子どもの内にきちんと治しておきたいから	あり	4	副作用はほとんどないということなので、しっかりと治しておきたいから。	なし	n	n
83	母	10	女	5	5	25	2	1	1	n	5	医師から言われているから	なし	n	n	あり	5	将来肝臓のことが少し心配。
84	母	4	男	2	2	0	2	2	2	n	5	喘息の他にも病気を抱えていて、一緒に診察してもらっている。喘息のためには言われていない。	あり	5	吸入がとてよく、効果があるので。でもその時の状態により、薬の数、量、回数等増減しています。	あり	5	主治医を信頼しているから。
85	母	8	女	6	2	75	2	1	1	n	3	n	なし	2	n	なし	n	n
86	母	10	女	3	7	50	2	2	1	はい	5	n	あり	5	定期的な調子が悪くなるので少しでも予防ができればと思う	あり	5	定期的に発作が起こるので予防薬として活用したい。
87	母	6	男	2	4	75	4	1	1	はい	5	n	あり	5	副作用が心配ではあるが、必要だと思う。	あり	5	副作用は、心配だが、続ける必要性を感じる。
88	母	8	男	3	5	50	1	1	1	はい	5	喘息の状態を把握しておいた方が安心だから。	なし	n	n	なし	n	n
89	父	12	女	8	4	0	4	4	2	はい	4	良くなってもらいたい	あり	4	n	あり	4	n
90	母	11	n	2	n	n	2	2	2	はい	5	学校などで時間があわせにくいけれど、心配なので受診している。	あり	3	忘れることがある	あり	5	必要性を感じる
91	母	10	女	5	5	0	3	2	1	はい	5	n	あり	3	調子が良い時期が続くと忘れてしまう。朝は出かける準備であわたくし、つい忘れてしまう。	なし	n	n
92	母	10	男	2	8	75	2	1	1	いいえ	5	n	なし	n	n	なし	n	n
93	父	9	男	9	0.5	75	3	1	1	はい	4	重症だと思う。将来が心配。	あり	4	必要性を感じる。補助具の手入れが面倒だ。	あり	4	薬を用意するのが大変。
94	母	9	男	2	7	0	2	1	1	n	n	n	あり	5	吸入をやめると喘息が出てくるのが吸入をすると状態が安定しているから。	あり	5	飲み薬は赤ちゃんの頃からアレルギー薬を欠かしたことがないので薬に対する不安感などは麻痺しているかもしれない。副作用が全くないわけではないと思うから飲まなくていいなら飲ませたくないが、飲む必要があるなら飲むしかない。
95	母	11	女	11.1	0.1	25	4	2	1	はい	3	喘息発作を起こすことがない生活をさせたいから。	あり	4	この1ヶ月弱吸入させて改善しており、完全に治るようにおもい。また、吸入剤の効用を医師から説明を受け、必要性を理解したから。	あり	4	主治医を信頼している。
96	母	12	男	10	3	0	1	1	1	はい	5	子どもの喘息は重症だと思うから。少しでも早い内に完治するようにしたいため。	あり	5	定期治療を続ける必要性を感じる。	あり	5	主治医を信頼している。
97	母	8	女	4	4	25	1	1	1	はい	5	n	あり	5	副作用が少なく安心とお医者さんから聞いたので。	なし	n	n
98	母	13	男	13	n	25	1	1	1	はい	3	n	なし	4	n	あり	4	n
99	母	9	男	3	6	0	2	2	1	はい	4	医師から喘息のために定期受診するよう言われているから。	なし	n	n	あり	4	医師の話から定期治療薬を続ける必要性があるとと思うから。
100	母	12	男	9	2	n	2	2	2	はい	5	n	あり	5	n	なし	n	n
101	母	10	女	2	8	75	2	2	1	はい	3	n	あり	3	n	あり	3	n
102	母	10	n	10	0.1	50	2	1	1	はい	4	以前発作を起こした期間よりも短くなってきているから。	あり	4	完全に治したいから	あり	4	n
103	母	11	男	11	0.4	25	1	1	1	はい	5	定期受診の必要性を知っているから。	あり	4	吸入の必要性を知っているから。	なし	n	n
104	母	14	男	10	4	25	5	4	2	はい	4	最近発作の回数が多くなって生活に支障が出てきたため	あり	4	発作の為、生活に支障があるので治療は80%以上実施できていると思う。	あり	4	定期治療薬を続ける必要性を感じる。
105	母	11	男	n	n	75	3	1	1	はい	5	喘息を重症にしないよう発作が起きないように定期的に医師に診察してもらうことが大切で子どものためにもよいと思います。	あり	5	副作用がほとんどないと言われても心配はやはりありますが、発作を起こさないことが大事だと思うので必要と処方されたら使用することが大事だと思います。	あり	5	医師を信頼しているし、子どものために必要であればするのが当然だと思います。
106	母	8	男	0	8	50	3	3	1	はい	2	なかなか忙しい	あり	6	時々忘れる。	あり	3	忘れる
107	母	9	男	6	3	75	2	2	2	はい	2	n	あり	2	n	なし	n	n
108	母	8	男	2	6.5	50	1	1	1	はい	5	発作をなるべく起こさないようにし、なるべく活動的な生活をさせてやりたいので。	あり	5	一度悪化させると薬の量が増え、減らすのにまた時間がかかるので、少しでも薬のいらぬ生活にしたいので。	あり	5	発作予防に必要だと思うので。
109	母	11	女	9	2	0	2	1	1	はい	5	発作が起きると子どもがしんどい。治るのであれば治ってほしいから定期的に受診し、安心できる。	あり	5	このまま使っている薬の副作用があるのではないかと心配である。	あり	5	吸入と同じ副作用が心配である。
110	母	9	男	2	6	75	1	1	1	はい	5	n	あり	n	必要な時のみ使う程度まで良くなっているのを持ってはいるが、使うことはほとんどありません。	なし	n	n
111	母	12	男	5	2	0	4	2	1	はい	5	子どもの内にきちんと治しておきたいから	あり	6	少しは症状がましになっているようなので続けたいと思っています。	なし	n	n
112	母	9	女	3	5	0	3	3	1	はい	5	子どもの内にきちんと治しておきたいから	あり	5	薬の副作用が少し機になるものの、症状が軽減している気がします。	あり	3	飲ませているものの効果があるのか？と思うこともあります。
113	母	10	女	2	8	0	2	1	1	はい	5	n	n	5	n	あり	5	n
114	母	9	男	9	0.2	0	3	1	1	はい	4	どの程度の喘息か知りたいので様子をお医者さんに聞くため。	なし	n	n	あり	4	主治医を信頼している。
115	母	11	女	3	8	75	1	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	5	定期的に治療薬を続けた方がよいと思うので。
116	母	8	男	5	3	50	3	2	1	はい	3	医師から定期検診の必要性について説明されたため。	あり	3	時々忙しくて親も子も忘れてしまうため。	あり	4	喘息発作が定期的にかかるため、きちんと治療をして治すよう主治医に勧められたため。

喘息から 日誌の 記載を 医師に 伝える	④ ・ 1 ・ 2	④ ・ 2	環境 整備 を 医師 から 言 わ れ た	⑤ ・ 1 ・ 2	⑤ ・ 2 ・ 3	自由 記 述 欄	
はい	3	症状が出ないため、また薬もしていないので怠りがち、風邪気味の時はつけるようにしている。	いいえ	5	シーツ、マイクロガードにしている。掃除。ペットは飼わない。	経過が長く、幼少の頃医師から少し指示を受けたので、その時全て変えた(寝具類)。効果はよく分かりませんが、今はあまり気にしていませんが、身につけてしまっているため苦痛はない。	n
はい	3	日誌は病状の参考になると思っています。子ども自身が日誌を自分で記入したが、必要性も認知していながら記入し忘れることが多い。	はい	5	毎日掃除をしている。ぬいぐるみを置かない。ペットのいる家には極力入らないようにしている。	家族で協力しているから	東京の交通事情でいたしかたないのですが、大気汚染は大きな影響があると思う。
はい	5	日誌は病状の参考になると実感しているから。	はい	5	毎日掃除をしている。	効果が感じられたから。	n
はい	3	忙しさのため、(0歳の弟がいる)つついチェックしないままになることがある。	はい	2	布団やシーツをかえた。クッション、座布団は捨てた。	狭いマンションで、物の整理がしづらく、掃除がしづらく。	マンション住居で狭い。風通しが悪い。日当たりが悪い。環八から近い。商店街で空気が悪い。
はい	3	症状があまりないため、日誌をつけるのを忘れてしまう。	はい	5	主人はタバコをやめた。ぬいぐるみを片付けた。毎日の掃除をしている。休みの日は布団干し。犬猫等の動物を飼わない。	n	n
はい	4	記録に残しておくことは良いと思うから。	はい	4	なるべく毎日掃除機をかける。部屋の中でなるべくタバコさせない。	効果はよく分からないが、自分でできることはできる範囲でしたいと思うから。	n
はい	5	医師から言われているから。	はい	5	寝室の枕と布団が敷かれていない部分を埃がなくなるとも効果があった。	n	n
いいえ	3	喘息以外の病気もあるために、生まれてからずっと同じような日誌を書いているので。	いいえ	5	空気清浄機の設置。温度計、湿度計をおき、まめに換気。室内はとも掃除機にとはいかないが、空気を綺麗にしています。私もハウスダスト等空気が悪いと、アレルギーが出るので、外出もそういうところを避けています。	私自身がアレルギーを持っているので、空気が悪いところには行きませんので。	吸入器、吸引器の清掃が大変だし、大きい物は丈夫だが、持ち運びが大変で、小さい物は持ち運びに便利だが、壊れやすく、小さいものに値段が高い。もう少し適度な物があるといいのと思う。
いいえ	1	日誌を勧められないので必要性が分かりません。	はい	3	布団を天日干し後、掃除機で吸い入れている。ペットを飼わない。タバコを吸う客人には外でお願いしている。洗濯物を取り込み除菌等を払い落とすからしまっている。	n	n
はい	5	診察時に参考にできればと思って。	n	2	毎日の掃除。布団の乾燥や寝具の種類。	医師からの指示のため	学校や家庭でのストレスなどが影響しているように思う。気持ちの落ちたも、少しは影響しているので水道水、臭い。
はい	5	病状の参考になる。	はい	5	カーペットはひかない。ぬいぐるみ、布製ソファ、クッション、植物、水槽はおかない。換気を心がける。布団干しをまめにする。布団カバーシーツ、枕カバー等こまめに洗濯をする。布団は高密度繊維のものを使用する。動物は飼わない。人工的香料を使用した物は使わない洗剤は無添加の物を使う。空気清浄機、浄水器使用。	できる限りのこととして完治させたいから。	n
はい	5	つけている方が安心。	はい	1	毎日の掃除と布団を干している。家の中の物を減らすよう心がけている。	気をつけている方が、喘息の状態がいいと思うから。	n
はい	4	n	はい	2	n	n	n
はい	2	忘れる	はい	5	シーツ、空気清浄機	効果がある	n
いいえ	1	日誌をつける程でもないと考えているから。日誌をつけるのを継続するのが難しい。	はい	2	掃除機をかける。	家の床全てが絨毯で変えるのに費用がかかるから。	n
いいえ	3	n	はい	5	毎日掃除(拭き掃除)している。布団のカバーを家族全員マイクロガードに変えた。カーテンを定期的に洗う。ペットのいる家には行かない。煙(花火等)に地下壕婦人、風邪をひいたら、早めに喘息の薬を飲む。	n	電車の中のエアコンに近づかない。衣替えの季節はマスクをして電車にのる。スナック菓子や加工食品は極力控える。水泳を週2回する。
はい	4	日誌は病状の参考になると実感しているから。	はい	4	防アレルギー、ダニ布団カバー購入。ぬいぐるみ処分。空気清浄機使用。	n	近隣環境、車、道路。
はい	5	日誌はつけるよう言われているから。	はい	5	絨毯、ぬいぐるみ、クッション禁止。シーツは特別な物で、ペットもさわらせていない。	n	n
はい	n	今日から日誌をつけるように言われた。必ず記録してゆきたいと思う。	はい	4	布団乾燥機での吸い取り。布団カバーはダニを通さないのをしよう。ペットのいる家には行かせない	インターネット等で喘息について読み、必要性を感じた。また、アレルギー検査で、ハウスダストがアレルギーであることがわかっているから。	野菜嫌い偏食により免疫力の低下。運動不足、体力がない。アトピー性皮膚炎。
はい	4	病状の参考になると実感しているから。	はい	5	毎日掃除をしている。	ほこりやタバコの煙に気をつけるよう家族が協力してくれるから。	n
はい	5	病状が参考になるので、後でもよく分かるから。	いいえ	2	毎日掃除している	最近発作が出ないから。	n
はい	4	n	はい	4	室内でペットを飼っているが匂い除け(ベッドなど)、部屋の掃除をこまめにする。空気の入れ換えを毎日する(雨の日以外)	布団のシーツをこまめに洗濯する。	n
はい	4	日誌は病状の参考になると思う。	はい	4	主人のタバコは屋外で吸ってもらっている。毎日できるだけ丁寧に掃除するように心がけている。子どもが一人で出かけることが多いので本人にも気をつけさせている。	医師からいただいた資料にいろいろなお知らせが書いてあって、効果があるならええです。これからはこうと思っている。	n
はい	2	n	はい	5	部屋は埃がないようにまめに掃除をしている。	n	n
はい	n	n	はい	5	ほこりやけむり、猫等は長い間気をつけているが、なかなか完全には無理なように思う。	n	喘息の治療は長い時間が必要で大変です。何年もしてきた治療の末、また思うといやになるけど子どものつらさを思うと定期的に受診を始めようと思いま
はい	4	日誌は病状の参考になると実感しているから。	はい	5	HI8.4に新築を建てた際に、いろいろと(フローリング、ベッド、家具をあまり置かない)考えて建てた。	n	n
はい	4	病状の参考になるから	はい	4	掃除をこまめにする。タバコは外で吸ってもらうよう家族に協力してもらっている。本人に(煙、冷気などの環境を避けるように説明した。)	n	n
はい	2	日誌をつけるのはめんどくさいのと、忙しくて忘れてしまうから。	はい	4	タバコは屋外で吸うようにしている。ダニ対策用の布団やシーツを使っている。	布団を替えたなら効果が感じられたから。家族が協力してくれるから。	n
はい	5	受診は1~2ヶ月だが、日記によって医師にこどものいつもの状態がよく伝わるので必要だと思いつけています。	はい	5	生き物には近づかない。家で布団の上などで暴れないよう。そうし、洗濯などに機を使っています。	気をつけているが、特に効果があったかどうかは？	n
はい	2	忙しい	はい	2	掃除している	いそがしい	ストレス
はい	3	n	はい	2	タバコは外で吸う。掃除をできるだけする。	掃除が行き届かない。家族本人ともに協力はない。	n
はい	5	日誌は病状の参考になると実感しているから。	はい	5	毎日掃除をしている。毛のあるペットは飼わない。	発作の起こる危険性を少しでも減らしたいので。	本人が発作のつらさを充分に知っていて、よく理解しているので自分自身でも何とか治療したいという気持ちを持っているようです。これが、長期間の吸入や薬の服用を続けられている大きな力になっていま
はい	5	日々の生活状況もわかり、子どもの状態も分かりやすい。	はい	4	毎日の掃除	毎日の掃除をするようになり、以前より発作も起こらなくなったように思える。	ペットの猫
はい	5	n	はい	5	タバコは屋外。埃に気をつける等。	n	最近発作も出なくなり、元気になってきたので、根気よく治療を続けて良かったと思っています。ありがとうございました。
はい	2	本人に任せようと思っていますが、発作の目安になるのでつけたいと思っています。	はい	3	毎晩掃除をし、カーペットや布団はまめにコロコロしている。	n	n
はい	5	発作の時はピークフローが下がるので発作の予防になる気がします。	はい	3	毎日掃除をしてカーペットや布団にコロコロしている。	n	n
n	5	n	はい	5	カーテンを定期的に洗っている。掃除もこまめにしている。シーツをマイクロにしている。	n	n
はい	4	日誌は病状の参考になると実感しているから。	はい	4	カーペット類はのけている。ソファ(布製)を捨てた。	気がなったから。	n
はい	5	日誌を続けることでどういった症状が起こったのが確認できる。	はい	5	アレルギーを避けるようにしている。	n	n
はい	2	最初はつけていたが、だんだん忘れる日が多くなり、最近つけていない。	はい	2	毎日の掃除。布団を干す。	仕事をしているので週末に天気が悪いと布団を干せないことがある。毎日掃除機をかけられないことがあ	n

N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもの喘息と診断された年齢(歳)	喘息と診断された年齢(歳)	保護者の関わりについて	小発作	中発作	大発作	定期受診の必要と	①・1	①・2	吸入薬の処方	②・1	②・2	内服薬の処方	③・1	③・2
117	母	8	男	6	3	0	1	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	5	n
118	母	9	男	8	0.4	25	1	1	1	はい	4	n	あり	4	n	あり	4	n
119	父	9	男	9	0.2	75	4	3	1	はい	3	子どものことが心配だから。	あり	3	薬を続ける必要性を感じる。	あり	4	定期治療薬を続ける必要性を感じる。
120	母	11	男	10	1	50	1	1	1	はい	3	発作が出ると思うが、そんなに重症ではないと思ってしまう。	あり	2	親子で忘れる。これからはします。	あり	n	これからキッチリ飲ませます。
121	祖母	9	男	5	4	50	2	2	1	はい	5	1年くらい発作がなく、治ったものと思っていた。	あり	4	n	なし	4	n
122	母	10	男	4	5	75	1	1	1	はい	5	喘息を少しでもよくなりたいと思います。	あり	5	薬の副作用が心配ですが、先生の指示があるまでは治療を続けたいと行けないと感じています。できれば早く薬なしになれるように思います。	あり	5	現在の薬は主治医がいらないと言うまでは必要と思うので
123	母	8	男	3	5	0	3	2	1	はい	3	治したいから	あり	2	副作用が心配だけど、これからは信じて続けたいです。	なし	n	n
124	母	8	女	1	7	75	3	1	1	はい	5	少しでも早く喘息がよくなってもらいたいから	あり	5	時々忘れるときやできないときもあるが、手間がかからないでできる。インテールをすときは時間や手間がかかっていたのでフルタイムのみになって楽になった。	あり	5	主治医を信頼している。状態を見て薬のことを話してくれたり処方してくれるので安心している。
125	父	15	男	4	9	50	3	3	1	はい	2	n	あり	2	n	なし	n	n
126	母	12	男	4.5	8	50	3	3	1	はい	1	n	あり	3	n	なし	3	n
127	母	10	男	1	4	75	3	2	1	はい	4	医師からの定期受診の必要性の説明とアレルギーの状態の把握をしたかったので	あり	4	定期治療薬を続ける必要性を感じ、実際に有効であると思う。	なし	4	n
128	母	10	女	9	0.4	25	1	1	1	はい	4	先生から喘息のために定期受診し、完全に治した方がよいと言われたから。	あり	4	吸入をはじめて半年になりますが、かなり症状は落ち着いてきてます。ただホルモン剤の副作用が先生のお話を聞いて大丈夫だと分かっている不安はありません。	あり	4	薬の効果もあるし先生が薬の説明をしてくれるのでお任せしています。薬うい飲ますことにまだ抵抗はありません。
129	母	8	男	8	0.3	50	2	2	1	はい	4	n	なし	n	n	あり	4	n
130	母	11	男	7	4	75	2	2	1	はい	2	今回初めて半年に1日程度の受診をされた方がよいと言われたため。	あり	1	毎日続ける必要性は今のところないと考える。	あり	4	治療薬の必要性を感じる
131	母	12	男	0	n	50	2	2	1	はい	4	発作が治まっても内側はきちんと治っていないとお話をしていたので、少し受診を続けたほうがいいなと思った。	あり	4	注射器で吸い取るところも少し教えてくれたのでんだん全部自分でできるようになると思う。	あり	4	先生と追われるとおりにしてたら間違いないと思います。
132	母	8	男	3	n	n	1	1	1	はい	5	とにかく治したい。傍で苦しうにするのを見るのが辛い。	あり	5	薬を飲んだら、努力したことで満足できる。(やれたという思いになる)	あり	5	とにかく治したい。継続して治っているのが分かるので続けたいと思う。
133	母	11	男	5	6	50	2	1	1	はい	5	n	あり	5	予防薬は毎日吸っているがメブチン・インテール吸入は症状が出たときに吸入するようにしている。	あり	5	n
134	母	8	男	4	4	75	1	1	1	はい	5	n	あり	3	n	なし	n	n
135	父	13	男	4	9	75	4	1	1	はい	5	子どもの喘息を早く完治してあげたいから。有意義な学生生活を送らせてあげたい。	あり	5	発作を小発作に抑えるため、注射とかよりはリスクが少なくなっていると思うから。	あり	5	肝臓とかへの副作用は心配だが、早く完治させてあげたい。
136	母	3	男	2	1	0	2	1	1	はい	n	いつおこるか不安なため	あり	2	薬が効くようになっていくのか不安。いざ発作が出たとき、もらった薬が効くのかどうか。	あり	2	n
137	母	5	女	2	5	0	3	3	1	はい	5	先生に受診することを指示されたので。	あり	4	病院で吸入器を借りているときは忘れない限り吸入をさせている。近々吸入器を購入のため毎日吸いさせる津折りで。	あり	4	薬を飲んでいると喘息の発作が出ることがまれなので、きちんと飲ませることが大切だと思い、がんばって飲ませている。
138	父	12	男	3	9	75	2	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	5	次回より止める方向で医師と進めている。
139	母	8	男	4	4	0	1	1	1	はい	5	子どもが健康でいてくれることが一番の願いなので良くなるならできる限りのことをしてあげたいと思うから。	あり	5	n	あり	5	n
140	母	8	男	2	6	50	2	1	1	n	n	n	n	5	n	n	5	n
141	母	11	男	8	3	50	2	1	1	はい	2	仕事があり、なかなか病院に連れて行けない。	なし	n	n	あり	5	子どもが自分で薬を管理できるようになったので、自覚ができてきたので。
142	母	n	女	10	2	n	2	1	1	はい	5	n	あり	5	主治医を信頼している。定期治療薬を続ける必要性を感じる。副作用が少なくて安心。	n	5	主治医を信頼している。副作用が少なくて安心。
143	母	12	男	2	10	50	2	1	1	はい	5	定期的にみてもらうことにより症状も落ち着いた。また、今の状態も分かるから。	あり	5	吸入による効果が実感できるから。	なし	n	n
144	母	3	男	3	0.5	0	2	1	1	いいえ	3	n	なし	n	n	あり	3	n
145	母	12	女	0.5	12	25	2	1	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
146	母	11	男	n	n	50	4	2	1	はい	5	医師から受診するように言われているが、母親の目から見ても受診の必要があると思えたため。	あり	5	薬の副作用については全く心配していないといえは嘘にはなる。しかし定期的に続ける必要があると思えるし、医師もきちんと説明してくださっているので深くは考えないようにしている。	あり	5	主治医を信頼している。
147	母	8	男	6	2	75	1	1	1	はい	5	n	あり	5	n	なし	n	n
148	母	6	男	1	5	0	1	1	1	はい	5	(中等症であるため)気温や季節の変化に敏感である。そのため風邪を引くと咳き込みが多くなり小発作にすぐに結びついてしまう。なので、定期的には発作がなくても受診するようにしている。	あり	5	習慣づいている。そのせいか、発作も少なくなった。必要だと思うから続けている。	あり	5	必要だと思うから欠かさず服用している。
149	母	12	男	2	10	25	3	1	1	はい	5	子どもの喘息を改善するためには定期的な受診と薬の使用が必要であると理解しているから。	あり	5	喘息教室でフルタイムの吸入によって発作を抑えていくことが喘息を起こさない体になることにつながることを学んだから。	あり	5	抗アレルギー剤の服用が必要であるとの主治医の方針を信頼しているから。
150	母	12	男	5	7	0	2	1	1	はい	5	喘息が完治していないから。気管支の状態を把握しておきたいから。	あり	5	副作用が心配だが、医師から必要だと言われているから。	あり	5	医師から必要だと言われているから。
151	母	8	女	3	5	75	2	1	1	はい	5	n	あり	n	n	あり	5	n
152	母	7	男	4	3	0	2	1	1	はい	5	n	あり	5	n	なし	n	n
153	母	14	女	6	8	25	3	2	1	はい	5	今、発作が出ていなくても、気候や体調の変化で発作が起きたとき、定期受診をしていると肺機能など早めに分かり用心したり発作も最小限に食い止められると思うから	あり	5	吸入に時間がかかったり、補助具の手入れも面倒だったり薬の副作用が心配だが、吸入をしていなくて発作になったときなど重症化することが多いのできちんと吸入し、完全に治したり発作を最小限に食い止めたいから。	あり	5	主治医の説明を十分聞き副作用が少ないと聞いたから。
154	母	7	男	3	4	75	2	1	1	いいえ	n	n	あり	3	具合が悪くないときは面倒でなかなかやらない。	あり	4	毎日飲ませようとしているが効果があるのか身体に影響がないかは気になる。
155	母	10	男	3	7	50	2	1	1	はい	5	子どもの成長により、症状が変化するだろうと思う。	なし	n	n	あり	5	1日2回の内服で特別心配はしていない

喘息から日誌の記載を医師から	④ 1	④ 2	環境整備を医師から 言われた	⑤ 1	⑤ 2	⑤ 3	自由記述欄
はい	5	n	はい	5	掃除機を排気機能の良いものに買い換えた。カーペットを外した。ソファを布からビニール皮革にかえた。布団カバーを防ダニ用に変えた。カーテンを買えた。掃除しやすいように整頓した。	n	n
はい	4	n	はい	4	うがい手洗いをさせ、風邪をひかないように気をつけている。	n	n
はい	4	日誌は必要と思う。	いいえ	3	車で眠らせないようにする。	掃除をする。	夏の間、車で寝た。
はい	2	たいした発作がないから。	はい	5	イヌを外に出した。掃除を毎日する。布団を干す。絨毯をかけた。	環境整備も大事だが、喘息だと言うことを意識しないと行けないと思う。どうもすみません。これからはキッチン片します。	n
はい	4	大変いいことだと思います。	はい	1	たばこは屋外で吸うように。そして布団干し、掃除、気をつけている。	n	n
はい	5	日誌は病状の参考になると思います。できれば子ども自身が自発的に記載できるようにしていきたいです。	はい	5	床をフローリングにし、ほこりがたまらないように掃除に気をつけています。タバコを吸う人はいないです。ペットもいまのところ飼っていません。	n	n
はい	2	症状が出たときだけつけていましたが、参考になるようにきちんとつけたいです。	いいえ	2	n	n	n
はい	3	毎日記入するのは大変。調子が悪いときはきちんと記入するが、良くなると忘れがちになってしまいます。	はい	5	掃除やたばこ、ねこに近づかないように気をつけている。掃除を毎日する。タバコは同じ部屋で吸わない。布のぬいぐるみやソファを置かないようにした。	症状が良くなった。	n
いいえ	2	n	はい	3	n	n	n
はい	2	n	n	2	n	n	n
はい	4	医師からの記載の説明と症状の具体的なものはあくのため。	はい	4	アレルゲンに当たるものに近づかない。うがい、手洗い。	悪化や発作をさけるため。	n
はい	4	子どもの状態が分かるので日誌を書くことは良い。変化もわかりやすい。	いいえ	3	毎日掃除機をかける(寝ている部屋)。布団を変える(羽毛一掃)	布団を変えたら寝る前の鼻づまりが少なくなったと思います。	n
はい	4	n	はい	4	毎日掃除をしている。	n	n
はい	2	半年に1回程度しか症状が出ないのでなかなか日誌を続けることはできない。	いいえ	2	仕事が忙しく、なかなかできていない。	n	n
はい	4	日誌をつけることに前向きがあつて自分からつけてくれるので良かったです。	いいえ	2	特にはないですが、風邪をひいたりして体力が弱ってきたら発作が起こることが多いので風邪をひかないように注意している(手洗い、うがい、など)	n	n
はい	5	通院の時医師と話す材料ができる。	はい	5	猫のいる家には行かない	猫がいるところに行くとき30分以内に具合が悪くなるので猫が原因だと分かるの遅れて行かない。	家のダニ、汚れなども影響している。食生活も肉食に偏っているのではないかと。
はい	5	n	はい	5	n	n	なるだけ発作が出ないよう家でも気をつけています。本人が年齢とともに自覚ができて自分でも気をつけるようになり、予防の薬をちゃんと飲んだり日誌を書いたりちゃんと体のごまかしています。
はい	5	n	はい	2	床に埃がないように掃除機をかけたり、布団を干すようにしたりしている。カーペットは洗っている。	仕事があり、たなの上等はまめに掃除ができない。	n
はい	2	恥ずかしい話ですが、共働きで時間に追われていて目が行き届かない。	はい	5	掃除と寝具に気をつけている。家屋1階リフォーム実施(フローリング)	改善されたように思います。	n
いいえ	2	n	はい	5	かとりせんこうなど煙の出る物はなるべく使わない。	n	n
はい	4	前も日誌をつけていたが、新しくもえなかったのでもしばらくつけていなかった。今回ピークフローが始まり、新たに付けることになり毎回つけようと思っている。	いいえ	5	私自身がアレルギーなので布団も天気の良い日に干して掃除機も毎日かけている。	汚いのが嫌いなので、まめに掃除している。喘息に埃やダニはよくないと聞いているので気をつけている。	n
はい	5	医師に勧められて治療に役立つ。	はい	2	本人の前ではタバコを吸わない。	n	費用の問題、喘息と知らされたときに医師から特定医療認定のことを教えてもらえず、周りの人から聞き医師に相談するのも面倒なのから手続きをしてくれず、別の医師にかかったときにはじめて手続きを始めてくれた。はじめの1年間の費用がきつく、充分に治療を受けさせてやれなかったことが悔しい。あの医師は許せない、この医療機関に移って安心して治療できる。
はい	5	n	いいえ	2	特に先生から指導を受けていないが、家の中を綺麗に保つ、マスクをするなど体に良さそうなことではできるだけ避けたいという気持ちがある。でもなかなかそのように実行できない。花粉の影響が強いので家の中だけの問題ではないから。	n	今後も先生を信頼して、子どもが元気に生活できるようにがんばっていきたくと思っています。なので、病院側の方々ももちろん先生も患者の話をよく聞いて適切な治療をしていただけることを望みます。
n	3	n	n	5	n	n	大気
いいえ	1	医師に言われていないから。	いいえ	5	布や布製の物はこまめに洗ったり干したりする。時々布団を干す。	ダニの糞や死骸がアレルギーの原因ときき、また布団などはたくさんダニがいるときいたので。	n
はい	5	医師から日誌の記載を勧められそれが診察時、病状の参考になると思っている。	はい	5	空気清浄機の設置。夫にタバコは屋外で吸ってもらうようにした。毎日掃除。布団の掃除。	医師から指示を受け、環境整備をすることで喘息が治る方向に転じることができると聞いています。反対にちがうところでも思っています。	気候の変化
はい	5	振り返ると自分の日誌になるし、ピークフローの数字より予測できるから。	はい	5	抗菌布団、ぬいぐるみなどは取り除いた。就寝前に布団を掃除機かける。	布団をかえたら効果があった。反対にちがうところでも小発作。	n
いいえ	n	n	n	n	n	n	n
はい	5	n	はい	5	n	n	n
はい	4	子どもは毎日大変そうだけど日誌は確かに状態の目安になっている。	はい	2	ペットのいる家には行かせないようにしているが、子どもには負担となっている。掃除は以前よりかまめになった	掃除は苦手	n
はい	2	どにか、毎日2回記入するのが大変	はい	5	窓を開け常に風が流れている。	n	n
はい	5	毎日欠かさず書いているため、習慣づいている。飲んでいる薬や天気・体調を書くことにより子どもを見つめなおし、発作に役立つと思う。	はい	5	フローリング & 畳のみでじゅうたんは使用していない。布団もミクロガードで全てほこりの出ない物にして掃除も毎日している。ぬいぐるみやクッションもない。部屋の換気も毎日している。	一度コタツを使用することがあり、すぐに大発作となってしまった。ほこりやダニなど特に気をつけるようになった。	鼻炎(アレルギー性)が強いため、風邪をひくとまず先に鼻から症状が出てしまう。それを放っておくと鼻が詰まり、咳にすぐ結びついてしまう。咳が一度始めると一週間以上長引いてしまふ夜中も眠れなくなる。なので鼻をきちんと処置するよう心がけている。
はい	5	日誌は病状の参考になると実感しているから。医師が治療方法の参考にして下さっているようだから。	はい	5	布団の乾燥、ダニアレルゲンカント布団、空気清浄機、家具の裏、上の掃除	アレルゲンとの接触をなるべく少なくしたいから。	n
はい	5	日誌は病状の参考になると実感しているから。ピークフローをすることにより、目に見えて症状が分かりやすいから。	はい	5	掃除をする。布団を干す。布団を掃除機で吸う。	ハウスダストが原因だったので出来ることから行った。医師からの指導があった。効果が感じ取られた。	n
はい	5	n	はい	5	n	n	n
はい	3	n	はい	5	両親は煙草を禁煙。布団類は全てダニカバーにかえ、布・ソファークッションなどはほとんどなくしましたが、発作が減ると日々の掃除が怠りがちになってしまふ。家中畳、じゅうたんをなくした。	ほこりに気をつけていてタンのゼロゼロが減ったから。	小学校に入ってから次の受診の予定などなかなか難しくなってきた。子どもの生活が自立するにつれ薬の投与が完全でなくなってきた。本人がやらなかったりめんどくさがってこる。
はい	3	症状がほとんど出ないので子ども(子どもがつけている)いついっしょ書かないことが多い。	はい	2	寝具はダニを通さないものを使用(家族全員)。掃除はなるべくマメにしようと思っている。洗濯はマメにしている。	効果もあり、必要性もわかっているのだがなかなか時間的に大変だったりするとやらぬこともある。やらなくても発作が出ないというそのままになってしまふこともある。効果あることもわかっているのでも思い直してやっている。	発作がおさまっているとお断るのか無理をして夜間発作に大変だったりするとやらぬこともある。やらなくても発作が出ないというそのままになってしまふこともある。効果あることもわかっているのでも思い直してやっている。
いいえ	n	n	いいえ	n	n	n	n
いいえ	1	必要性は全然していない。	いいえ	1	たばこは吸っていない。ペットもいない。ほぼ毎日掃除をしている。窓を開けている。空気清浄機を使用している。	特に問題は起きていないので特別なことはしない。	n

N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	喘息で医療機関にかかっている期間(年)	保護者の関わっている割合(%)	小発作	中発作	大発作	定着診断の必要無	①・1	①・2	吸入薬の処方	②・1	②・2	内服薬の処方	③・1	③・2
156	母	7	男	4	3	0	1	2	1	はい	5	発作が起らない普通の生活がさせたいから受診している。	あり	5	n	あり	5	主治医を信頼している。
157	母	5	女	2	3	0	3	1	1	はい	5	子どものため、治してあげたい	あり	5	とても大切なお薬です。	あり	5	主治医を信頼しています。お薬がなければ命の危険を感じます。
158	母	1	女	1	1	0	3	1	1	n	4	n	n	4	n	n	4	n
159	母	15	女	7	8	50	1	1	1	はい	5	喘息だといわれた当初は喘息の発作が出てから受診すればよいと思っていたのだが喘息の知識が増えたと発作を起こさないように日常生活を整えることが大事だと思うようになった。元気になるにつれ発作が億劫になるが判断すると以前に戻ってしまうと思うので気を引き締めるためにも受診しています。	なし	n	n	n	n	
160	母	5	男	2	3	0	1	1	1	はい	5	必要だと思っているので。一番新しい治療方針のもとで治療したいため。	あり	5	n	あり	5	n
161	母	2	男	1	1	0	2	2	1	はい	5	最も新しい治療方針で治療したいから。	あり	5	n	あり	5	主治医を信頼している。
162	母	5	男	3	2	0	2	1	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
163	母	8	男	1	7	75	2	4	1	はい	5	n	あり	4	n	なし	n	n
164	母	4	男	2	1	0	1	1	1	はい	5	アトピー性皮膚炎のため、弟(アトピー性皮膚炎)とともに通院している。	あり	2	子どもが嫌がり、他の子どもの登校しぶりやまた別の子の学校からの呼び出しなど他の問題もあり嫌がるのをやらせるほどの気力がなかった。	あり	3	n
165	母	10	男	3	5	25	1	1	1	はい	5	n	あり	5	自分の体がどういう状態であるのか自分で理解できる年齢になったことが大きい。発作が起ったときの苦しさ、それに埼玉から時間をかけて受診していること、通院に付き合う私の気持ちを分かってくれたようで、吸入、ピークフロー、喘息日誌ともしっかりやっている。薬は手軽で負担にならず、副作用が少ないので安心している。	なし	n	n
166	父	4	男	2	2	0	2	1	1	はい	5	n	あり	5	n	なし	n	n
167	母	1	n	0	0.5	0	3	2	2	はい	4	子どもの喘息は重症だと思うから	あり	4	定期治療薬を続ける必要性を感じる。	あり	4	定期治療薬を続ける必要性を感じる
168	母	15	男	8	7	75	2	2	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
169	母	13	男	3	10	50	1	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	5	n
170	母	14	男	2	12	75	1	1	1	はい	5	家族が受診に協力してくれるから。	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じる。	あり	5	主治医を信頼して続けている。
171	母	7	男	2	4	0	1	1	1	はい	5	定期的な受診により長期にわたる生活管理などが意識的に保てる。常に状態を把握できるメリットがある。	あり	5	良い状態をキープするために必要だと思っている。	なし	n	n
172	母	12	男	2	10	0	4	1	1	はい	5	小さい頃から発作が多く入院ばかり。今与えられている薬で発作、入院などがなくなってきたので現状維持したいから受診している。	なし	n	n	あり	5	治療薬の必要性を感じる
173	母	8	男	1.5	7	0	2	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	1	薬の副作用が心配なのでほとんど発作も起らないのに定期治療薬を続ける必要があるのか疑問があるため内服させていません。
174	母	9	男	3	6	25	3	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	5	主治医を信頼している
175	母	10	男	4	5	50	2	1	1	はい	5	以前よりは良くなってきているが薬をきることは出来ないから。	あり	5	ロゼエはしているものの基本は本人の意思でやらせています。苦しくなるのも自分。吸入して苦しむ思いをしないですむのも自分。本人がそのことに少し気がついたようです。	あり	4	n
176	母	7	男	2	5	0	1	1	1	はい	5	n	あり	5	n	なし	n	n
177	母	8	男	3	5	75	1	1	1	はい	5	適正な治療、受診をし、早く治したいので。	あり	5	n	なし	n	n
178	母	15	女	6	9	50	2	2	1	n	5	風邪を引き始めると喘息が始まります。	n	n	n	n	5	アレルギーの薬が入ってなくて安心です。
179	母	13, 15	男女	2.7	13	n	2	1	1	はい	5	早く治ってほしいから	あり	5	時々忘れてしまう	あり	5	n
180	母	8	女	1	7	50	1	1	1	はい	5	毎日の飲み薬と吸入薬をもらい、良くなっているがみてもらいたいので	あり	5	定期治療薬を続けたほうが良いと思いますが副作用は心配です。	あり	5	n
181	母	7	女	5	0.2	75	3	1	1	いいえ	1	医師から喘息のために定期受診するよう言われていないから	あり	4	必要なのはわかっているが、副作用は心配。	あり	5	n
182	母	9	男	2	4	25	2	1	1	はい	5	n	なし	n	n	なし	n	n
183	母	7	男	3	4	25	3	1	1	はい	4	しっかり治したいから	あり	4	必要性を感じ、薬を使い始めてから調子良いので続けている。	なし	n	n
184																		
185	母	3	女	0.5	3.5	0	1	1	1	はい	5	医師からぜん息のために定期受診するよう言われているから。	あり	5	薬の副作用が心配だ。	あり	5	主治医を信頼している
186	母	4	男	0.8	4	0	4	3	4	はい	5	先生を信頼しているから。自宅でやるべき事、自分たちに出来る事には限界がありその都度ご相談させて頂くには定期的な受診が必要があると思います。	あり	5	副作用の事はやはり心配でしたが、生育の明石先生、慈恵の先生方にとっても詳しくゆっくりお話していただき、今はおまかせしております。何より発作の回数がへっています。吸入の時間も食事等のリズムと一緒にしています。	あり	5	テオドールの副作用等気になる事はその都度お聞きして解決しています。主治医の先生も一緒に考えてくださり心配はありません。
187	母	3	女	2	1	0	2	n	n	はい	5	発症して間もないので親にあまり知識がないので。	あり	4	将来完治に近づけるためにしっかりと継続が必要だと思ふ。部分的な吸入なので全身の副作用はないと説明されている。	あり	5	必要な薬だけ服用し、少しずつ減らしていきたい。
188	母	7	男	3	4	50	1	1	1	はい	5	アトピー性皮膚炎(こちらがメイン)と同時にアレルギー科に受診しているため。	0		0			
189	母	5	男	1	4	0	1	1	1	はい	5	n	あり	5	n	0		
190	母	3	女	1	2	0	3	2	n	はい	3	以前ぜん息と診断され定期受診していましたが、大きな発作を起こす事がなかったのしばらくやめてしまっていました。でも今回発作で入院し、やっぱりこれから今後も受診した方がいいと思います。	あり	2	吸入薬を持っていますが、あまり使用しなかったのだから使っていないと思います。	0		
191	母	2	男	1	1	0	2	1	1	はい	5	今後重症にならない為に	なし	n	n	あり	5	定期的治療を続ける必要があると思うから。

喘息から話された医師の記述	④ 1	④ 2	環境整備を医師から	⑤ 1	⑤ 2	⑤ 3	自由記述欄
はい	5	その時々の様子に分かるから。	はい	5	外で煙草を吸う、拭き掃除、布団丸洗い。	指示はありませんが、一番長く触れるものので月に1度洗いに出しています。	n
はい	5	体調を知る大切なもの。	はい	5	外で煙草。布団の丸洗い、拭き掃除	一番触れている時間が長いお布団なので月に一度丸洗いに出しています。	n
n	4	n	n	4	n	n	n
はい	3	子どもの年齢が高いこともあり、子ども自身が日誌をつけずとも体調を把握できるようになっている。そのため調子が悪いなと思ったときだけ日誌をつけている状態です。	はい	5	煙草を吸う来客には控えてもらっている。	n	私の場合は良い医師とめぐり合ったことが一番治療に良い影響を与えてくれたと思います。喘息に対する考え方が変わると治療に向く気持ちも変わると思う。
はい	5	必要だから	はい	5	布製ソファなど家具の撤去。ぬいぐるみの洗濯。防ダニシーツの使用。洗濯をこまめにする。空気清浄機の使用。火の元近くに近づけないようにしている。風邪をひかないように注意している。	布製ソファの撤去で効果があった。	n
はい	5	n	はい	5	風邪を引かせないようにする。(うがい、手洗い)。防ダニシーツの使用とこまめな洗濯。布製家具を撤去する。	家族の協力あり。父親のアレルギー反応を参考に布製家具やシーツを撤去した。	n
はい	5	n	はい	5	ハウスダスト、主人の分煙、シーツ、布団カバーをミクロカバーにした。	n	n
はい	4	n	はい	5	n	n	n
n	n	n	はい	4	使っていない家具を捨てる。家具の配置を変え、掃除しやすした。布団カバーを買った。なるべく床に置かない。カーテンは1ヶ月に1回洗う。布団は毎日干す。	医師の指示により	n
はい	5	症状が出ることはほとんどないが、その日その日の過ごし方から若干の差異が出てくるので必要と考える。	はい	5	毎日の掃除、カーベットの除去、寝具を定期的に洗濯。	環境によってずいぶん改善されているよう。	n
はい	4	n	はい	5	ダニ、ほこり対策の布団を購入。毎日掃除している。	n	吸入ステロイドを1年半、ほぼ100%実施しているが長期化することが心配。
はい	4	診察時に医師に確認してもらえらるから。日誌は病状の参考になると実感しているから。	はい	4	なるべく掃除を行うようにしている	家族が協力してくれるから。	n
はい	2	n	はい	5	n	n	n
はい	5	n	はい	5	毎日掃除機をかけている。布団を毎日干すようにしている。	n	n
はい	5	日誌は病状の参考になると思うため。	いいえ	2	ペットのいる家にはいかせないようにしている。	n	精神的なことも少なからず影響しているように思われる。
はい	5	症状が軽いと見過ごしてしまいがちなこともとりあえず記録しておく参考になりたがる。	はい	5	寝具の管理(干す、掃除機がけ)高気密シーツ、カーテン、床の定期的な掃除。ぬいぐるみ類は持たない。毎日の掃除。	環境整備が一番予防のためには効果があると思うから。	n
はい	2	子どもに任せて預けている。書くように言っているが書かない。必要性はあると思うが、自分の体のことなので日誌を書くように伝えている。	はい	5	ペットのいる家には行かせないようにしている。毎日掃除をしている。掃除はこまめに、天気の良いときは布団を干すようにしている。	n	n
いいえ	1	初期の頃より医師から日誌を記載するように指導を受けていないし、今はほとんど発作も起こらないので記載する必要性がない。	いいえ	2	特に気をつけていない(毎日掃除はしています)	n	n
はい	5	医師に記載するよう言われている。子どもが自分でつけているが声かけはしている(結構大変)	はい	5	毎日掃除をしている。なるべくほこりをたてない	発作の原因となるものはなるべく取り除いてやりたいので。	n
はい	4	何度か医師から言われていたが、なかなか続かず苦労しました。最近になって自分で出来るようになってきました。	はい	2	n	n	n
はい	2	n	はい	2	カーベットのとりはらい、ぬいぐるみ等は処分した。布団をほこりの立ちにくいものにかえ、ダニの侵入を防ぐカバーをかけた。こまめに掃除をする。洗濯をする。猫にアレルギーがあるのであまり近づかぬよう指導している。	n	家族の理解が変えられない。喘息の治療を続ける中で発作を起こすと母親と医師の息遣いで子どものそれが治らなるといわれる。ほこり、ダニ等のアレルギーがあるが、それが喘息の原因になることを分かってもらえない。体力をつけるためにも水泳を始めたが、体が弱いのにそのようなことをさせると余計に悪くなると反対にあつてやめた。毎日テオドール等を飲んでいて時期には、薬づけはよくない肝臓がわるくなるようにもつちゆう言われ、母親がいないときは薬を飲ませてもらえない。
はい	5	n	はい	5	毎日掃除、出来るだけ布団干し、家で煙草を吸う人はいないが、外出した際まわりの煙草の煙が来ないように配慮している。	n	n
n	2	子どもが毎日つけていれば、発作がそんなにないなれば学校も休まずにすむから。	n	5	煙草を父が禁煙した。	n	n
はい	5	時々忘れてしまうときがある。	はい	2	こまめに洗濯をしている。	少しでも良くなってほしいから。	n
はい	5	n	はい	5	毎日の掃除はできていないのですが、たばこは屋外でペットのいる家へはなるべく行かせない様にしています。週1回スイミングへ通わせています。	n	n
いいえ	1	喘息がひどくはないので咳が始まったときにつける。	はい	5	ぬいぐるみを少なく布団の整備。こまめに掃除	出来ることがあって喘息アトピーが改善されるならよろうと思う。でも金銭的に難しいことも多い。(布団をそろえるなど)	n
はい	5	n	はい	5	n	n	n
はい	4	記入したほうが医師への病状説明しやすい。親として子どもの健康把握がしやすい。	いいえ	2	毎日の掃除、兄弟のぬいぐるみ、布団を掃除機がける	n	n
はい	5	日誌は病状の参考になると実感しているから。	はい	5	毎日掃除をしている	医師からの指示を受けているから	n
はい	5	幼稚園に通っているので行事が発作に関係していると思うので発作が出た時に何をしたらその後日思い出すのにも必要。	はい	5	たばこも全員やめ、ソウジ、クッション等もすて、布団もかえました。	環境を変えたらアレルギー性鼻炎が軽くなったような!	n
はい	4	ピークフローをつける年齢でないができれば参考になると思う。	はい	5	ほこり、ダニをなくすよう掃除、ダニがつかないふとんカバー使用。	n	n
はい	1	症状が出ないため、日誌をつける必要はないと考えているから。	はい	5	マイクロガードで家の全てのふとんをカバー。ぬいぐるみ撤去。カーペット、ラグマット撤去。けむり、ほこりをたくさん吸わない様に気をつける。	布団をかえたら、効果が感じられたから。新築のマンションに越しただけでそれまでのアレルギー(皮膚症状)がずいぶんと良くなった。友達の家でベッドルームで遊んだ日の夜、初めての発作が起きた。	n
はい	3	n	はい	5	カーベットの、畳の撤去。禁煙。そうじ。シーツ(高きみつ)	n	n
はい	2	通院してからつけるつもりです。	はい	3	主人がたばこを吸いますが、家ではペランダのみで吸っていますが、家以外だと予防出来ない事もあるため、なるべくほこりつばい所に行かないとかたばこの煙がある所には行かないようにしていますがかたばこは難しいです。	n	吸入は問題ありませんが飲み薬には少し抵抗があります。以前食欲がなくなった事があったので。
はい	5	先生からつけるように言われている為と自分でもつけた方が、子供の様子がわかって良いと思う為	はい	5	そうじをまめにしている	ほこっていたりすると自分でも気分が悪い為	n



N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	喘息で医療機関にかかっている期間(年)	保護者の関わり(%)	小発作	中発作	大発作	定期受診の必要と	①・1	①・2	吸入薬の処方	②・1	②・2	③・1	③・2	
																		あり
192	母	4	女	1	3	0	1	1	1	はい	5	ぜんそくをおこさずげんきにすごさせてやりたいから、医師のいうとおりに治療したい	あり	5	時々忘れてしまうので、常にテーブルの真ん中において、目にとまり忘れないように心がけている	あり	5	吸入薬と同じ理由。
193	父	5	女	5	0.1	0	4	3	1	はい	4	早いうちになおしたいから	×	×	×	あり	4 (80%を100%に修正)	n
194	母	5	女	1	4	0	3	3	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
195	母	1	男	1	0.5	0	2	2	1	はい	4	子供の為に受診は必要だと思うから 親として全力で協力する	あり	4	子供に必要性を感じる	あり	4	薬により症状が落ち着いていると感じているので医師の指示通り服用させる
196	母	4	男	1.9	2	0	2	1	1	はい	5	定期的に受診して良い状態をキープしていきたいから	あり	5	薬の内服時にいっしょに吸入するが、他の事をしていたり、あとでしようとしていたり、時々わすれてしまう。	あり	5	副作用は心配していないが内服することじたいを忘れてしまう時がある。
197	母	4	女	4	0.3	0	2	1	1	はい	4	完全になおしてほしいから	×	×	×	あり	4	実際飲み始めて他の薬(テープ等)も主治医の言うとおりに続けていると、子供の様子も落ち着いているから
198	母	5	女	2	3	75	2	2	1	はい	5	毎日薬を飲んでいるし、定期受診するように言われているので。	あり	5	発作がなるべくおきないように、完治(?)するよう続けている。	あり	5	n
199	母	4	男	0.4	4	0	3	1	1	はい	2	勤務時間や休日が土日の為、なかなか受診することができない。調子がいいときは、つい忘れがちになっている。でも発作時には、かなり困っている。	あり	2-3 (複数回答)	発作時には必要性を感じ、指示通りにほぼ完璧に吸入しているが、落ち着いてくれば、ほとんど吸入せず様子みている。	なし	3	病状のある時は服用させているが、落ち着いてきたら自然とやめて様子みている。(薬が好きになって、何かのたびに薬をほしがることがある)
200	母	6	男	6	0.2	75	1	2	1	はい	4	半年くらいの治療が必要だと聞いたので。	n	1	吸入は発作がおきてからだと思っていたので。	あり	4	薬を続ける必要があると話を聞いて思ったから。
201	母	6	女	3	3	0	3	1	1	はい	4	5才時1ヶ月に1度位のペースで発作が起きていた為	あり	4	発作時の状態をみる限り、定期治療は非常に大切だと感じる為	あり	4	n (例文「定期治療薬を続ける必要性を感じる」に○印)
202	母	1	女	1	1	0	3	1	1	はい	5	Drより定期受診にて経過を見てみましょうとのこと。	なし	n (5項目文の下に記入「吸入薬は処方されているが現在には使用していない」)	n	あり	4	薬を服用し、現状おちついているので、Drにおまかせしている。
203	母	5	女	4	0.5	0	2	1	1	はい	5	小児のうちに治まるものならば治しておきたいので。	なし	1	n	あり	5	完治させたいので。
204	母	3	男	2	1	0	3	1	1	はい	5	父親が喘息もちなので、その苦しさを知っており、小児のうちに完治させたい。	なし	n	n	あり	5	毎日2回内服するよう指示されている。指示どおり内服しないと効果がないと思う。
205	母	6	男	3	3	75	2	1	1	はい	5	ぜん息が早くよくなってほしいから。	あり	5	吸入すると本人も薬になるから。	あり	5	治療薬を飲みはじめただいぶよくなってきたから。
206	母	4	男	3	1	0	3	3	1	はい	5	☆小児喘息は治ると思いたい☆(アメリカは900万いると聞きますが、その為に死亡する方は少ないとの事)日本では喘息があっても放す人が多いので小さい頃に治るなら治しておきたい	あり	5	吸入は小児喘息の基本になっているので。	あり	5	通常内服を続けていれば発作を予防できる
207	母	6	男	5	1	0	3	2	2	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
208	母	7	男	6	n	50	3	1	1	はい	4	早く健康になってほしい。	あり	4	子供が面白がつて自分からすすんでやっている。始めてからセキがでなくなってきた。	あり	4	(例文「主治医を信頼している」に○印) 長期になると副作用が心配だけだ。
209	母	6	男	4	2	0	2	1	1	はい	5	早く治してあげたいから。	あり	5	吸入すると本人が薬になるし。治るまではちゃんと続けたい	あり	5	先生の説明もわかりやす納得した上で処方されているから安心。
210	祖母	10	女	3	n	0	2	1	1	n	5	n	なし	n	n	あり	5	n
211	母	8	男	2	n	25	2	1	1	はい	5	自分も喘息であり、定期的を受診していた。吸入、内服でコントロール可能であれば、定期的受診を行う必要があると思っている。	あり	5	必要性があると思うから	あり	5	必要性があると感じている。
212	母	4	男	1.3	3	0	2	1	1	はい	4	n	あり	5	n	あり	4	n
213	母	2	女	1	1.5	0	3	1	1	はい	2	n	あり	5	ぜいぜいがひどい時吸入させています。吸入するとしない時より全然ぜいぜいが落ちつきます。	あり	3	つい忘れてしまいがちになる。特に咳などおさまったりすると飲ませてない事が多い。
214	母	5	男	4	1	0	1	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	4	n
215	母	3	男	1	2	0	2	1	1	はい	5	年齢が上になるほど発作の回数は減ってはいるが、たまに、発作がある為、きちんと治しておきたいから。	なし	n	n	あり	5	定期治療薬を続けてほしいが良くなってきて入院などもなくなったので、必要だと思う。
216	母	3	女	2	1	0	1	4	1	はい	5	少しでも薬にしてやりたいから	あり	5	副作用の心配がないと説明を聞いて、納得しているので安心して受けている。	あり	5	吸入薬と同じ
217	母	3	男	2	0.4	0	3	1	1	はい	4	n	なし	n	n	あり	4	n
218	母	6	女	4	3	75	2	1	1	はい	5	ぜん息はコントロールが重要と知り、医師の指導を受けたかったこと、小発作のようだが、本当に発作かどうか判断(親の)に自信がなかったため。	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じるから	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じているから
219	母	12	女	1	11	25	2	1	1	はい	5	n	あり	2	n	なし	n	n
220	祖母	n	n	2	2	50	2	1	1	はい	5	ここで2回入院しました。医師から定期受診するようとのこと。風邪ひいた時は助かります。主治医を信用しています。	あり	5	小学校入学する迄やれる様にとのことですので守りたい。吸入後うがいをしているので心配していない。	あり	5	(例文「主治医を信頼している」に波線)
221	母	9	男	0.8	9	25.50	1	1	1	はい	5	n	あり	5	n	あり・なし (複数回答)	5 (副作用の為ここ1ヶ月程は中止しています)	n

喘息から 日誌の 記載を 医師に 伝える	④ ・ 1 ・ 2	④ ・ 2	環境 整備 を 医師 から 言 わ れ た	⑤ ・ 1 ・ 2	⑤ ・ 2	⑤ ・ 3	自由 記 述 欄
はい	5	状態をすぐ忘れてしまうので、つけていると安心するし、医師から記入するよう言われているから	はい	2	あまりしていない	しないとおけないと思っているが、毎日多忙でなかなか手をかけられない	たべるものにかたよりがあったので、何でもたべさせるようにしたり、体力をつけるように気をつけている。あまりかぜをひかなくなったとか良い影響を与えている?と思う
いいえ	1	先生を信頼しているので考えてもいなかった	はい	4	24時間換気を止めていたが動かすようにしました。掃除の回数を増しました。タバコは換気扇の下で吸うようにしています。	ぜん息と言われて間がないので出来る事は何でもやっています。	n
はい	5	n	はい	5	たばこは外で…毎日掃除をして、ほこりが出ないように…	n	n
はい	4	日誌があれば受診のときに医師に症状を伝えやすいと思う	はい	2・3 (複数回答)	空気清浄機や掃除機、日々の掃除	n	n
はい	5	内服状況や子供の状態を把握するのに便利だから。	はい	5	家を新築時、フローリングにしてもらった。アレルギー用のシーツを使ったり、まめに(毎日)はムリです)そうしている。たばこ(祖父)は屋外、ペットはわからない等家族内で納得している。	リスクは少なくていい	過保護になるとストレスも互いに増えるので(発作のない時は)ぜん息であることをあまり気にしないようにするのを目指したいと思います。
はい	4	・祖母と私の2人が毎日の昼夜のことをお互いに理解できるから。・毎日の様子が何日たってもわかるから。	はい	4	・ふんとは休みの日に必ずほす。・シーツやマクラカバーはこまめに洗う。・動物の近くにはいかない。・少しかぜの症状があればゆっくり休ませる。	・先生の説明をうけて始めてみようと思ったから。・子供がきもちいーと言い、おちついてねるようになったから。	
はい	5	日誌で病状の参考になっていると思うので。	いいえ	5	たばこは屋外で。毎日掃除・布団干し。	一度たばこの残煙で発作がおきたので。	n
はい	2	しばらく発作も少なく日誌は、こちらの病院に変わってからではもたっていない。又落ち着いているので、いいかな…とおもうところもある。	はい	5	ペットには、ほとんどさわらせていない(自宅ではかかっていない)。そうじきは毎日かけている。たばこはなるべく一緒にいるところはすわらない…時々わすれてしまう。	以前、自宅の写真をとってきて見せると、いろいろな所をチェックされたのでできるだけ気をつけて行っている。	・治療に影響を与えているのは、母親が病状が落ちついたら、もうそろそろいいかな、とすぐ軽く思ってしまうところです。・忙しいことで、子供にかまっていられない所だとも思います。
はい	4	病状の参考になると思うから。	いいえ	2	n	てきとに掃除などをしていて、後は変えようがない。	n
はい	4	日誌は子供の健康管理につながる	いいえ	2	(例文「たばこは屋外で吸うようにしている」に○印)犬、ネコが大好きですが、なるべくさわらせない。	ぜん息に良くないことは知っているのですが、忙しい日々が続くとぬかりがちになり、発作を起こすことがある。	n
はい	4	Dより記載するように言われている。診察時に前受診よりの様子がわかりやすいのでいいのではと思う。	n	2	室内でたばこを吸う。	n	n
はい	5	医師に毎日の大まかな健康状態までチェックしてもらえ、自分自身の覚えておきたいことなど記入できるから。	はい	5	屋内に植物(土)を置かない。ペットは買わない。布団はよく干す。又は定期的に洗う。	n	n
はい	5	毎日の状態を、大まかにではあるが医師に伝えることができ、自分自身の覚えておきたい項目や、くすりの内容など喘息以外のこともチェックできる。	はい	5	布団をよく干し、定期的に洗う。こまめにそうじする。ペットは飼わない。本物の服を着せる。	n	n
はい	5	日誌をつけることで体調がよくわかるから。	はい	5	主人のタバコは禁煙した。毎日掃除をしている。	効果を感じたから。	風邪をひくと、ぜん息がおこるので、最近では体を少しでもきたえようと、スイミングに行き始めた。少しマシンなような気がします。
はい	5	天気が悪くなったり、台風の時は症状が出ると思っていたのですが、ノートをつける様になって納得した。	はい	5	布団はそうじ機をかける。空気清浄機、マイナスイオン加湿器等の使用。ペットは美家に移動させる。たばこは屋外で。	小さな時に比べて体力ができた事もあるだろうが、風邪をひく事も少なくなっている様に思う。それに併せて発作をおこす事も減っている様な感じですが。	泳ぐ事も嫌がらないので、スイミングを始めたりしています。
はい	5	n	はい	2	n	n	室内犬がいる。
はい	4	(例文「日誌は症状の参考になると実感しているから」に○印)	はい	4	ペット(ハムスター)を隔離、近づく時はマスクを着用。	掃除や布団を干すなど以前よりまめにしているが、効果があると感ぜられない。ハムスターに関しては効果があったと思う。	n
はい	5	日誌をつけていると本人の発作の頻度がよくわかるのでいいことだと思います	はい	5	毎日そうじ機をかけている。布団を干せない時は乾燥機をかけている。たばこは換気扇の下。	自分もアレルギーなので特に掃除はマメにしている。	・タバコ ・ホコリ、ダニ、カビ ・食事 etc…
はい	3	n	はい	5	父親のたばこは屋外。ペットはかわない。じゅうたん等のそうじにきをつけている。	n	n
はい	4	医師から日誌を記載するように云われたから	はい	5	禁煙、そうじ、ペット不可、布団ほし	環境の変化(たばこ・ペット)で喘息、咳、鼻汁等の症状が出現するため、原因の除去に努めている。	n
はい	4	n	はい	5	防ダニカバーの使用。布団をこまめに干し、そうじ機をかける。	n	ぜん息と診断されてから6件ほどの病院に行きましたが、きちんと病状と治療方針、薬の副作用など説明してくれる医師は少ない。
はい	2	毎日同じ様な事を書くので明日一緒に書こうと思ってるうちに何日もたまってしまった。	はい	5	カーベットの全てを外しタバコは屋外で吸うようにしました。ほぼ毎日そうじ機をかけてます。	空気の悪い所へ行く(実家など部屋でタバコを吸っている)で必ずと言っていいほど咳がひどくなります。やっぱり空気などキレイな方が落ちついてるから。	n
はい	4	n	はい	4	ペットにさわらせない。夫は屋外でたばこを吸っている。	n	n
はい	5	日誌をつける事によって、いつ発作があったかなど、いろいろな事がわかるから必要。	はい	5	毎日掃除や、カーベットの使わない事や、ペットなどはかわない様にしていく。	n	n
はい	5	(例文「日誌は病状の参考になると実感しているから」に○印)	n	5	(例文「毎日掃除をしている」に○印) 手洗い、うがい、食生活	(例文「家族が協力してくれるから」に○印)	n
はい	4	n	はい	2	n	n	n
はい	4	(例文「日誌を記載して診察時に医師に確認してもらえ、自分自身の覚えておきたいことなど記入できるから」に○印)	はい	5	なるべくそうじする(週2回程度)布団は乾燥させる。たばこ、ほこりっぽい所はさける。	母自身がぜんそくがあつて効果があったので、効果があると信じてるから	n
はい	2	n	はい	3	n	n	n
n	n	ピークフローの記入。その他病状の参考になるから続けたい。	はい	5	綿ほこり多めの毎日掃除をしています	布団、枕カバーを買いました。カーベットのフロアリングに替えました。	n
いいえ	4	n	はい	5	・毎日のそうじ(フキ・ハキ) ・おふんの手入れ ・空気入れ ・湿度管理	n	n

N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	喘息で医療機関にかかっている期間(年)	保護者の割合(%)	小発作	中発作	大発作	定期受診の必要ないと判断	①・1	①・2	吸入薬の処方	②・1	②・2	内服薬の処方	③・1	③・2
222	母	16	男	5	11	25	1	1	1	はい	5	定期受診し、薬をもらっているが、多分薬がないと発作が起るのではないかとと思うから。	あり	5	ぜん息日誌をつけるよう指導されており、吸入したかどうかも記入することになっているから。	なし	n	n
223	母	9.13	男女	5.6	4.8	0	1	1	1	はい	n		あり	5	n	あり	5	n
224	母	7	男	3	4	25	1	1	1	はい	5	定期受診するように言われていること、早い完治を願っているため。	あり	5	ほとんど発作は起きていないが、完治のためには継続する必要があると指導されているため。(本当は薬の使用は最低限にしたいです。)	なし	n	n
225	母	4	男	2	2	0	3	2	1	はい	5	医師からぜん息のため定期受診するように言われているから	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じる	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じる
226	母	4	男	3	1	0	2	1	1	はい	5	n	あり	5	n	なし	n	n
227	母	1	女	1	0.5	0	2	1	1	はい	4	n	あり	5	先生の言う通り治療してます。	あり	5	先生の言う通り治療してます。
228	母	6	男	1	6	75	1	1	1	はい	5	ステロイド吸入の治療を毎日継続するのは難しいが、発作を起こさない状況を長くしていきたいから。	あり	2	発作が出てないから、ついやりすぎる。	なし	n	n
229	母	4	男	4	0.2	0	2	1	1	はい	4	ぜん息は重症になると、大変だと思うので。	なし	n	n	あり	4	治療薬の必要性を感じる。
230	母	5	女	4	1	0	4	4	1	はい	4	ぜん息の為定期受診をすすめている	なし	n	n	あり	4	きちんと治したいので薬をのんでいる。
231	母	0	男	0	0.5	0	3	1	1	はい	4	n	なし	n	n	あり	4	n
232	母	2	女	1	n	0	3	1	1	はい	3	n	なし	n	n	あり	4	n
233	母	4	男	4	0.5	0	4	1	1	はい	4	・治ってほしいから	n	4	n	あり	4	・たまに咳をしているので、続けて治すようにしたいので。
234	母	7	男	0.6	6	0	2	1	1	はい	5	n	なし	5	n	あり	5	n
235	母	2	男	0.9	1	0	2	1	1	はい	5	大きくなるまでに治したいから。	なし	n	n	あり	5	主治医を信頼している。
236	母	5	女	4	1	75	2	1	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
237	母	4	男	1	3	50	2	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	5	今、薬を使っているのは悪化をふせぐ為と、良くなれば薬の量はへらせると思っているから。
238	母	3	女	2	0.5	0	2	1	1	はい	4	子供がしんどそうなので、なるべく治してあげたい。	なし	1	必要な時だけでいいと思う。医師からすすめられたら考える。	あり	5	必要性をかんじる。
239	母	2	男	n	2	75	2	1	1	はい	5	発作予防のため	なし	n	n	あり	5	(例文「定期治療薬を続ける必要性を感じる」「副作用が少なくて安心だ」「主治医を信頼している」に○印)
240	母	4	男	1	n	0	2・3 (複数回答)	1	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
241	母	5	女	4	1	0	1	1	1	はい	4	医師から定期受診するように言われているから。	なし	n	n	あり	4	主治医を信頼している。
242	母	6	男	3	3	75	4	3	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
243	母	7	男	1	6	75	4	3	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
244	母	3	女	1	2	0	3	1	1	はい	5	定期受診の必要性を説明され、子供の為に必要だと感じたから。	あり	5	毎日続けているが、やはりステロイドの副作用が心配である。	あり	5	治療上必要だと納得している。
245	父	3	男	1	n	0	1	1	1	はい	5	しっかりと治したいので受診しています。	なし	n	n	あり	5	薬の長期服用について、しっかりとした説明があったので。
246	母	2	男	2	0.4	0	2	1	1	はい	4	初めての発作が入院するような大発作だったので、次の発作がおこらないようにしたいのと、早期にぜん息を治してやりたいから。	なし	n	n	あり	4	ぜん息を治療するためには必要だと思っているから。
247	母	2	男	1	1	0	2	1	1	はい	5	重症とは思えないが、咳したりすると辛そうだし、家族も受診に協力してくれて続けていけるから。	なし	n	n	あり	5	長期服用しても副作用が少ないと聞いたし、早く治してあげたい。
248	母	2	女	2	0.5	0	2	1	1	いいえ	1	重症ではないと思うから。	なし	n	n	あり	4	まだ軽症なので薬(オノン)だけで治れればと思う。また、主治医を信頼しているから。
249	母	1	男	1	0.5	0	2	1	1	はい	4	いつ発作がおきるかわからないし、できるだけ早く完治させたいので。	なし	n	n	あり	4	主治医を信頼しており、定期的治療薬を続ける必要性を感じる。
250	母	2	女	2	0.3	0	4	3	1	はい	4	ぜん息を治してあげたいと思うから。	なし	n	n	あり	4	この薬でぜん息が治るなら飲ませてあげたいと思うし、本人も薬をいやがらないので。
251	母	3	男	0	3	75	2	1	1	はい	5	喘息なら定期受診及び長期的治療が必要であると思ひ、重症になる前に予防からと思ひ。	あり	5	定期治療薬を必要性を感じる。	あり	5	定期治療薬を続けていく必要がある為
252	母	6	男	3	3	75	1	1	1	いいえ	n	n	なし	n	n	なし	n	n
253	母	3	男	2	2	0	2	2	1	はい	2	受診しようと思いつつ、できていない。	なし	n	n	あり	3	前回はいただいたお薬が終わって、その後受診できていませんでした。
254	母	6	男	4	2	0	2	1	1	はい	5	子どものぜん息が少しでも早くよくなるように受診しています。	なし	n	n	あり	5	主治医を信頼している。
255	母	6	女	4	3	75	3	2	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
256	母	6	男	0.4	6	75	1	1	1	はい	5	元気になると定期受診しなくていいような気がする。毎日くすりをするのに、ていこうがある。	あり	5	吸入がくさいと言っていないから。	あり	5	薬の副作用が心配。元気になると薬をのまなくなると。
257	母	4	女	2	2	0	3	2	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
258	母	6	女	4	2	0	n (昨年の夏にあって9月に発作)	n (昨年の夏にあって9月に発作)	1	はい	3	n	あり	3	n	あり	4	n
259	母	4	男	4	0.7	n	2	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	5	n
260	母	5	男	3	2	0	2	1	1	いいえ	5	安心だから。	あり	5	必要だと思うから。	あり	5	必要だと思うから。
261	母	1	女	1	0.1	0	1	1	1	はい	4	n	なし	n	n	あり	4	n
262	母	5	女	2	3	0	2	1	1	はい	4	n	なし	1	(例文「定期治療薬を続ける必要性を感じない」に○印)	あり	4	n

喘息日誌 から 言 わ れ た 医 生	④ ・ 1 ・ 2	④ ・ 2	環 境 整 備 を 医 師 か ら 言 わ れ た	⑤ ・ 1 ・ 2	⑤ ・ 2	⑤ ・ 3	自由記 述 欄
はい	3	本人がめんどりに記入しないことがある。時々親が声をかけてやると又つけている。ずっと発作が起きているので、必要性を感じにくいかもしれない。	はい	2	ダニ防止ふとんカバーを使用。ペットはかわない。たばこは屋外で吸っている(父)	・共働きで忙しく掃除が十分できない。・ふとん干しやカバーの洗たくもなかなか出来ない。・半部屋のおばあちゃんが雑貨を買いこんだり、不用品布製カバー(ざぶとんソファなど)を持ちこむ。(室内がゴチャゴチャ)	
はい	5	n	n	5	毎日のそうじ、布団にそうじ機をかけている。空気清浄機をフルにかけている。	n	n
はい	4	ほとんど病状が出なかったため。しかし、前回の受診以降、意識して記録をつけるよう努めました。	はい	5	ベッドのシーツカバーをシクロガードにした。枕カバー等。	医師からのスズメにより。	n
はい	2	日誌を記載するよう言われていたが、続かなかった為	はい	5	たばこは禁煙した。毎日できるだけ掃除をしている。布団は洗える布団にしている。	入院にならないようにしたいから、環境整備はしているが、大変だと思う時がある。	n
はい	5	n	n	5	掃除、ふとん干し&そうじ機がけ	n	n
はい	4	先生の言う通り実施しています。	はい	4	ダニ、ホコリ除去。ぬいぐるみ除去。毎日そうじ。	子供のためなら何でもやる。	n
はい	2	うまく習慣になっていない。	はい	5	たばこは屋外にでも吸っている。ペットは飼わない。防ダニカバーの布団を家族全員で使っている。	環境整備も治療のうちだと考えるから。	n
はい	4	診察時に確認してもらえます。	いいえ	2	毎日の掃除がなかなか出来ない(仕事の関係で)	n	まだ、よく分からない
はい	4	状態がよくわかるので良いと思う。	はい	4	・毎日掃除をしている。・寝具(枕、クッションなど)綿、ソバ製はなるべく避けている。・ダニが発声しにくいよう気をつける(換気、そうじなど)	・ダニが原因なので、発生を防ぎたいので。・子供の為なので家族で協力している。	n
はい	4	n	はい	4	たばこは屋外で、空気清浄機を使用している。できるかぎりそうじを増やしている。ぬいぐるみをそばへおかない。	n	加湿がたりないかもしれない。
はい	4	n	いいえ	4	・子供の前では、たばこは吸わない。・ほこりがなるべく出ない様にしている。	・家族が協力してくれている。・布団も変えてみようと思っている。	n
はい	5	子供の症状を知りたいから。	はい	4	・ペットのいる家には行かせないようにしている。・毎日、掃除をしている。・お布団(敷布団)を替え	・上記の事で効果を感じているから。	n
はい	5	n	はい	5	・ペットはかわない。・観音植物もおかない。・こまめにそうじ。・羽毛は使わない	n	n
はい	5	日誌をつけると診察時に確認してもらえますから。	いいえ	5	なるべくほこりを出さないようにしている。	少しでも症状の改善になればと思っています。	n
はい	5	n	いいえ	5	禁煙をした。	n	n
はい	5	後からみてよくわかるよう日誌をつけています。	いいえ	5	カーテン等のそうじ、部屋のかんき、布団	n	n
はい	5	必要と思う。	はい	4	掃除を気をつける。布団をこまめにほす。	医師から指導をうけ、やってみたら、楽になったように感じたので。	n
はい	5	日誌をつけることで発作時の薬や、吸入の使用度がわかる。何月頃発作が起きやすいかなども。	?	5	・じゅうたんをやめて、ウッドカーペットにした。・毎日そうじをかける。・ほこりのたつものを置かない。(ぬいぐるみ、クッションなど)	ウッドカーペットにかえてから発作時の薬の使用頻度が少なくなったように思います。	n
はい	5	n	いいえ	5	・父親はタバコは外です。・そうじ	n	n
はい	4	どの時期、どの天気の時がぜんそくがやすいか知っておきたい。	いいえ	4	・毎日掃除をしている。・手洗い、うがいをさせている。・外でたくさん運動して体力をつけさせるようにしている。	・手洗い、うがいをし、かぜからぜんそくにならないように。	父が転勤が多く、病院を転々としなければいけない。
はい	5	n	はい	5	フンをかえた。(よく洗い干している) タタミからフローリングにした。空気清浄機など必要だと思う物を買った。	n	n
はい	5	n	はい	5	フンをかえた(よく洗い干すようにしている) タタミからフローリングにした。空気清浄機などを買った。	n	n
はい	5	病状を報告するためには必要だと思うし、熱発や、子供の状態を記載でき、診察時伝えやすい。	はい	5	たばこの側には行かせない。そうじをこまめに行う。	n	n
はい	5	子供の病状が把握ができるので。	いいえ	5	まめに掃除をしたり、加湿(冬時)に気を付けたりとできることをしています。	目に見えての変化はないですが、病状がた時に重くならぬように気をつけています。	色々な情報があれば親も安心するので助かってます。
はい	4	日誌は治療方針を決めるうえで、参考になると思うから。	はい	4	室内のペットとの接触を最大限にさせないようにしている。	家族が協力してくれるから。	n
はい	5	あまり症状はないけど発作が起きた時は、どれぐらいで発作が起きるか目安になる。	いいえ	5	たばこは外かかんきせんの下で吸うようにしている。布団干しや掃除は2~3回に1回している。	タバコは気管に悪いから。	休日、夜間、早朝などの時間外診察がないこと
はい	4	病状の参考になると医師からきているため。	いいえ	2	掃除を心がけている。	n	n
はい	4	具体的な状態、その他の病気や全身状態も記入できるので良いと思っている。	いいえ	2	たばこ(祖父)、ペットに関してはとても気をつけている。布団も気をつけている。	家族が協力してくれるので安心している。具体的な整備がまだはっきり理解できていない。	
n	n	今日の診察で記載するよう言われたので、問いにはあてはまる答えはないが、これからきちんとつけてあげたいと思う。	はい	4	・ふとんを干したり、乾燥機をかけた後、そうじ機もかけるようにしている。・たばこは屋外で吸う。	具体的な効果は、まだ期間が短い為か感じられないが、これからきっと効果がでるにちがいないと信じてやっている。	n
はい	5	日頃の生活の参考となる為と、診察の際忘れず言える。	はい	5	掃除をまめにし、家は換気に努め、ジュータンは何部屋かとり除きました。	お兄ちゃんの時に効果性を感じられた。	n
はい	n	発作なく過ごせていますが、まだどういふうな形になるか分からない為、医師の方々に確認してもらった際に必要性を感じられる為。	はい	5	掃除はまめにし、家の中は換気に努めている。	又、発作がおこらない様、弟も効果性がなくなると残念だと思ひ。	n
はい	2	1度忘れてしまうとそのままになってしまうことがあります。すいません。	はい	3	掃除に気をつけている。	環境整備の大切さをいただいたプリントなどで知ったので。	n
はい	5	医師から日誌をつけるよう言われているから。	はい	5	・たばこは子供がいない部屋か換気せんの近くで吸うように主人に協力してもらっている。・毎日掃除をしている	しないよりはいいと思うから。	
はい	5	n	はい	5	毎日掃除(掃除機・ふき掃除)	n	n
はい	5	症状が出ない時はつけるのをわすれるし、めんどくさい。	n	2	毎日掃除をしている。	元気になるとなしなくなって、病気になると思われている。	n
はい	5	n	はい	4	空気清浄機を使用している。たばこは換気扇の下で吸ってもらっている。布団をこまめに干している。	n	n
はい	3	n	はい	4	空気清浄機を使用している。たばこは換気扇の下で吸ってもらっている。布団をこまめに干している。		
はい	5	n	はい	5	n	n	n
はい	5	少しめんどろだが先生に病状を正確にみてもらうのに必要だと思うから。	はい	5	毎日掃除。たばこは家では吸わない。ふとん干し、ダニ防止ふとん。	できることは、無理のない程度にしていこうと思っている。	n
はい	4	n	いいえ	3	父:禁煙 空気清浄機を買います。	n	n
いいえ	1	n	はい	2	n	n	n

N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	喘息発症期間(年)	保護者の関わり(%)	小発作	中発作	大発作	定期受診の必要無	①・1	①・2	吸入薬の処方	②・1	②・2	③・1	③・2	
																		①・1
263	母	2	男	1	0.5	0	4	1	1	はい	4	悪化させたくないから。	あり	n	今日から吸入をはじめるように言われた。指示通り行うつもり。	あり	4	定期治療薬を続ける必要性を感じる。悪化させたくない。
264	母	6	男	5.5	n	75	3	1	1	はい	4	ぜん息のために定期受診が必要だと思うので(また時々発作がある時がある)	あり	4	吸入薬の必要性があると思う。	あり	4	定期的治療薬を続ける必要性を感じている。1
265	母	3	女	2	0.8	0	1	1	1	はい	5	定期的に受診するように言われているから。	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じる。	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じる。
266	母	3	男	1	2	0	3	2	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
267	母	6	男	1	5	0	2	2	1	はい	4	医師からぜん息のために定期受診するように言われたから。	あり	4	医師から治療の詳しい内容の説明を受け、自分(親)も納得し、定期治療薬を続ける必要性を実感したため。	あり	4	主治医を信頼している。
268	母	2	男	0.5	1.5	75	4	2	1	はい	4	n	あり	5	吸入すると薬になるので、定期的に行っているし、急にせきが続き時も同様。	あり	4	子供がいやがらず、飲んでくれるので、必要であれば続けたいと思う。
269	母	4	男	3	1	0	3	1	1	はい	5	子どものために早く完治できる様、症状がひどくならない様にと悪い、受診しています。	なし	n	n	あり	5	内服で吸入をしなくてもいい程度である様がんばって飲ませています。
270	祖母	4	男	4	0.6	0	2	1	1	はい	4	n	n	n	n	あり	5	n
271	母	2	男	1	1	0	2	1	1	いいえ	1	先生に定期受診するよう言われてなかったのと、フィルタートや毎日飲んでいるオノンがなくなる前に診察してもらい、薬をもらってあるので、特に考えてなかったです。(調子が悪いと診察に来てます)	あり	5	n	あり	5	n
272	母	7	女	6	1	0	2	1	1	はい	5	発作が出ると子供がかわいそうだから。	なし	n	n	あり	5	発作予防
273	母	1	男	0	1	0	2	1	1	はい	5	毎日投薬が必要で、無くなれば受診するようにしているので、定期的を受診している。	なし	2	吸入器が家に無いため、吸入できていません。	あり	5	病気がひどくなる困るので、できるだけ必ず薬を飲ませるようにしている。
274	母	2	女	1	1	0	3	2	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	5	n
275	母	1	男	1	0	0	4	2	1	はい	4	ぜん息が治るまでは受診を続けるつもりだから。	なし	n	n	あり	4	主治医を信頼しているので、出された薬を状況に応じて飲ませている。
276	母	2	男	1.5	1	0	2	1	1	はい	3	n	あり	2	n	あり	2	n
277	母	5	男	4	1	n	2	2	1	はい	5	子供も親も安心してゆったりした気持ちで日常生活したい。	あり	5	普通の生活を楽しめる為に(本人も家族も)必要。又、その吸入等、体の副作用が少ないと聞いている。強い薬を発作時のみより続けて軽い薬をのんで治療したい。	なし	n	n
278	母	6	男	2	4	75	3	2	1	はい	5	医師からぜん息を治す為には、薬をしばらく飲んで様子を見ていくのがあったので定期受診している。やはり、苦しそうな子供を見るのはつらいので	あり	5	定期治療薬を続ける必要性は感じるが、薬の副作用は心配。	あり	5	症状がた時のみ内服をしている。副作用は心配。
279	祖父	11	男	n	4	50	3	1	1	はい	5	n	あり	3	n	なし	n	n
280	母	3	女	1	2	0	2	1	1	はい	5	定期受診することにより、以前よりも症状が軽くなった。医師からのアドバイスをうけることで安心感を得ることが出来た。	あり	5	症状に合わせてその時に合った薬や吸入による治療は必要だと思う。	あり	5	主治医を信頼しているので全てをまかせるつもり。
281	母	3	男	2	1	0	2	2	1	はい	2	n	あり	n	ぜんそくがでない様、朝、ばんのませている薬がある。	n	n	n
282	母	4	男	3	1.5	0	3	1	1	はい	4	n	あり	3	朝、子供がいやがると、ついやめてしまう事がある。補助具を使用しないで済むようになれば薬になると思う。	なし	n	n
283	母	7	女	4	3	50	2	2	1	はい	5	遺伝的な要因があると思うので、ある程度成長するまで定期的を受診したい。	あり	5	副作用の心配はないと説明を受けたので、薬の量も徐々に減らしてきているので不要になるまで続けていきたいと思う。	なし	n	n
284	母	4	男	n	n	n	1	1	1	いいえ	3	n	なし	n	n	なし	n	n
285	母	6	男	4	2	0	1	1	1	はい	5	発作と思われる症状はほとんどないが、アレルギー鼻炎(花粉症)もあるので、定期的を受診している。	n	n	n	あり	5	予防として飲ませている(先生から副作用は心配ないといわれているので)
286	母	3	男	1	n	0	1	1	1	いいえ	1	まだ1回しか発作も出ておらず、医師から受診を言われなかったから。	なし	n	n	なし	n	n
287	母	4	女	1	3	0	2	1	1	はい	5	ぜん息発作をおこなさない様にするには、何より予防が大事だと思うから。発作を繰り返せば重症化してしまうのを知っているから。	あり	5	定期治療薬は、完治するまで絶対に必要だから。服薬に比べ吸入薬の方が副作用が少ないと思うから。	あり	5	アレルギー体質の改善は多分できないだろうし、改善するまでは治療薬は絶対に必要だと思うから。
288	3(祖母)	5	女	2	3	0	1	1	1	はい	5	負担でない日課	n	5	n	n	5	n
289	父	2.4	女	0.5	4	75	2	1	1	はい	5	医師を信頼して治療をつづけています。	あり	5	治療に必要性を感じている。	あり	5	治療の必要性を感じている。
290	母	7	男	1	7	0	3	2	2	はい	5	子供の負担、苦痛を軽減させたいから。大人になった時、好きな事をさせてあげたいから。きちんと診察を受け、薬を飲まないで命に関わる事もあるから。	あり	5	発作をコントロールするには欠かせないと思うから。早期に吸入をする事で、子供の負担になる点滴や入院の回数が減るから。	あり	5	薬を服用しないと発作が出てしまうから。定期的服用する事で、発作のコントロールがつかうから。
291																		
292	母	5	女	3	2	0	1	1	1	いいえ	1	(例文「医師からぜん息のために定期受診にいわれていないから」に○印)	あり	4	n	なし	n	n
293	父	6	男	2	0.3	0	4	1	1	はい	n	n	あり	5	n	なし	n	n
294	母	3	女	2	0.3	0	2	1	1	はい	4	n	なし	n	n	あり	4	n
295	母	3	男	1	2	0	2	2	1	はい	5	信頼できる医師だから。自分なりに勉強し、必要だと考えたから	あり	5	副作用は心配だけれど早期治療の大切さを信じた。大きな発作が怖い。	あり	5	2-①といっしょです。
296	母	5	男	1	4	75	2	1	1	はい	5	n	あり	5	n	なし	n	n
297	母	4	男	2	2	0	1	1	1	はい	5	定期的にみてもらっていた方が安心だから。	あり	5	早期に治療をすめた方が長期の治療につながるのだから、今は大変ですが処方された通りしている。	あり	5	毎日は大変だけれど②・②と同様であるし、先生を信じているから。
298	母	2	男	0	2	0	4	3	1	はい	5	時々ぜん息発作を起こし、定期受診が必要だと思うから。	あり	2	定期治療薬は行った方がよいと思うが、子どもの年齢が低くうがいできないため、薬の副作用が心配だから、吸入はほとんどできていない。	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じる。
299	母	3	男	1	2	0	2	2	1	はい	5	n	あり	4	n	あり	5	n

喘息から日誌の記載を医師から	④ ・ 1	④ ・ 2	環境整備を医師から 言われた	⑤ ・ 1	⑤ ・ 2	⑤ ・ 3	自由記述欄
はい	4	必要性を感じるし、記入しないと憶えている。	n	4	毎日掃除をしている。エアコン(冷房)を極力避けた。	環境整備するにこしたことはないから。	n
はい	4	日誌は病状の参考になると実感している。	はい	4	・タバコは屋外で吸うようにしている。・ペットはかわないようにしている。	n	n
はい	5	日誌は病状の参考になると実感している。	はい	5	たばこは屋外で吸うようにしている。毎日掃除をしている。空気清浄機を設置する。寝具を干す。洗濯をまめにする。羽毛布団を使用しない。おもちゃにぬいぐるみを少なくする。	効果があると感じる。家族も協力的。	子供の体をきたえる。ストレスをためない。空気の汚れているところになるべくかない。
はい	5	n	はい	5	・たばこは屋外で。・ペットはかわない。・掃除をまめにしている。	n	n
はい	4	日誌は病状の参考になると思うから。	はい	5	毎日の掃除と布団干し	環境整備に気をつけることは当然だと思うから。	n
はい	4	診察時にわかりやすいから。	いいえ	2	必要最低限(そうじやタバコの煙など)は気をつけているが、なるべくその現実には慣れる事も必要だと思うので、ほどほどに気をつけている。	家を基準にとってもきれいにしているが、他の場所が同じ環境とは限らないので、ほどほどにあまり気をつけていないかも…	n
はい	5	いつ頃どのような症状だったか、確認できるのでいいと思います。	はい	5	ぬいぐるみなどは置かない様にしている。できるだけほこりがたまらない様掃除を心掛けている。	ぜん息だけではなく肌も弱いので、できるだけ部屋をきれいにして、服もできるだけ清潔なものを着せる様にしていきます。	n
はい	5	n	はい	4	掃除、布団ほし、など毎日しています。	n	n
はい	5	n	はい	5	布団を羽毛をよめました。あと、掃除機もよくかけるように(紙パック式)で気をつけてます。	n	n
はい	5	患児の様子がわかって大変いいと思う為。	いいえ	2	・換気に気をつけている。・ペットはかわない。・掃除をまめにする。・カゼをひかないように手洗い、うがいの励行	布団などはまだ防ダニのものかえたりしていない。・カゼをひかないように手洗い、うがいの励行	n
はい	3	できるだけ記載したいが、なかなか続かない。つい忘れてしまう。	いいえ	2	たばこを吸っている人には近づかないようにしている。	なんとなく嫌なので…	n
はい	5	n	はい	5	まめに掃除をする。子供の前でたばこは吸わせない。ダニ予防のスプレーをする。布団をまめに干す。など	n	n
はい	4	日誌は病状の参考になると実感しているから。	はい	4	父親はタバコを外で吸うようにしている。	家族が協力してくれるから。	車内のエアコンの風はどうなんだろうと思う。
はい	2	n	いいえ	2	n	n	n
はい	5	日誌をつけていないと、発作の起こった回数等覚えていないので、日誌があるといいと思う。	はい	5	ふとん干し(こまめに) カーベットの出来るだけしかない。ペットは飼わない(毛のあるもの)	私も花粉症、ぜん息の治療をしている。しんどいのはよく分かる。効果はテキメンとはいくなくても努力はしてやりたい。	ぜん息と関係ない事もありますが、家庭でゴミを捨てる人がいる。車や靴なら気にならないが、ビニールのニオイは体にも悪いと思う。
いいえ	1	医師から日誌を記載するように言われていないから。	はい	2	ペットをかっているので空気清浄機を買った。たばこは屋外で吸うようにしている。	気休めに。	n
いいえ	n	n	はい	4	毎日掃除。	・布団乾燥に留意へ。・掃除機にかける。毎日。	n
いいえ	3	(例文「医師から日誌を記載するように言われていないから」に○印)	いいえ	3	父親には家でタバコを吸わないようにしてもらっている。空気清浄機やエアコンのフィルターはまめにそうじする。寝具をダニ防止のものにしようと思っている。	n	n
いいえ	2	n	はい	5	掃除を4まめにしたり、ぬいぐるみは限られた物だけに絞り、最低1回以上洗濯。オープン棚等にはビニールカバー。布クッションは使わずビーズクッションのみ。こまめにハウスダストや花粉用のスプレーをかける。部屋の湿度の調整。	n	n
いいえ	1	今のところ日誌をつける必要はないと考えている。	はい	5	毎日掃除をしている。晴れた日には布団を干すようにしている。	ホコリ、ダニなどでかゆみを伴うので実行している。	n
はい	5	最近記録忘れの頻度が多くなり、反省しています。	はい	2	・たばこは吸わない(元来) ・動物は飼わない/関わらないようにしている。	働いているので、掃除や布団の手入れが行き届かない。	吸入薬等はほぼ毎日行っていました。発作はめったに起きないので、環境整備の方は怠りがちでした。
いいえ	n	n	n	5	毎日のそうじとせんたく。皮フのケア。食生活など。	皮フのケアを少しでも怠ったり食事を気をつけていないとすぐ症状が戻ってしまうので。	n
いいえ	n	n	はい	5	・主人がたばこを吸うけれど室内では吸わせていない。・犬をかっていたけれど、実家に預けている。・毎日掃除をしている。布団をほした後はそうじで吸うなど、気をつけている。	アレルギーがこれ以上ひどくならない様、医師の指示を受けながら家族で協力している。	n
いいえ	1	症状が出ないため	いいえ	5	・毎日の掃除 ・布団もぜん息用(?)のものを使用	n	n
はい	2	・症状が出なかったため、つい面倒くさくなった。・そのかわり、少しでも症状が出た時には、必ずメモをする様にしている。・でも家族3人にぜん息があると、日記は必要だと思う。どうやって毎日つける時間を確保するかが最大の課題!!	はい	5	本人の布団を防ダニにして、他はマイクロガードをしよう。(座布団にも) 布団を干した後は掃除機をかけ、ほこりや花粉をのぞく。ぬいぐるみは限られた物だけに絞り、最低1回以上洗濯。オープン棚等にはビニールカバー。布クッションは使わずビーズクッションのみ。こまめにハウスダストや花粉用のスプレーをかける。部屋の湿度の調整。	・医師からの指示で環境整備した。・環境整備したら、掃除が楽になった。	・いつも風邪を引き金にして発作をおこしてしまう。・年齢があるにつれて風邪をこじらせる回数が増えてきたので、発作も減ってきた。・排ガスや煙草の煙りで咳込み事が多く、塗料や溶剤などにも弱い。・耳鼻科や眼科で温度差アレルギーと言われて、やはり春秋にその症状が出て、風邪をひくことも多い。
n	1	(例文「医師から日誌を記載するように言われていないから」に○印)	n	4	ペットを前にかっていたがやめました。毎日掃除をしている。	布団をかえたら効果がありました。	n
はい	5	現在は記載してないが2~3年つづけていました。	はい	5	こまめに掃除をしている。衣類の洗濯をこまめにしている。	n	n
はい	3	・毎日子供の状態を日記にする事で、発作のおきる理由やタイミングが見え治療に役立つと思う。・子供3人分の日記を毎日つけるのはかなり苦痛。PEFの数値はカレンダーにも書いて管理している。	はい	5	・犬そうじを2回にした。・布団カバーを変えた。・空気清浄機を買った。・天気の良い日は毎日布団を干す。・ぬいぐるみを減らした。	・出来るだけの事はやりたいから。・環境整備ほどに母親の負担が多い。ストレスにならないでいける事から少しづつやるのがBestだと思う。	・治療には家族全員の理解と協力が必要。・ある程度の年齢に達したら、子供(患者)にもきちんと病気のことを理解させるべき。・喘息治療には多額の金銭的負担がある。安心して治療を受けられる環境を作ってほしい。
n	1	(例文「医師から日誌を記載するように言われていないから」に○印)	はい	5	(例文「たばこは屋外で吸うようにしている」「毎日掃除をしている」に○印) 日に1~2回そうじをかける。布団も掃除機をかけほこり、ダニを吸うようにしている。エアコンのフィルター掃除をマメにしている。	n	n
はい	2	n	いいえ	5	(例文「毎日掃除をしている」に○印)	n	n
はい	4	n	いいえ	4	掃除に気をつけている。寝具の選び方。ペットは飼わない。	アレルギー検査の結果を見て、ハウスダストに少し反応していたので、掃除に関して気をつけている。ペットについても猫に陽性反応があったため。寝具はほこりやダニが気になるので、ただ、これらのことに気をつけていても、まだはっきりとした原因や効果はわからない。	睡眠時、窓などが開いていて、風が通っていると、すぐにゼーゼーとなりだすので、影響があるように感じています。また、風邪を引いて、咳が出るようになったあと、ゼーゼーと始まることが多いです。
いいえ	2	日に1度~2度先生とおはなししていますので、今は、充分だと思っています。	はい	5	掃除のしかた。ダニやほこりの(しくみ?)勉強をして、自分のできる限り努力しています。家をケイノウ土にして湿度を保つようにしています。床は全て板にしました。	気をつけることにより発作につながらないと信じています。(これから結果がでると…)	親の努力が必要だと感じます。目に見えない気苦労もあります。いつもどこかで発作が起きたら…と思っています。先生のやさしい声かけ、大丈夫ですが、ほんとうにうれしいです。
はい	2	n	はい	5	・布団を替えた。ダニを通しにくいカバーを使っている。・毎日そうじ機をかける。	・家でできる事をしたかったから。・そうじをマメにしたり布団をかえたら発作がへったから。	・発作のない時はふつ引に元気が過すことで、親子でストレスのない生活を心がけている。
いいえ	2	発作が出はじめると少しづつつけているがふだんはつけていない。	はい	5	・毎日掃除機をかける。・空気清浄機を使う。	やるようになってから、発作が起きにくくなったと思う。	体調の良い時はなるべくよくうにさせている。
いいえ	1	(例文「医師から日誌を記載するように言われていないから」に○印)	はい	5	・掃除をしている。・防ダニシートを使用。カバーがえ。・布団に掃除機をかけている。・空気清浄機の使用。・ペットのいる家には体訓の悪いとき(カゼをひいている時)は行かないようにしている。	医師からの指示を受け、⑤-2の環境整備を続けている。	n
はい	2	n	はい	2	(例文「たばこは屋外で吸うようにしている」「毎日掃除をしている」に○印) ぬいぐるみは買わない。	n	n

N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	喘息で医療機関にかかっている期間	保護者の割合(%)	小発作	中発作	大発作	定形診断の有無	①・1	①・2	吸入薬の処方	②・1	②・2	③・1	③・2	
																		内服薬の処方
300	母	5	女	5	n	n	3	1	1	はい	3	積極的にぜん息の治療を行って、発作の回数をできるだけ少なくしたいから。発作をコントロールするために定期受診が必要だと感じるから。	n	n	今現在入院中でまだわからないのですが、その必要性があるならば、吸入させるつもりである。副作用についても説明があり、信頼している。	n	n	おそらく説明があったので処方されると思うが、必要性を感じているのでのませるつもりだ。
301	母	1.2 3.8	男(男) 女(3歳)	3歳 1ヶ月	2	0	3	3	2	いいえ	5	常に薬をのまないで心配。前夜の発作はどのくらいひどいのか知りたいから。	あり	5	常にばんざんでほしい。娘に同じ苦しい思いをさせたくない。	あり	5	(例文「主治医を信頼している」に○印)
302	母	9	男	9	0	n	1	2	1	n	3	これが初めてのぜん息で先生と相談して決めたいと思っています。	あり	2	これから吸入の定期治療をします。朝、夕、1回2回予定。	n	n	(例文「主治医を信頼している」に○印)
303	母	9	男	2	7	75	2	1	1	はい	3	通院のために学校を休む事。母親の私も仕事があるので、どこまで通院できるか不安ですが、ある程度発作予防できるのなら通ってみたいと考えました。	なし	n	n	あり	n	(これから治療開始)
304	母	10	男	6	5	50	1	1	1	はい	5	定期的に受診する事により、発作がほとんど起きなくなったので。	あり	5	本人が自覚を持って自分自身で吸入出来る。吸入する事によって、発作がおこらなくなった。	あり	5	副作用も少なく、発作がおこらなくなった。
305	母	12	男	8	3	25	1	1	1	はい	5	ぜんそくはこわい病気なので、しっかり治癒しないと思うから。一度大発作をおこしてぜん息のこわさを思い知らされました。	あり	5	ステロイドと聞いて最初はどんなものかと思いましたが、発作が起きるとこわいので、毎日必ず吸入する様に言っています。	あり	5	発作がこわいので、お医者さんの言われる事を守る様にしています。
306	母	4	女	1	3	0	3	2	1	はい	5	小さいうちにきちんとした治療をして、ひどくならない様にしてあげたいから。	あり	4	100%できない理由として、毎日朝、夕実施することに対して、忙しさなどから忘れてしまうことがある。子供が他にもいて、1人だけに集中する時間と精神的ゆとりがない。	あり	5	吸入のときと理由はほぼ同じ。十にがいのみ薬の場合、子どもがいやがり、むずかしい。
307	母	3	女	2	1	0	4	1	1	はい	5	この状態ではやくなおってくれればうれしいです。	あり	5	薬と併用しているため、たまに吸入を忘れる。	あり	5	毎日のことながら子供に薬をのませるのがかわいそうになる。
308	母	5	男	3	2	0	1	1	1	はい	5	重症にならない為には、定期的に医師による診断が必要だと思うから。	あり	5	副作用が心配だが、治療の為には必要だと思う。	あり	5	現在は必要の時だけいいと言われています。
309	母	4	女	2	2	0	1	1	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
310	母	4	男	3	1	0	3	1	1	はい	5	n	あり	3	n	あり	3	(例文「薬の副作用が心配だ」に○印)
311	母	6	男	1	5	0	2	1	1	はい	5	定期受診することで少しでも症状を改善させていきたいから。医師と相談出来る回数が増えるのも心強い。	あり	5	定期的治療薬を続ける必要性を感じる。実際に症状が改善されている。	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じる。実際に改善されている。
312	母	4	女	3	1	0	1	1	1	はい	2	もう1人ぜん息の子がいて定期受診しようとしているが、2人いてなかなか大変です。	なし	n	n	なし	n	n
313	母	5	男	2	3	75	3	1	1	はい	5	前診の際、次回の診察日を定めるので予定が組みやすい。(その期間の薬をもらえる)	あり	5	長期間服用しているため、薬(チオドール)は、新調できわがれているので心配。調子が良いと早く薬を減らしたいと思っているが、又、ぜんそくがひどくなるかと思うとこわい。	あり	5	調子が良い月があると、もう治ったのかと思って、病院に行く必要があるのかと思う時もある。(薬の副作用も心配)でも、もしものことを考えて、毎日服用しています。
314	母	3	男	2	1	0	1	1	1	いいえ	5	n	なし	n	n	なし	n	n
315	母	4	男	2	2	n	1	1	1	はい	5	かよえば早くなおればいいからです。	あり	5	つづければ早くおわれればいいからです。	あり	5	くすりをつづけて早くおわれればいいからです。
316	母	5	女	4	1	0	1	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	5	n
317	父	10	女	4	6	25	3	2	1	はい	5	n	あり	3	n	あり	4	n
318	母	7	女	6	1	0	1	1	1	はい	5	医師から定期受診するよう言われている。	あり	5	薬の副作用が心配だが、つづけている。	あり	5	副作用が心配だがつづけている。
319	母	2	男	1.5	1	0	2	2	1	はい	5	n	あり	2	薬の副作用が心配だ	あり	3	薬の副作用が心配。セキが出始めてから飲み始めている。元気な時は飲ませていない。
320	母	7	男	n	n	n	n	n	n	いいえ	n	n	n	n	n	なし	n	n
321	母	6	女	5	1	0	1	1	1	はい	5	まだ発作はおきていないので、出来るだけ発作がおきることのないように定期受診する。	あり	3	全く病状の無いときはしていない。少しでも咳がある時はする。	あり	3	②-2と同じ
322	母	4	男	2	1	0	1	1	1	はい	1	1年近く病院に通い、ここ3ヶ月薬を飲まなくてもせきがでない。	なし	n	n	なし	n	n
323	母	2	男	1	1	0	2	1	1	はい	4	食物アレルギーの定期受診があるので、それと一緒にうけている。薬をのませているとせきが始めるともひどくならないから。	なし	n	n	あり	4	薬をのませていると安心できるから。
324	母	6	男	5	2	75	1	1	1	はい	5	早く完全に治したいから。	あり	5	n	あり	5	副作用は心配だが、きちんと続けて早く治したいから
325	母	14	女	2	12	75	3	1	1	はい	5	喘息は慢性的な病気であり、症状が出なくなつたからと言ってなおった訳ではないので、医師の許可が出るまで定期受診は必要と考えます。	あり	3	私(母)が仕事で不在の時など忘れてしまう事がある。	なし	n	n
326	n	n	n	n	n	n	3	1	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
327	母	4	女	1	3	0	2	1	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	薬をのませ忘れるとヒューヒューいうので。
328	母	10	男	3	n	75	3	1	1	はい	3	n	あり	4	手術の為もあるが、ぜんそくを完全に治したいから。でも、あまり吸入は使いたくない。	あり	4	飲んで完全に自然に治るものなら飲ませたい。
329	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n	n
330	母	14	女	3	8	50	3	2	1	はい	5	n	あり	3	n	あり	5	n
331	母	2	女	1	2	0	3	2	2	いいえ	5	次回の予約を入れてくれているから見てもらっている	なし	n	医者から進められていない。時々「げいげい」言うのと近くの小児科にて吸入をしてもらっている。	あり	5	のませないとかゆがったり「げいげい」言う。

喘息日誌 から 言 わ れ た 医 師 を 医 生	④ ・ 1 ・ 2	④ ・ 2	環 境 整 備 を 医 師 か ら	⑤ ・ 1 ・ 2	⑤ ・ 2 ・ 3	自 由 記 述 欄	
はい	n	まだ実際にはつけていないが、発作のコントロールの為にぜひつけようと考えている。	はい	3	タミの部屋を整理し、掃除しやすいようにした。掃除機の後、ふき掃除をし、ほこりの除去につめている。防ダニシールの購入を考えている。タミ替えをした。布団やカーテンも掃除機をかけるようにした。	100%ホコリやダニは除去できないが、少しでも原因になりうるものが抑えられれば、家族も協力してくれるので。	n
いいえ	4	言われてはいるが親がいつどんな天気でのようなしょうじょうかはあはくする為	はい	5	1日2回のそうじき1日気がつけばコロコロ、タンズやものの上に細かいものをのせないようにフロントの状態にして。又手ふきモップで必ずTV上タンズ上をーじして。でんきはカサのタイプはほこりがおちるのでタッチパネルのにした。そーじきは外に出る風がクリーンのにした。	親が子にできることはやってあげたいと思ったから。	フルタイム、オノン、キュパールオノンをつけて、3ヶ月以上も発作が起きない場合少しやめたい。
いいえ	2	(例文「医師から日誌を記載するように言われていないから」に○印)	はい	3	なるべく毎日掃除をする。冬のカーベットの短いものに変える。(防ダニ仕様)ペットの洋服を着せる。ふとんに掃除機をかける。	症状が出て(ぜん息になってから)まだ家に帰っていないので。家族は協力してくれます。	n
いいえ	n	n	はい	2	・毎日できるだけ掃除をする(今回の入院中に担当医の先生にいろいろ詳しい事を相談したり、アドバイスいただいたので、今度、取り入れられる事、出来る事はしていきたいと思いました)	n	以前にマクロビオティック(玄米と野菜、豆中心の食生活)をとり入れ、1年位(食事をたのしめる程度にとり入れ、たすには子供の好物も)食生活をかえたところ、子供も発作がおきず、私のアレルギーもよくなり、体調が良かったので、もう一度とり入れてみようと思っております。
はい	3	状態の変化が良くわかるので、毎日記録すべきだと思ふ。しかしなるべく本人の事なので、ピークフローメーターの値を必ず記入する様に言うが、忘れられしうたまに日誌をみると空白になっている。	はい	2	・たばこは屋外ですうじしている。・掃除機を毎日かける。	・医師より寝具についての環境整備を教えてもらいましたが、働いている為、天気が良くても布団を干したり、ほこりを取りたりなどはほとんど出来ないです。やらないういけないと思っけても中々手がまわらない。	空気が汚れているのかなと思います。大会社の理突から毎日の棟に出ているけもりを見て、体に悪いだらうと実感します。それだけではいけないのかもしれませんが、ぜん息の事を考えると空気のきれいな田舎に住む事が理想ですね。
はい	5	ピークフローの値しかつけていませんが、たんがからんだりした事も、次の診察まで覚えていられないし、気になった事などをその都度書き残しておいて、先生に伝える様にしています。	いいえ	1	アレルギー源がほこり、ダニ等なのですが、ふつうに生活できているので、これといって気を付けてはいません。	(例文「医師からの指示を受けていないから」に○印)	だんだんと薬が減ってきたので良いのですが、一番ひどい時期は、薬代も結構かかります。ジェネリック医薬品とかはないのかな?と思う事もありました。長期に続けていくには、安ければ助かりますよな。
n	2	がんばって前は記入していたのですが、毎日細かく記入することの大変さと忙しすぎて書くのが苦痛になってしまい、と中でやめてしまいました。前、通院していた所では言われていた。	n	n	n	n	n
はい	2	初めは言われましたが忘れることが多くなり、カレンダー記入になってしまいました。	はい	5	たばこは外で吸うようにもっている。そうじは毎日している。	たばこについては子供の生命にかかわるといわれすぐおこった。	n
はい	5	日誌は病状の参考になっている。	いいえ	5	・毎日掃除をしている。・布団を干す・空気清浄器を作っている。	子供の為に大変重要だと思う。	月に一度の通院は子供には苦痛のようです。
いいえ	n	n	いいえ	5	(例文「毎日掃除をしている」に○印)・フンをひんばんに干したり、市販のダニを除去するスプレーをしてから干したりしている。・ぬいぐるみは使わないようにしている。	n	n
はい	3	忘れて次の日につけたり、1週間まとめてつけたりして。	はい	5	たばこはベランダで。そうじを毎日、ほこりとりを週1回、布団はなるべく干す。アレルギー用布団にかえる。カーベットのしはめかす。	(例文「布団をかえたら、効果が感じられたから」に○印)	毎日吸入を朝か夜はやるようにしているが、特に朝は忘れる事が多い。発作がでないし安心して薬の量をへらしてしまふ。とくに飲み薬は副作用が心配ですくべらしてしまふ。子供も薬を嫌がるので、怒りながら飲ませる事もある。
はい	5	日誌は病状の参考になると実感しているから。	はい	5	ペットのいる家には行かせない。毎日掃除をする。布団やシーツをまめに洗濯する。	少しでも症状が出ないよう環境を整えてあげたいから。	住んでいる所が良くないと思う。東海市の大気汚染
いいえ	n	n	はい	3	ふとんを天気のいい日に干してふとんとそうじをかける。毎日ふきそうじをしている。洗えるふとんは洗います。	n	n
はい	2	症状が出ない月があるので、忙しくて書いている時間がない。カレンダーに記入して、診察する時に、紙に書いて渡している。	はい	5	毎日、そうじき、ふきそうじ、ふとんのそうじきしています。	ハウスダストとダニがアレルギー源なので、これがなければ発作はおきないの。	・発作のない時はふつうに元氣よく過すことで、親子でストレスのない生活を心がけている。今は乳児医療で治療費が無料だが、小学に入ってから治療費が心配。・フルタイムの後のうがいがなかなかやってくれない。
いいえ	n	n	いいえ	5	n	n	n
はい	5	日誌をつけてなにかあるとわかるからです。	いいえ	n	n	n	n
いいえ	2	n	いいえ	5	掃除やフンほしをこまめにしている。	n	毎日薬を飲ませつづけることに少し不安を感じる。
いいえ	n	n	いいえ	4	へやのそうじとしんぐの手入れ	n	n
いいえ	n	n	いいえ	2	・ほこりなど注意し掃除している。寝具等も気を付けている。	n	n
いいえ	1	日誌をつけるよう医師から言われていない。	はい	3	たばこは外で吸うようにもっている。そうじをこまめにしようとしているが、仕事をしているので、なかなかできない現状です。	n	n
いいえ	n	n	いいえ	5	ねる前に寝具にそうじ機をかけている。部屋にほこりやダニがたまらないように整えている。??フールに通っている??	親自身が環境を整えたら花粉症が軽くなった。	n
いいえ	1	知らなかった。	はい	5	花粉症の季節はマスク、あまり外に出ない、おそうじ。ホコリっぽいところは避ける。	n	n
いいえ	1	医師から日誌を記載するように言われていないから。ほとんど治って気がするから。	はい	5	布団をダニ防止にかえ、こまめにそうじをしている。	n	ストレスがたまっていると、せつかくお薬を飲んでいてもせきをしていました。
いいえ	2	医師からつけるように指示されていないから。	いいえ	2	窓をあけて、ホコリを出すようにしている。	n	n
はい	5	病状の参考になるから。	はい	5	掃除は欠かさない。	何もしないよりぜったい良いから。	n
はい	2	・子ども自主的に日誌をつける気がない(無理やり書かせるのが大変)・小学2年生の時からつけているが、外来ではほとんど反映されていないと思う。・親が忙しくて書いたか確認するのを忘れる。・日記を確認したら、子どもに一言声掛けが欲しい(例えば「良く書けたね」)でないし、続けられないと思う(特にイヤイヤ書いている子どもは)	いいえ	5	・ほほ毎日そうじをしている・天気の良い日は布団、枕など干す・カーテンなど定期的に洗たくしているなど	現在はほとんど発作を起こさなくなったが、2年くらい前まで1回/1Wは中発作を起こしていた為、喘息に闘って良いと思われる事(例えばほこりの除去、ふとん干しなど)は何でも行っていた。が、当時は、ほとんど効果がなかった。	学校での生活(特に人間関係)のつまづき、うちの子どもの場合、いじめが原因で発作が起きていた時が多かった。「喘息」という病気が、先生や他の生徒に理解されていないむづかしいとは思うけど、病院と学校との連携を望みます。
はい	5	n	いいえ	5	子供のそばではタバコは吸わない。	タバコは吸わなくなったら多少落ち着いた。	n
いいえ	1	時間がない。	いいえ	5	n	n	n
いいえ	1	医師からつける様に言われていないが、覚えとしては書いておいた方がいいとは思ふ。	はい	2	・犬、猫を飼っているで清掃をこまめにするようにしている。・布団をアクリル100%にしている。	具体的な指示を受けていないので、やり方が解らない。	吸入の事を、友だちは、使うとくせにせんと聞いてるので、少し使用を続けるのは心配しています。
n	n	n	いいえ	5	(例文「毎日掃除をしている」に○印) ほこりの出にくいふとんを使う。ふとんをはずす。空気清浄機の使用。	早く治ってほしいと思う気持ちから出来る事は気を付けてやっている。	n
はい	2	n	はい	5	n	n	n
いいえ	n	(例文「医師から日誌を記載するように言われていないから」に○印) 今日からつけてみたい。	いいえ	3	来年ぜんそく、アトピーに良い家の完成予定「新しい家を買うことに」	家が新しくなったら良くなるかなと思っけて	ぜんそくアトピー 薬を飲んででもなかなか良くならない「夜なかなか寝れない」



N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	喘息がいついつの間にかかっている期間	保護者の割合(%)	小発作	中発作	大発作	定期受診の有無	①・1	①・2	吸入薬の処方	②・1	②・2	③・1	③・2	
																		内服薬の処方
332	母	4	女	4	0.4	0	n	1	1	n	n	n	n	n	n	n	n	
333	母	8	n	1	n	75	1	1	1	はい	5	生まれすぎてすぐに喘息と言われてからずっと定期的 に受診している。	あり	5	長くやっているといつまでつづくのか不安になる。	あり	5	薬がやめられるか心配。
334	母	10	男	0.3	10	50	1	1	1	はい	5	生後まもなくからの発症であるし、生命にかかわる 病氣なので、安定していても常に不安があるため。	あり	5	(インテールは毎日吸入)4月よりフルタイドはなし。 治療薬としての吸入を長期続けることが不安だ が、早く気管支をいい状態に戻すことが大事だと考 えるので、お医者様の指示がある場合は必ず行っ ていた。	あり	5	n
335	母	13	男	3	11	25	4	1	1	はい	5	体の調子を見ていただく(血液検査等)必要がある が、薬の処方のみ時の時もある。	あり	5	予防的に必要であるが、副作用が心配。	あり	5	薬を飲む事で、体質改善は必要であるが、副作用 が心配です。
336	父	12	男	2	10	25	2	1	1	n	n	n	n	n	n	n	n	
337	母	10,12	男女	3	10	n	1	1	1	n	5	n	n	5	n	n	n	
338	母	1	女	0.8	1	0	2	1	1	はい	5	子供が苦しい思いをしない為にも毎日の処置等を 気を付けてる。	あり	5	①-2に同じ	あり	5	①-2に同じ
339	母	10	女	9	0.2	0	1	1	1	はい	4	兄弟で兄の方もぜん息のため受診した方がいいと 思う	なし	n	n	n	n	
340	母	9	男	1	9	75	1	1	1	はい	5	幼児期に毎日発作入院を繰り返していたのでぜん 息の治療には、発作をおこす前の予防が大切だと 実感したため、発作を出さないための治療が必要 だと考えています。	なし	n	n	あり	5	発作を出さない予防薬として毎日飲ませるのは必 要だと考えています。定期的な薬も大切だと思っ ています。
341	母	7	男	3	5	75	2	1	1	n	5	受診をし薬を飲み続けているので。	あり	5	子供の必要に応じて吸入をしている。	あり	5	主治医を信頼しているが副作用が飲みつける事 で将来に不安を多少感じている
342	母	5	女	3	3	75	3	2	1	n	5	n	あり	5	n	あり	5	n
343	母	8	女	4	4	50	3	2	1	はい	5	今のうちにきちんとした治療を行い発作0を目標に したいから→思春期・成人の喘息はさげたい	あり	5	定期治療薬を続ける必要性を感じる	あり	5	(例文「定期治療薬を続ける必要性を感じる」に○ 印)
344	母	11	男	9	2	50	4	1	1	はい	4	n	あり	4	n	あり	4	n
345	母	3	男	1	3	75	3	2	1	はい	5	医師からも定期受診をするように言われたのもあ るが、私自身も子供に早くよくなって欲しいと思っ たから。	あり	5	きちんと治療した方がぜんそくには良いと説明され た。子供も以前よりよくなってきてる。	なし	n	n
346	母	9	女	8	2	75	1	1	1	はい	5	n	あり	5	n	なし	n	n
347	母	4	女	4	0.2	0	n	n	2	はい	4	少しでもぜんそくを治したいからぜんそくの発作を 起こしてほしくないから	あり	2	吸入させたいが、子どもが嫌がるので十分にでき ない。	あり	4	ぜんそくを治したいから
348	母	13	男	11	2	0	2	1	1	はい	5	大きくなってから重症になると子供がかわいそうだ から	n	3	子供自身にまかせているのでつい忘れてしまい 100%にはならない	n	n	n
349	母	14	女	13	1	25	3	1	1	はい	5	定期受診するよう言われているから	あり	5	吸入を全ての回数を行うことは、なかなかむづかし い現況インテールの吸入器の音が大きいので、 もっと音のしないものに変更してほしい。人前でイ ンテールを使用することは勇気のいることだと、親 の立場から見て思います。	あり	3	シングレアを処方されているのだが、味があわな いらしく、なかなか飲もうとしない。
350	母	5	男	3	0.3	0	2	1	1	はい	5	初めて発作が起きた時に、医師より日頃の定期 受診の必要性をわかりやすく説明を受けている 為	なし	n	n	あり	5	(例文「定期治療薬を続ける必要性を感じる」主 治医を信頼している」に○印)
351	母	8	男	2	6	0	4	1	1	はい	5	私自身にぜんそくはないので、どのくらいつらい か、苦しいかわからず、先生に通院が必要と言 われ、通院しています。	なし	n	n	なし	n	n
352	母	7	男	4	4	75	2	2	1	はい	5	n	なし	n	n	なし	n	n
353	母	8	男	6	3	75	2	n	1	はい	5	発作の起きない時間をどれだけ長く保てるかが完 治につながるかと考えているのでお医者さんが必要 と言うことはその通りになっています。	あり	5	必要性を感じているので	なし	n	n
354	母	8	男	3	n	75	2	1	1	いいえ	1	発作が起こってからすぐ受診してお薬をもらって いる。風邪が長引けばやはり早めに対処している。	なし	n	n	なし	n	n
355	母	7	男	3	4	0	2	1	1	いいえ	2	症状が軽いので、医師からの定期受診を勧められ ていることもなく、しかし、少しでも症状が出た場 合はすぐに受診し、吸入をしていただくので、症状が ない状態で受診して他のウイルス感染をしたら困 る	なし	n	n	なし	n	n

喘息日誌 から 言われた 記載を医 師から 言われた 医師から	④ ・ 1 ・ 2	⑤ ・ 1 ・ 2	⑤ ・ 3	自由記 述欄			
n	n	n	n	一応部屋は清潔にしているのですが、医師からこれといった指示は受けていないので、今のところ気をつけようとは思っていません。			
はい	3	発作がおきた時に記入している。	はい	2	掃除を心がけている。	n	n
はい	2	・症状が安定していること ・毎日処方されているもの が変わらず、記載してなくても分かっている(つも り)でいること ・なかなか時間がとれないこと(親の 都合)	はい	5	リフォームし、フローリングにした。ペットは飼わ ない。	n	n
はい	2	・症状が安定していること ・毎日処方されているもの が変わらず、記載してなくても分かっている(つも り)でいること ・なかなか時間がとれないこと(親の 都合)	はい	5	ダニ、ほこりを最小限におさえること、換気、掃除等。	n	n
はい	2	・症状が安定していること ・毎日処方されているもの が変わらず、記載してなくても分かっている(つも り)でいること ・なかなか時間がとれないこと(親の 都合)	はい	5	・たばこを喫煙した ・花火等煙の出るものは、ひか えている ・毎朝一番に部屋のそうじ	・布団等にまめに掃除している ・効果があったと思 う ・たばこをやめてから子供も良くなった気がする	ピークフロー等で毎日の状態を知っているだけでも、 少しの変化からすぐ対応できる様になり、ひどい発 作にはなりにくくなったと思う。
はい	2	日誌をつけるように言われて、本人に書かせるように しているが、毎日の事がなかなか出来ない。	はい	5	掃除をこまめにしている。	n	n
はい	2	体調が良い状態なので記入するのを忘れてしま います。体調に変化がある時は(具合が悪いと)記入する ようにしています。なかなか続けるのがムズカシ いです。	はい	5	・煙、ほこり、ペットの近くにはいかない ・ふとんを洗 う時などに部屋の外へいってもら う ・ふとんにそう じ機をあてる ・ふとんをほこりの通りにくいカバーに する ・IHクッキングヒーター ・たばこをフローリ ングにおさ	・ふとんカバーを変えたら効果がありました。 ・た みからフローリングに変えたのもいい。 ・煙が出な いし、空気を汚さないのIHがいいです。	年齢が9才になったこともあり、体力も出て、風邪も ひきにくくなりました。風邪をひかないとぜん息も誘 発されないで発作もなくなりました。
はい	3	病状の悪化の時には細かく記入するが、毎日とな る億劫である	はい	5	細めに掃除をしている	・気候に応じて敏感に反応する為、天気予報等、季 節の温度に敏感になりやすい ・草アレルギーの反 応が出ているが、家の回りが田園なので飛散時期 になると心配	n
はい	2	n	n	5	n	n	n
はい	2	最初につけていたが発作がでない事が多く、日誌も 異常なしに○をするばかりで変化がない。最近では発 作をおこしても、だいたい何が原因か把握しているの でつけそびれてしまう。	はい	5	掃除しやすいようにものを置かないようにしている。 天気の日には布団を干すようにしている。ぬいぐるみ、 布、ソファは置かない。カーテン(レースのみです)が 洗濯。ペットにはなるべく近づかない。さわったらす ぐに手を洗う。喫煙している人に近づかない。	喘息治療の勉強をされていて必要であると言われている から。	・台風・季節(今の時期) ・冷たい空気をいきなり 吸ってしまう ・花粉 ・心理的なもの(怒られたり) ・食べ物(アレルギー) ・花火などの煙 ・発熱しな い風邪
はい	4	n	はい	2	空気清浄器を使用している	ペットの毛が良くないので掃除をなるべくしたいが忙 しくて毎日ではない	n
はい	5	治療をしているが、毎日つけている	はい	5	掃除をこまめにしている。布団にたまに掃除機を かけている。	特に効果を感じたわけではないが、家にいる分には 現状維持を保てるので。	東海市に住んでいるので公害が気になる。
はい	5	n	はい	5	たばこは外。ふとんを変えた。フローリングにした(た たみ)。ふきそうじをしている。空気清浄機をかつ た。オイルヒーターにした。クーラーをそうじしている。	n	n
はい	1	日誌を記載するように言われていないから	はい	2	掃除をこまめにしてダニやホコリでアレルギー反応を 起こさないようにしたい。	なかなか細かいところまで掃除ができない	n
はい	2	子供にまかせているので手を出さずつもりはない(始め は手を出していた) 口では注意しているけど、やら ない	はい	2	掃除を毎日ではないけど、まめにするようにしている	自分が仕事しているのだから、なかなか手がまわらない	冬などカゼをひかないように気をつけている
はい	3	ピークフローをしているが、毎日日誌に書くのがめん どうであるらしく、まとめて記入している。	はい	5	n	n	n
はい	2	(例文「症状が出ないため、日誌をつける必要はない と考えているから」に○印)	はい	5	(例文「ペットのいる家にはいかせないようしてい る」) 「毎日掃除をしている」(○印) ・家族はタバコを 吸わないが、喫煙者、喫煙所には近づかないよう にしている。 ・家を引っ越した。 ・エアコンのクリーニ ングをきちんとしている。 ・内気と外気温の差が急 におきないようにしている。	n	n
はい	1	日誌をつけるように言われていないから	はい	2	ネコには近づかないように言っている。 ・たばこは 換気扇の下で吸うようにしてもらっている。	特に指示は受けていないから。	n
はい	5	n	はい	5	動物にはあまり近づかせない、気温の変化に注意 している	n	n
はい	5	調子の良いときはほほほがらです。	n	n	n	n	学校側の理解を切望します。例えば、その日の調子 によりマラソンは無理だが、普通の体育の授業なら 受けられるとか、休みの時間、外で遊ぶくらいなら大 丈夫とか。微妙に体調が違うのでいちいちわがまま に聞こえるかもしれませんが、保護者さんのお願いを聞 いてほしいです。できることについては出来るだけや らせて体力をつけたいと思っています。
はい	n	n	はい	5	気温差が激しい日はマスクをして登校させる。ほこり や煙が立っているところを避けるまたはマスクをさせ る。	その時々で薬を続けたり、あらかじめマスクをして防 いだりしているおかげで発作の回数が減り最近では ほとんどでできません。1年に数回出てても1週間くらい薬 を飲めれば良くなります。	n
はい	1	症状が軽いため、喘息の症状が出るのは季節の変 わり目や台風の時、風邪をひいた時なので記載しな くても状況は把握している。	はい	5	n	季節の変わり目など気候の変化やペットには充分気 をつけるようにしている。小さい頃よりだいぶん良くな ってきた。	n

N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	喘息で医療機関にかかっている期間(年)	保護者の割合(%)	小発作	中発作	大発作	定期受診の必要と	①・1	①・2	吸入薬の処方	②・1	②・2	③・1	③・2	
																		内服薬の処方
356	母	7	女	4	2	0	2	1	1	はい	5	定期的に通っていたが今は落ち着いているため、休んでいる。	なし	n	n	なし	n	n
357	母	8	男	1	5	0	4	1	1	はい	5	季節の変わり目や咳が出始めると長くなります。	あり	5	吸入をしないとたんが絡むため毎日する。	なし	n	n
358	母	7	女	3	4	75	2	n	1	いいえ	1	それほどひどいわけではないし、必要とも言われていないため、少しゼイゼイ言い始めたら早めに受診している。	なし	n	n	なし	n	n
359	父	11	男	3	8	50	4	1	1	はい	5	喘息ノート等の医師の指示があったため、次男がアレルギーがあるため	あり	3	本人があまり喘息に関心がないため、投薬の継続が難しい(本人がいやがる)。口うるさくなってしまふ。	あり	3	本人がいやがる(継続が困難)
360	母	11	男	3	8	50	2	1	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
361	母	9	女	5	n	0	2	1	1	いいえ	2	n	なし	n	n	なし	n	n
362	母	11	女	7	4	0	3	2	1	いいえ	1	症状が出なければ薬(受診)は不要だと考えている。	なし	n	n	なし	n	n
363	母	9	男	0.3	9	0	2	1	1	はい	4	季節の変わり目の時が出やすいので、毎日薬は飲んでいる。	あり	4	吸入をすると、胸が楽になるため必要である。	n	n	n
364	母	8	女	4	4	0	2	2	1	はい	5	n	あり	5	n	あり	5	n
365	母	10	女	6	1	0	1	1	1	いいえ	1	小児気管支喘息なので症状が出た場合にはかかりつけのお医者様に診てもらうようになっております。	なし	n	n	なし	n	n
366	母	9	男	3	6	0	1	1	1	いいえ	1	症状が軽く、喘息の咳の出る時期は季節の変わり目、台風、風邪の時と分かっており、咳が出始めたら、すぐに受診し、投薬、吸入の処置をしていただくので、定期的な受診を必要とまでは言われていないため。	なし	5	n	なし	5	n
367	父	10	女	8	2	0	1	1	1	はい	5	n	なし	n	n	あり	5	n
368	母	9	女	5	4	75	2	2	1	いいえ	1	症状が出たときに受診している。	なし	n	n	なし	n	n
369	母	9	女	1	8	75	4	3	2	はい	5	子どもの喘息は重症と言われているから。	あり	5	急に発作になった時、夜間、休日でも受け入れてくれる病院がないと困るから。	あり	5	主治医から続けるよう言われているから
370	母	10	女	3	7	0	2	2	1	いいえ	1	医師から喘息のために定期受診するように言われていないから	なし	n	n	なし	n	n
371	母	12	女	4	8	75	n	n	1	はい	5	医者に通い始めてから毎日薬を飲み続けている為。	なし	n	副作用が少ないと言われているが発作時のみの吸入を指導されている。	あり	5	薬を飲み続けていても風邪等から発作は起こるため。
372	母	9	男	0.8	n	75	3	1	1	いいえ	1	定期受診するように言われてないから	なし	n	n	なし	n	n
373	母	10	男	3	7	50	n	n	n	はい	1	n	なし	n	n	あり	5	n
374	母	10	女	10	0.1	25	3	2	1	はい	2	n	あり	4	n	あり	4	n
375	母	16	男	4	11	25	1	1	1	いいえ	1	ほとんど発作が起きないから。年に1~2回受診して、体調を診てもらったり血液検査をしている	なし	5	あり	5	ずっと薬を飲んでいて症状が安定しているので、飲んだ方がよいと思うから。段々に飲みやすい薬が出てきて、今は夜1回飲めば良いようになった	
376						25	1	1	1	いいえ	1	2年に1度あるかないかだから	なし			なし		
377			男	11	1	75	1	1	1	いいえ								
378	母	16	男	5	11	0	1	1	1	はい	5	重症だとは思ってなかったが、治してあげたいと言う思いで受診していました	あり	5	先生から副作用の事など安心した説明を受けていたので、吸入治療もやりました。(長い期間でしたので、時にはやったり治す事も大治だと言いかせてやってきました)	あり	5	診断されてから、治してあげたいと言う思いで先生を信頼して実施していました
379	母	14	男	2	11	25	1	1	1	いいえ	1	中学生になってから発作を起こさなくなったから	なし			なし		
380	母	14	女	12	2	50	1	1	1	いいえ								
381	母	13	男	9	5	75	3			はい	5	医師から定期診断をするように言われているから	あり	3	年齢が大きくなるにつれて自己管理するようになり、面倒も重なってか日々の状態で(最近発作の回数が減った)吸入しない日々が多くなっている	あり	3	年齢が大きくなるにつれて自己管理するようになり、面倒も重なってか日々の状態で(最近発作の回数が減った)吸入しない日々が多くなっている
382	母	13	男	1.5	5	0	1	1	1	いいえ	1	小学校入学頃から喘息が起きなくなったので、受診せずにすんでいる	なし			なし		
383	母	14	男	3	9	50	1	1	1	いいえ								
384	母	15	男	0	15	25	2	1	1	いいえ	5	主治医から定期受診するように言われていないが、薬を頂きに行きながら(月1回)年に3回ほど受診する。その時の症状に合わせて、薬も変わるかもしれないので。(徐々に少なくなってもらいたいです)			器具も購入し、3歳頃より使用しています。発作は大体が夜中か明け方なので、救急で病院にかからずに発作を抑える事ができ、とても助かります。現在はほとんど使用しないで済んでいます	あり	5	喘息の予防の為に薬なので、飲み忘れのないようにしている。主治医から副作用がない薬だと聞いてはいるが、本当にそうであるかどうか少し不安がある
385	父	12	男	5	5	25	1	1	1	いいえ		子どもの喘息は重症でないと思うから	あり	5		あり	5	
386	母	15	女	1	14	25	4	2	1	はい	5	定期受診は十年以上続けている	あり	5	定期受診して、できるだけ飲み薬を使わないでも普通に生活できるようにしていきたい。何度かフルタイム吸入のみで飲み薬を止めたが、また飲むようになったら発作止めの吸入(ネブライザー)も必要になってくる	あり	5	
387	母	13	女	2	1		1	1	1	いいえ	1	今は症状がないから	なし			なし		
388	母	12	男	2	10	75	2	1	1	はい	5		あり	5		あり	5	

喘息日誌の記載を医師から	④ 1	④ 2	環境整備を医師から	⑤ 1	⑤ 2	⑤ 3	自由記述欄
いいえ	1	医師からぜん息日誌を記載するように言われていないし、子どもの状態が落ちているので日誌をつける必要はないと思っている。	はい	5	ペットは飼わない、なるべくまめに掃除をしている(毎日ではないが)水泳に行かせている、掃除を毎日する。	今年、火花を見に行ったときに煙で喘息を引き起こした。薬を持っていたのですぐ落ち着いた。	精神面でストレスを感じる発作を起こすときが幼稚園の時あったので気を付けている。
いいえ	1	入院の時には日誌をつける。	はい	4	室内のほこり、カビなど。	家族が協力してくれるから。	n
いいえ	1	喘息日誌の存在すら知らなかったし、つけるように言われたこともないため。	いいえ	5	掃除の時は埃が立たないようにしている。(ハタキや掃除機を使わず、ぞうきがけする)。布団をよく干し、干した後、掃除機をかけるようにしている。なるべく室内を綺麗にするようにしている。ペットを飼わない。	効果が感じられる訳ではないが、綺麗な方が気持ちがいいし、喘息にもいいと思うから。	天気が悪く、曇っている日や2月〜3月頃の乾燥している時期は苦手なようなので天候が関係しているみたいです。
はい	2	当初の日誌は行っていました、症状が若干改善されてから医師の指示がなくなったため。	はい	5	ほぼ毎日掃除をしている。雨の日以外、布団を屋外に干している(ハウスタスト、ノミ、ダニ、動物のフケ等の血液検査の数値が悪い)。空気清浄機の設置、絨毯をやめて畳にした。ペットのいる家には行かせないようにしている。	医師の指示。アレルギー、喘息のHPより。	n
はい	5	n	はい	5	家の中でペットは飼わない。なるべく動物はしない。掃除はまめにする。	n	毎日飲む薬に本当に副作用はないのか、正直なところ、疑問になります。小学校2年生のときから薬を変えて1年の間でみるみるうちに太り出しました。小学校6年の5月まで不安ながらもその薬を使用していました、病院を変え、今度の医師にはその薬は必要ないと言われ、今までは何だったのだろうと思いました。もっと患者に薬の説明と選択を願いたいと思っています。
いいえ	2	n	はい	2	なるべくマスクをつけるようにしている	n	n
いいえ	1	症状が出ないため、日誌をつける必要はないと考えているから。	はい	2	掃除、食事、ストレス	n	抵抗力不足
いいえ	1	入院の時は必要です	n	4	埃やカビなど外では風の強い日などはマスクをさせる。	家族が協力してくれるから	n
はい	5	n	いいえ	3	n	n	喘息の発作は人それぞれ季節や台風時期、雨季発作も気圧に関係があったり花粉と関係があったりその時によって毎日薬を飲んだり吸入の回数、種類が違ったりします。
いいえ	n	n	はい	2	毎日掃除機をかける。子どもに自分の部屋の片付けをさせる。外から戻ったら、うがい手洗いを必ず行う。外と家の中の服を必ず別々にし、必ず着替える。	寝る部屋は1日1回(寝る前)にほこりとりモップをかけるようにしている。	n
いいえ	1	日誌を記載するほど症状はひどくない。症状が出る時期は把握しているため。	いいえ	5	毎日掃除している。ペットはなるべく避ける。	医師から指示を受けていないから。幼児期はよく夜中発作が起きていたが、現在は症状がない。	
いいえ	1	症状が出ないため、日誌をつける必要はないと考えているから。	はい	5	徹底した掃除、寝具の管理、精神的負担の軽減。	シーツを毎週代えたら状態が良くなった。自分の経験から(父も喘息を患っている)	n
いいえ	1	症状が出て病院へ行った日をメモしている	いいえ	5	埃に気を付けている。掃除をする。寝室には空気清浄機を使うようにしている。	n	n
はい	5	体調管理のために	いいえ	5	タバコは近くで吸わない	煙で発作が起こるから	n
いいえ	n	医師から記載するように言われていないから	いいえ	2	ペットは家の中で飼わない、全ての部屋をフローリングにした。毎日掃除はしている。	晴れている日は布団を干し、ほこりなどをよくとる。	お友達のお子さんが農家の農薬、バスやトイレの消毒の臭いなどで神経的に揺蕩してしまったり発作を起こしたりしています。家でだけ気をつけるのではなく、学校や周りの方々も発作を分かち合ってもらって協力してもらった方がよいのでは…。ほっておくと命の危険もあると言われたそうです。
はい	5	医師から日誌を記載するように言われているため	はい	5	花粉の飛び季節は山や河原へ行かない。布団を外に干さない。	同上	自然に囲まれているアレルギーがあり。かえって辛いと思うことがある。
いいえ	n	n	はい	5	猫や小動物のいる家には行かせないようにしている。掃除をしている。	n	n
はい	1	n	はい	1	n	n	n
いいえ	1	医師から日誌の話を聞いていない。このアンケートで初めて知った。	いいえ	3	猫がいるところにはなるべく行かせない。空気清浄機をつけるようにした。	n	なるべく冷たい空気を吸わないようにマスクをさせたいけどマスクをするのがお母さんが苦手でやがると困ります。
いいえ	1	現在発作が起きないので、薬の管理も夜1回と簡単になったから	はい	5	なるべく床の部屋にして毎日掃除をしている。シーツの洗濯をまめにする。花粉の時期には乾燥機を使用したり部屋に干したりして、鼻炎にも注意する。	気をつけることで発作が起きることが減ったように思うから。	
いいえ	1	症状がほとんどないため	いいえ	2			
いいえ	3	医師から言われてはなかったが、症状が出始めた時はカレンダーに病状を書き込んでいた(日誌という程ではない)	はい	5	父親はタバコの吸い場所に気を付けている。喘息と診断されたしはばくは、布団や掃除に気合いを入れて気をつけていたが、完璧にやっても発作が起きる時は起きる!「なぜ?」と今度は私自身がストレスやプレッシャーで落ち込む!なので以来普通にやっけて、「その時はその時」と負いすぎず11年間過ぎました		子どもの喘息の度合いで違うと思いますが、私は子どもの苦しむ息の出来ない様子が目に焼き付いてしまっているの、治してあげたいと思う思いで先生が様子を見ましようと言ってくれたまで11年間通いました。小さい時期に関しては1日3回の薬の投与、夜の吸引、念入りの掃除、夜間の救急通院ととても大変でした。けれど子どものためと思い、反面あきらめ、気長に喘息と仲良くしてきたように思います。やっとな先生よりお暇を頂き、以後発作が起こらぬよう祈っている日々であります
いいえ	1	1年以上発作を起こしていないから	はい	5	動物の近くには行かせない。掃除機の前にもモップをかける。お線香など煙の出るもの近くに行かせない。冬は加湿をする	医師の指導を受けてから、続ける事によって良い状態がキープ出来ると思っているので	
いいえ	2	最近安定しているから					H17.1月に喘息と診断されて2年近く治療の為に吸入をしていましたが、H18.11月受診時、少し薬をお休みして様子を見ましようと言われ、今は吸入していません。毎日朝と夜に吸入していましたが、親も声掛けをし、80%以上は実施出来ていたと思います
いいえ	1	医師から日誌を記載するように言われていないし、現在は完治していると思われるから	はい	5	部屋の掃除、ペットの毛など。又冷たい空気(秋の夕方)をなるべく吸わない等	症状が軽くなると家族の意識が薄れてしまっている	学校とか子どもが置かれている場所、周りにいる人間の(喘息とは限らずあらゆる持病)病気に対する意識が薄すぎる
いいえ	1	最近症状がとても軽くなってきているので(小発作で年に何度でもない)あまり必要性を感じない。4、5歳の頃、当時の主治医に日誌を記載するように言われて毎日つけていたが、診察時に何の確認もなく一冊目で終わりにしてしまっ	いいえ	5	毎日掃除。布団はまめに干すが、あまり強くたかす埃を払うようにして取り込む。羽毛布団は使わない。ペットとはあまり接触させない。タバコは換気をして吸ってもらいあまり近づけない。神経質になり過ぎない	医師にアレルギーを調べてもらい、その原因となるものをできるだけ取り除こうと思ったから。保健所の喘息指導に参加し、良いと思う方法を実行してみた	喘息は季節やお天気にも関係があるように感じます。又小さい子どもにはあれもだめ!これもだめ!と神経質になりすぎるあまり、禁止ばかりしてしまっても精神的に良くないように思います。また発作が起きるのでもないかと不安感をかき立てる原因にもなりかねないのではないのでしょうか?
いいえ	1	日誌を記載するように言われてないから	はい	5	羽毛の毛布を使わないようにしている	効果が感じられたから	
はい	1	過去数年は詳しくつけてきたが、今はつけていない	いいえ	5	神経質になりすぎないようにと指導されたので、特に行っていない。動物を飼う時は検査を受けてから飼っている		生活習慣の乱れや何らかの心理的ストレス等も発作の原因になっていると思うので、薬で抑えるだけでなく、継続できる治療法(本人もその気になって続けられるよう)も考えたい
いいえ	1		いいえ	1		症状がないため	
いいえ	1	症状がひどく大変な時期は過ぎているから(ひどい時は自らつけておりました)	はい	5	ペットを触ったらすぐ手を洗う。出かけた時はすべて禁煙席。気候の変化に対応できるように衣服を持ち歩く。本人がいない時に掃除機を動かす。体に触れる物は木綿のものにする		

N	記入者	子どもの年齢(歳)	子どもの性別	子どもが喘息と診断された年齢(歳)	喘息で医療機関にかかっている期間(年)	保護者の関わっている割合(%)	小発作	中発作	大発作	定期受診の必要ないと判断している	①・1	①・2	吸入薬の処方	②・1	②・2	③・1	③・2	
																		①・1
389	母	12	男	4	8	75	4			はい	1	喘息は定期受診が必要だと思いませんでした。担当医師から特に発作がなければ来院せず、毎日薬だけで良いと言われていたので。医師の方から血液検査をするように言われているので、それだけはしています	あり	2	吸入(インタール)は咳が出る時だけ使用しています	あり	5	主治医を信頼しているので、投薬は続いています
390	母	16	男	5	10	75	1	1	1	いいえ	1	しばらく薬を止めていても良いと言われてる。発作も今のところ起きていないから	なし					
391	母	16	女	1	3	0	1	1	1	いいえ	1	喘息が完治いたしましたので受診を考慮しておりません	なし					
392	母	13	男	0.8	13	50	2			はい	3		あり	3		あり	3	
393	母	14	男	3	6	0	2	1	1	いいえ	1	風邪をひいた時に受診するが、その程度で現在は困らない	なし					
394	母	15	女	4	11	25	5	3	1	はい	5		あり	3		あり	3	
395	母	13	女	8	4	50	2	1	1	いいえ	3		なし			あり	2	喘息になってから毎日内服薬を飲んでいましたが、発作が年に1度位しか起こらなくなってから本人が飲みたがらず、現在は内服治療をしていない
396	母	14	女	10	4	0	2	1	1	はい	5	きちんと内服すれば発作が出ないので	なし			あり	5	きちんと内服すれば発作が出ないので
397	母	14	男	8	4	50	1	1	1	いいえ	1	喘息の薬を常備しており、少しせいでいすれはすく薬を飲んで、近所のかかりつけ医院に行くことで対処するように考えているから(ここ数年発作がないから)	なし					
398	母	17	女	1	4	75	1	1	1	いいえ	1	現在喘息は起きていない(3年以上)。喘息の治療は定期的には8歳までで終了。中学生の時風邪をこしらせて、喘息様になりましたが、その後はありません	なし					
399	母	13	男	8	3	75	1	1	1	いいえ	1	ここ3~4年症状が出ないので	なし					
400	母	14	女	2	12	25	2	1	1	はい	5	医師から治療終了の指示が出るまでは通院しようと思っている	あり	5	服用するより吸入のほうが副作用が少ないと言われたため	あり	5	発作の回数が少なくなる時を見計らって薬を減らしている
401	母	13	男	4	3	50	1	1	1	いいえ	1	ここ数年小発作さえなく、出てもせいぜい軽い咳だけなので、環境改善(掃除など)で対応できていると思う	なし					
402	母	16	男	5	10	25	1	1	1	いいえ	1	体調(風邪)などで、定期でなくても診ていただいているから	なし					
403	母	12	女	5	7	75	2	2	1	いいえ	2	定期受診するようになっていないから	なし	n	n			

喘息日誌 から 言われた 記載を 医	④ ・ 1	④ ・ 2	環境 整備 を 医師 から 言 わ れ た	⑤ ・ 1	⑤ ・ 2	⑤ ・ 3	自由 記 述 欄
いいえ	1	5年位は自分なりに、喘息にかぎらず朝・夕の体温、体調について記入していましたが、現在は安定しているのをつけていません。又、主治医の方から喘息日誌について言われたことはありません	いいえ	5	部屋の空気が汚れないよう気をつけている。布団カバー、シーツにも気をつけて専用のものを使用している		現在家庭ではほとんど発作を起していませんが、風邪の時は影響が出ているようです。又、本人に聞くと走ったりすると雑音が聞こえるようです
いいえ	1	発作がないので	はい	5	布団を防ダニ加工のものを使用している	布団の埃で発作が起きてしまうことがあったが、防ダニ加工の布団とカバーで埃が出にくくなっている。発作も起こさなくなっている	
いいえ	1	喘息を患っていた時期に、医師から言われたことはありませんでした。小さなメモは(たまにですが)書き留めていたように記憶しています	いいえ	1	以前のことで、ぬいぐるみを全て生活する場所から除きました。毎日お掃除をして環境を整えていたように思います		
いいえ	2		はい	5	布団を干した後掃除機をかけている		学校行事などで、疲労が重なるとう発作も出やすいように思われるので、なるべく夜は早く休ませるなどして気をつけている
いいえ	1	特に症状がなく必要がない	はい	5	家でタバコを吸う人はいない。タバコの煙に近づかない。部屋の掃除。身体の清潔(手洗い、うがい、洗髪)。衣服の清潔。風邪をひかないようバランス良い食事。十分な睡眠	風邪をひくと咳が出て苦しくなるのがつらいので、風邪をひかない体作りが良い。	息子はアレルギー(花粉等)がひどく、土埃の中での運動は胸が痛くなりつらかったのですが、鼻が悪く口からの呼吸をしているのが原因では？と耳鼻科に行き、鼻の中をレーザーで焼いて鼻の通りをよくしたことで、鼻呼吸ができるようになり、とても楽になったようです
いいえ	2		いいえ	2	外食は必ず禁煙席で、煙のある場所では風上に立たせる。布団で遊ばせない		
いいえ	1	特に症状が無いため	はい	5	掃除(布団)。空気清浄器	アレルギーが原因なので気をつけている	疲れや寝不足等している時に発作が起こるように感じる
いいえ	1	症状が出ないので、日誌の必要は感じない	いいえ	5	畳→殺菌、まめに表替え。フローリング→朝夕拭き掃除。ベット、タバコ不可。布団、クーラー→年1回クリーニング	喘息に悪いと言われているものは極力排除しようと思う	
いいえ	1		いいえ	2	タバコを吸う家人には屋外で吸うようにしてもらっている。ペットを飼わないようにしている。レストラン等混んでいても禁煙席が空くまで待っている		
いいえ	1	高1、2年と欠席が0で体調が良い。高3で3日欠席してしまいましたが、体力がついて日誌をつけなければという心配や不安がない	はい	5	毎日朝夕のモップかけ、掃除機かけ。定期的なカーテンの洗濯(半年に一度)エアコンのフィルターをこまめに掃除。布団をよく干す。埃は掃除機で吸ったりしている	子どもの健康を考えたら、出来ることはやろうと思う。実際のところ、したからといって変化を感じたことはないが、リスクは取り除くことがベストだと思うから	
いいえ	1	症状が出ないため	いいえ	5	布団はたたかず掃除機の専用ノズルで吸う	なんとなく、たたくと余計に埃が出るので	ストレス
いいえ	1	記載するように言われていないため	いいえ	5	空気清浄器を使用している。羽毛布団は使用していない	なるべく埃を立てないようにする	気圧の変化。台風接近など。風邪をひくこと。車の排気ガス
いいえ	1	ここ数年症状がないから	いいえ	5	ダニや埃がアレル源となっているのが血液検査でわかっているため、本人に部屋の掃除や布団干しをなるべくこまめに行わせている	掃除や布団干しによって症状が実際に軽減するか、なくなるため	
いいえ	1	ほとんど症状はないため	いいえ	5	タバコは屋外で吸うようにしている。ベットのいる家には行かせないようにしている。毎日掃除をしている		
いいえ	2 (カレンダーに記入)		はい	5	禁煙、掃除をまめに	古い家から新しい家に移ったら発作が少なくなったから、布団を変えた。手作りヨーグルトを食べ続けたらその年は喘息がでなかった。大きなストレスをかからないようにしている。	



# みなさんのご意見を きかせてください



## あなたのことを おしえてください

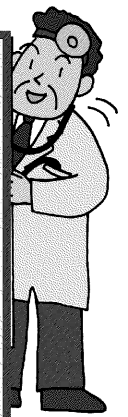
ねんれい なんさい さい  
**年齢は何歳ですか：( )歳**

せいべつ  
**性別は？ 男・女**

そく くすり ちりょう じぶん  
**ぜん息の薬や治療をどのくらい自分でしていますか？**

( **0%**      **25%**      **50%**      **75%**      **100%** )

親(おや)にすべて 親がほとんど 親と自分が ぜんぶではないけど 自分ですべて  
 まかせている とどき自分でも はんぶんずつ だいたい自分で やっている



さいきん か げつ ほっさ かいすう  
**最近3ヶ月のあなたの発作の回数はどのくらいでしょうか。**

しょう ほっさ ちゅう ほっさ だい ほっさ なか くだ  
**小発作・中発作・大発作それぞれについてあてはまる( )の中に○をつけて下さい。**

<p style="text-align: center;"><b>小発作</b></p> <p>少しぜいぜいするくらいで、いつもの生活は普通にできるくらいの発作。</p>	<p>( ) まったくない                      ( ) 3ヶ月に1回くらいある                      ( ) 月に1回以上あるが、週に1回以上はない                      ( ) 週に1回以上あるが、毎日ではない                      ( ) ほぼ毎日ある</p>
<p style="text-align: center;"><b>中発作</b></p> <p>明らかにぜいぜいしていて苦しい感じがして横にはなれるけど時々起きてしまうくらいの発作</p>	<p>( ) まったくない                      ( ) 3ヶ月に1回くらいある                      ( ) 月に1回以上あるが、週に1回以上はない                      ( ) 週に1回以上あるが、毎日ではない                      ( ) ほぼ毎日ある</p>
<p style="text-align: center;"><b>大発作</b></p> <p>息が苦しくて横になれず、話すこともほとんどできず、まったくねむることができないくらいの発作</p>	<p>( ) まったくない                      ( ) 3ヶ月に1回くらいある                      ( ) 月に1回以上あるが、週に1回以上はない                      ( ) 週に1回以上あるが、毎日ではない                      ( ) ほぼ毎日ある</p>

01. <sup>つういん</sup> 通院についてお聞きします。

1-1 <sup>いしや</sup> お医者さんに、<sup>そく</sup> ぜん息のために<sup>ほっさ</sup> 発作がなくても<sup>びやういん</sup> 病院に来るように<sup>いわ</sup> 言われていますか？  
あてはまる ( ) の中に○をつけてください。

( ) はい ( ) いいえ ( ) わからない

1-2 <sup>そく</sup> ぜん息のために、<sup>ほっさ</sup> 発作がなくても<sup>びやういん</sup> 病院にかよっていますか？  
あてはまる ( ) の中に○をつけてください。

- ( ) 病院にかよっていない
- ( ) 病院にかよおうとしているがなかなかできない
- ( ) 病院にかよう<sup>よてい</sup> 予定である
- ( ) 病院にかよ<sup>いしやう</sup> いはじめて6ヶ月たっていない(今年の4月より後にかよいはじめた)
- ( ) 6ヶ月以上(今年の4月より前から)、病院にかよっている

1-3 <sup>そく</sup> ぜん息のために、<sup>ほっさ</sup> 発作がなくても<sup>びやういん</sup> 病院にかようことを<sup>おも</sup> どう思いますか？  
<sup>じぶん</sup> 自分のきもちに<sup>ちか</sup> いちばん<sup>なか</sup> 近い ( ) の中に○をつけてください。

- ( ) 病院にかよったほうがよいと思う
- ( ) 病院にかよいたくない
- ( ) どちらでもいい

1-4 <sup>うえ</sup> 上の<sup>こた</sup> ように<sup>りゆう</sup> 答えた理由を、<sup>れい</sup> 例を<sup>さんこう</sup> 参考に<sup>か</sup> できるだけくわしく書いてください。

例: ぼく(わたし)のぜん息はひどくないと思うから / ひどいと思うから  
お父さんがつれていってくれないから 行かないとお母さんがおこるから  
<sup>ほか</sup> 他にやりたいことがたくさんあるから... 病院のかえりにすきなものをかってもらえるから



Q2. <sup>そく</sup> <sup>きゅうにゆうやく</sup> <sup>す</sup> <sup>くすり</sup> <sup>しつもん</sup> ぜん息の吸入薬（吸うお薬）についての質問です。

2-1 <sup>いしや</sup> <sup>そく</sup> <sup>まいにち</sup> <sup>きゅうにゆうやく</sup> お医者さんから、ぜん息のために毎日する吸入薬をもらっていますか？  
あてはまる（ ）の中に○をつけてください。

( )はい

( )いいえ

( )わからない

└─> いいえのときはつぎのページのQ3にすすんでください

2-2 <sup>まいにち</sup> <sup>きゅうにゆうやく</sup> 毎日の吸入薬について、あなたにはどれがいちばんあてはまりますか？  
あてはまる（ ）の中に○をつけてください。

( )吸入薬をもらっているけれども、ぜんぜん吸入していない

( )吸入するつもりはあるのだけれど、ほとんどできていない

( )吸入をしているけれど、ときどき(1週間に1回よりおおく)わすれる

( )吸入をわすれることはほとんどないが、はじめてから6ヶ月<sup>かげつ</sup>たっていない

( )吸入をわすれることはほとんどなく、はじめてから6ヶ月<sup>いじょう</sup>以上たっている

2-3 <sup>そく</sup> <sup>まいにちきゅうにゆう</sup> <sup>おも</sup> ぜん息のために、毎日吸入することをどう思いますか？  
<sup>じぶん</sup> <sup>ちか</sup> <sup>なか</sup> 自分のきもちにいちばん近い（ ）の中に○をつけてください。

( )吸入したほうがよいと思う

( )吸入したくない

( )どちらでもいい

2-4 <sup>うえ</sup> <sup>こた</sup> <sup>りゆう</sup> <sup>れい</sup> <sup>さんこう</sup> <sup>か</sup> 上のように答えた理由を、例を参考にできるだけくわしく書いてください。

例：<sup>ほっさ</sup> <sup>まいにちきゅうにゆう</sup> 発作がないので毎日吸入しなくていいとおもった 吸入するのがめんどうだから  
吸入をしていると発作<sup>かあ</sup> <sup>おこ</sup>が起きないから 吸入しても発作<sup>しかん</sup>がおきるから  
吸入しないとお母さんに怒られるから 吸入に時間<sup>じかん</sup>がかかるから  
吸入はのみ薬<sup>くすり</sup>よりもかんたんにできるから

Q3. <sup>そく</sup> <sup>くすり</sup> <sup>しつもん</sup> ぜん息のみ薬についての質問です。

3-1 <sup>いしや</sup> <sup>そく</sup> <sup>まいいち</sup> <sup>くすり</sup> お医者さんから、ぜん息のために毎日のむ薬をもらっていますか？  
あてはまる ( ) の中に○をつけてください。

( ) はい ( ) いいえ ( ) わからない

└─> いいえのときはつぎのページのQ4にすすんでください

3-2 <sup>まいいち</sup> <sup>くすり</sup> 毎日のみ薬について、あなたにはどれがいちばんあてはまりますか？  
あてはまる ( ) の中に○をつけてください。

- ( ) のみ薬をもらっているけれども、ぜんぜんのんでいない
- ( ) 薬をのむつもりはあるのだけれど、ほとんどのんでいない
- ( ) 薬をのんでいるけれど、ときどき(1週間に1回よりおおく)わすれる
- ( ) 薬をのむのをわすれることはほとんどないが、はじめてから6ヶ月たっていない
- ( ) 薬をのむのをわすれることはほとんどなく、はじめてから6ヶ月以上たっている

3-3 <sup>そく</sup> <sup>まいいちくすり</sup> <sup>おも</sup> ぜん息のために、毎日薬をのむことをどう思いますか？  
<sup>じぶん</sup> <sup>ちか</sup> <sup>なか</sup> 自分のきもちにいちばん近い ( ) の中に○をつけてください。

- ( ) 薬をのんだほうがよいと思う
- ( ) 薬をのみたくない
- ( ) どちらでもいい

3-4 <sup>うえ</sup> <sup>こた</sup> <sup>りゆう</sup> <sup>れい</sup> <sup>さんこう</sup> <sup>か</sup> 上のように答えた理由を、例を参考にできるだけ詳しく書いてください。

例: <sup>ほっさ</sup> <sup>くすり</sup> 発作がないのでお薬をのまなくてもいいとおもった 薬がまずいから  
薬をのんでいれば発作がおこらないから 薬をのんでも発作がおきるから  
<sup>いしや</sup> <sup>とう</sup> お医者さんがのみなさいというから 薬をのまないとお父さんにおこられるから

Q4. <sup>そく</sup> <sup>にっし</sup> <sup>にっき</sup> <sup>か</sup> <sup>しつもん</sup>  
ぜん息日誌（日記）を書くことについての質問です。

4-1 <sup>いしや</sup> <sup>そく</sup> <sup>そく</sup> <sup>にっし</sup> <sup>にっき</sup> <sup>か</sup>  
お医者さんから、ぜん息のためにぜん息日誌や日記を書くようにいられていますか？  
あてはまる（ ）の中に○をつけてください。

( )はい ( )いいえ ( )わからない

4-2 <sup>そく</sup> <sup>にっし</sup> <sup>にっき</sup>  
ぜん息日誌（日記）について、あなたにはどれがいちばんあてはまりますか？  
あてはまる（ ）の中に○をつけてください。

- ( )日誌は、ぜんぜんつけていない
- ( )日誌をつけるつもりはあるのだけれど、ほとんどできていない
- ( )日誌をつけているが、ときどき(1週間に1回よりおおく)わすれる
- ( )日誌をつけるのをわすれることはほとんどないが、はじめてから6ヶ月たっていない
- ( )日誌をつけるのをわすれることはほとんどなく、つけはじめてから6ヶ月以上たっている

4-3 <sup>そく</sup> <sup>にっし</sup> <sup>だれ</sup>  
ぜん息日誌をつけているばあい、つけている人は誰ですか？

- ( )ほとんど自分でつけている
- ( )<sup>おや</sup>親といっしょにつけている
- ( )ほとんど親がつけている

4-4 <sup>そく</sup> <sup>にっし</sup>  
自分で、ぜん息日誌をつけることをどう思いますか？

- ( )日誌をつけたほうがよいと思う
- ( )日誌をつけたくない
- ( )どちらでもいい

4-5 <sup>うえ</sup> <sup>こた</sup> <sup>りゆう</sup> <sup>れい</sup> <sup>さんこう</sup> <sup>か</sup>  
上のように答えた理由を、例を参考にできるだけ詳しく書いてください。

例：<sup>にっし</sup> <sup>にっし</sup> <sup>いしや</sup> <sup>じぶん</sup> <sup>にっし</sup> <sup>かあ</sup>  
日誌をつけるとお医者さんにほめられるから 日誌をつけないとお母さんがおこるから  
<sup>にっし</sup> <sup>にっし</sup> <sup>にっし</sup>  
日誌をつけていると自分のからだのことがわかるから 日誌をつけるのがめんどうだから  
<sup>にっし</sup> <sup>りゆう</sup>  
日誌をつける理由がわからないから 日誌をつけてもお医者さんはみしてくれないから

05. 発作ほっさがおきおないように、いつもの生活せいかつで気きをつけていることについての質問しつもんです

5-1 お医者さんいしやから、発作ほっさがおきおないように気きをつけるようにいわれていますか？  
あてはまる（ ）の中なかに○をつけてください。

( )はい                      ( )いいえ                      ( )わからない

5-2 発作ほっさがおきおないように、いつもの生活せいかつでどんなことことに気きをつけていますか。  
例れいを参考さんこうにできるだけくわしく書いてください

例: かたづけかたづけを毎日まいにちしている                      ぬいぐるみぬいぐるみをかうかうのをがまんしている  
花火はなびやけむりけむりに近づちかづかない                      みずかぶりみずかぶりをしている  
イヌいぬをかうかうのをがまんしている                      ネコねこのいる家いえにいかない

5-3 上うへのように気きをつけている理由りゆうを、例れいを参考さんこうにできるだけくわしく書いてください

例: へやへやをきれいきれいにしたら、発作ほっさがおこおらないから                      けむりけむりをすすったら苦くるしかったから  
かたづけかたづけをしないとお父さんとうさんにおこおられるから                      ネコねことあそあんだら発作ほっさがおこおったから

まえ か そく ちりょう  
前のページに書いたことのほかに、ぼく(わたし)のぜん息の治療をするのに、  
かんけい ちりょう  
関係していること(治療をするのにじゃまになっているもの、治療をするのに  
じゆう か  
たすけになるもの)があればここに自由に書いてください。

しつ もん お  
これで質問は終わりです。  
ありがとうございました。



# 皆様のご意見をお聞かせ下さい



薬がめんどくさい

やる気が起こらない

よく眠れない

環境整備が大変

お薬をやっても発作が出る

病院に来るのが大変

## あなたとお子様のことをおしえてください

記入者： 父 母 その他( )

お子様の現在の年齢：( )歳      お子様の性別： 男・女

お子様がぜん息と診断された年齢：( )歳

お子様のぜん息で医療機関にかかっている期間：( )年間

お子様のぜん息の治療において、保護者が関わっている割合は？

( 0% 25% 50% 75% 100% )

こどもがすべてやっている      保護者がすべてやっている

最近3ヶ月のあなたのお子様の発作の回数ほどのくらいでしょうか。小発作、中発作、大発作のそれぞれについてお答えください。

小発作	少しせいぜいが聞こえる程度で、日常生活に支障がない。	<input type="checkbox"/> まったくない <input type="checkbox"/> 3ヶ月に一回程度ある <input type="checkbox"/> 月に一回以上あるが、週に一回以上はない <input type="checkbox"/> 週に一回以上あるが、毎日ではない <input type="checkbox"/> ほぼ毎日ある
中発作	明らかにせいぜいが聞こえる。横にはなれるが、呼吸困難がある。	<input type="checkbox"/> まったくない <input type="checkbox"/> 3ヶ月に一回程度ある <input type="checkbox"/> 月に一回以上あるが、週に一回以上はない <input type="checkbox"/> 週に一回以上あるが、毎日ではない <input type="checkbox"/> ほぼ毎日ある
大発作	著明なせいぜいと呼吸困難。横になれない。唇が紫色になる。	<input type="checkbox"/> まったくない <input type="checkbox"/> 3ヶ月に一回程度ある <input type="checkbox"/> 月に一回以上あるが、週に一回以上はない <input type="checkbox"/> 週に一回以上あるが、毎日ではない <input type="checkbox"/> ほぼ毎日ある

**定期受診（発作がなくてもぜん息のために病院を受診すること）についてお聞きします。**

**Q1.**

現在医師から、ぜん息のために定期的な受診が必要だと言われていますか？

はい

いいえ

\*どちらに回答された方も右の質問にお答えください。

**①-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？**

- ( ) 定期受診させるつもりはない
- ( ) 定期受診を始めようと考えているがなかなかできない
- ( ) 定期受診を始めようと考えていて、予定を組もうとしている
- ( ) 定期受診を始めて半年以内である
- ( ) 半年以上定期的に受診している

**①-2 ①-1と回答された理由を、例を参考になるべく詳しく具体的にお答えください。**

例：医師からぜん息のために定期受診すると言われていないから  
子どものぜん息は重症でないと思うから/重症だと思うから  
家族が受診に協力してくれないから/協力してくれるから  
他にやりたいことが(やるべきことが)たくさんあるから…

**ぜん息の治療薬（吸入）についてお聞きします。**

**Q2.**

ぜん息の治療のために、吸入の定期治療薬（毎日定期的に使う薬）を処方されていますか？

はい

いいえ

\*「はい」の方のみ右の質問にお答えください。

**②-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？**

- ( ) 定期治療薬の投与は受けているが吸入させるつもりはない
- ( ) 吸入させるつもりなのだが、ほとんどできていない
- ( ) 吸入させるつもりなのだが80%未満の実施率である
- ( ) 80%以上実施できていて、始めてから半年以内である
- ( ) 80%以上実施できていて、始めてから半年以上続けている

**②-2 ②-1と回答された理由を、例を参考になるべく詳しく具体的にお答えください。**

例：定期治療薬を続ける必要性を感じない/感じる  
薬の副作用が心配だ/副作用が少なくて安心だ  
吸入に時間がかかる/補助具の手入れが面倒だ

**ぜん息の治療薬  
(内服)について  
お聞きします。**

**Q3.**

ぜん息の治療のために、  
内服の定期治療薬  
(毎日定期的に使う薬)  
を処方されていますか？

はい

いいえ

\*「はい」の方のみ右の  
質問にお答えください。

**③-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？**

- 定期治療薬の投与は受けているが飲ませるつもりはない
- 飲ませるつもりなのだが、ほとんどできていない
- 飲ませるつもりなのだが、80%未満である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以内である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以上続けている

**③-2 ③-1と回答された理由を、例を参考になるべく詳しく  
具体的にお答えください。**

例：定期治療薬を続ける必要性を感じる/感じない  
薬の副作用が心配だ/副作用が少なくて安心だ  
主治医を信頼している/信頼できない

**ぜん息日誌の記載に  
ついてお聞きします。**

**Q4.**

ぜん息の治療のために、  
ぜん息日誌を記載するよ  
うに医師から言われてい  
ますか？

はい

いいえ

\*どちらに回答された方  
も右の質問にお答えくだ  
さい。

**④-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？**

- 日誌をつけるつもりはない
- 日誌をつけるつもりなのだが、ほとんどできていない
- 日誌をつけているが、80%未満である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以内である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以上続けている

**④-2 ④-1と回答された理由を、例を参考になるべく詳しく  
具体的にお答えください。**

例：医師から日誌を記載するよう言われていないから  
日誌を記載しても診察時に医師に確認してもらえないから/もらえるから  
日誌は病状の参考になると実感しているから  
症状が出ないため、日誌をつける必要はないと考えているから



環境整備  
(発作を  
起こさな  
いために  
日常生活  
で気をつ  
けている  
こと)に  
ついてお  
聞きしま  
す。

Q5.

ぜん息の治  
療のために、  
環境整備を  
するように医  
師から言わ  
れていますか？

はい

いいえ

\*どちらに回  
答された方も  
右の質問に  
お答えくださ  
い。

⑤-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？

- 環境整備に気をつけようとは思っていない
- 環境整備に気をつけようと思っているが、ほとんどできていない
- 環境整備に気をつけようと思って、準備をしている状態である
- 環境整備に気をつけていて、始めてから半年以内である
- 環境整備に気をつけていて、始めてから半年以上続けている

⑤-2 環境整備についてどのようなことを気をつけていますか？

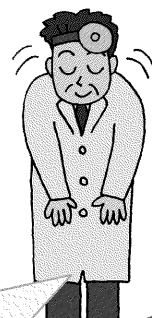
例を参考に、なるべく詳しく具体的にお答えください。

例: たばこは屋外で吸うようにしている/禁煙した  
ペットのいる家には行かせないようにしている  
毎日掃除をしている

⑤-3 ⑤-1と回答された理由を、例を参考になるべく詳しく  
具体的にお答えください。

例: 布団をかえたら、効果を感じられたから/効果を感じられなかったから  
家族が協力してくれるから/協力してくれなかったから  
医師からの指示を受けていないから

上記以外で、お子様の気管支ぜん息の治療に影響を与えていると思われることを  
どんなことでもいいので、お書きください。



ご協力、ありがとうございました。

き かんし      ぞく      ちりょうじょうきょう  
気管支ぜん息の治療状況についてのアンケート

このアンケートは、みんなが気管支ぜん息の治療をどんな風にやっているかを調べるものです。この結果をふまえて、みんなの治療がよりよいものになるようにするためにやっています。自分が思ったり感じたりしたとおりに答えてください。

すこ    むづか      ことば    い    み      ばあい      おとな  
少し難しい言葉や意味がわからないことがあった場合には、大人の人に聞いて、できるだけ答えてください。

こた  
答えたくない質問については何も書かなくてもかまいません。

きょうりょく      ねが  
ご協力、よろしくお願いいたします。

## 定期受診

病院に通うことについてお聞きします。

Q1 病院の先生に、ぜん息のために発作がなくても病院に通うように言われていますか？

はい いいえ

\* 全員、下の質問にお答えください。

①-1 ぜん息のために、発作がなくても病院に通っていますか？

あてはまる ( ) の中に○をつけてください。

- ( ) 病院に通っていない
- ( ) 病院に通おうとしているがなかなかできない
- ( ) 病院に通う予定である
- ( ) 病院に通い始めて6ヶ月たっていない
- ( ) 6ヶ月以上、病院に通っている

①-2 ぜん息のために、発作がなくても病院に通うことをどう思いますか？

自分の気持ちに一番近い ( ) の中に○をつけてください。

1. 病院に通っていると安心できる。

- 大変そう思う 少しそう思う
- あまりそう思わない 全くそう思わない

2. 病院に通っているとぜん息の発作がおきなくなってきた。

- 大変そう思う 少しそう思う
- あまりそう思わない 全くそう思わない

3. 病院に通っていると大きくなったときぜん息が悪くならなくてよい。

- 大変そう思う 少しそう思う
- あまりそう思わない 全くそう思わない

4. 病院に通っているとぜん息を早く治すことができる。

- 大変そう思う 少しそう思う
- あまりそう思わない 全くそう思わない

5. 病院びょういんに通かよっていると発作ほっさのために学校がっこうを休やすまなくてもよい。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

6. 発作ほっさがなくてもぜん息そくちりょう治療びょういんのために病院かよに通ひつようことは必要ひつようだ。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

7. 病院びょういんの先生せんせいが好すき。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

8. 病院びょういんの先生せんせいが怖こわい。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

9. 病院びょういんに通かよっているとぜん息そくい以外がいのことも相談そうだんできる。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

10. 病院びょういんに通かよっているとぜん息そくについて知しることができる。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

11. 病院びょういんに通かようとお金かねがかかる。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

12. 病院びょういんに通かようのは当あたり前まえだ (習慣しゅうかんになっている)。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

13. 病院びょういんに通かようのは時じ間かんがかかる。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

14. 病院びょういんに通かようのは面めん倒どうくさい。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

15. 病院びょういんに行くいと楽しいたのことや、いいいことがある。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

16. 親おや（家族かぞく）が病院びょういんに連れて行つてくれるい。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

17. 病院びょういんに行くいと親おや（家族かぞく）にほめられる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

18. 病院びょういんに行かないいと親おや（家族かぞく）にしかられる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

19. 親おや（家族かぞく）から病院びょういんに通かようように言いわれているおや（親おやに従したがう）。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

20. 親おや（家族かぞく）が病院びょういんに通かよわなくてもよいと言いっている。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

21. 病院びょういんに通かようのを親おや（家族かぞく）が協きょうりょく力りょくしてくれない（自分じぶんは行いきたいが行いけない）。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

22. 病院びょういんに通かようために学がっこう校がっこうや習ならい事ことを欠けつ席せき遅ち刻こく早そう退たい（早はや引ひき）したくない。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

23. 私わたしは（僕ぼくは）忙いそがしくて病びょういん院いんに通かよえない。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

24. 受じゅ診しんを忘わすれてしまう。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

25. 定期受診ていきじゅしんしないとぜん息ぜんそくが悪わるくなると思おもう。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

26. 発作ほっさの時ときだけ受診じゅしんすればよい。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

27. 一人ひとりでは受診じゅしんできない。

大変たいへんそう思おもう

少しすこそう思おもう

あまりおもそう思おもわない

全くまったそう思おもわない

## 定期吸入

ぜん息の吸入薬（吸うお薬）についての質問です。

Q2 病院の先生から、ぜん息のために毎日する吸入薬（定期吸入）をもらっていますか？  
\* 定期吸入＝毎日する吸入薬のこと。

はい いいえ わからない

\* 「はい」と答えた人だけ、②-1と②-2の質問に教えてください。

②-1 定期吸入について、あなたにはどれがいちばんあてはまりますか？

- ( ) 吸入薬をもらっているけれども、ぜんぜん吸入していない
- ( ) 吸入するつもりはあるのだけれど、ほとんどできない
- ( ) 吸入をしているけれども、ときどき（1週間に1回よりおおく）  
わすれる
- ( ) 吸入をわすれることはほとんどないが、はじめてから6ヶ月  
たっていない
- ( ) 吸入をわすれることはほとんどなく、はじめてから6ヶ月た  
っている

②-2 それぞれの文について、自分のきもちにいちばん近いものを選んでください。

1. 定期吸入を続けることは必要だ。

- 大変そう思う 少しそう思う
- あまりそう思わない 全くそう思わない

2. 定期吸入は効いている。

- 大変そう思う 少しそう思う
- あまりそう思わない 全くそう思わない

3. 定期吸入をすると発作がおきなくなる。

- 大変そう思う 少しそう思う
- あまりそう思わない 全くそう思わない

4. 定期吸入てい ききゅうにゅうをするとぜん息ぜんそくを早くはや治せるなお。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

5. 調子ちょうしが良かったよため定期吸入てい ききゅうにゅうを続けるつづる必要ひつようはない。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

6. 定期吸入てい ききゅうにゅうは時間じかんがかかる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

7. 定期吸入てい ききゅうにゅうは吸入きゅうにゅうご後のうがいめんどうが面倒である。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

8. 定期吸入てい ききゅうにゅうは飲み薬の くすりよりも簡単かんたんである。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

9. 定期吸入てい ききゅうにゅうは味がいやだあじ。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

10. 定期吸入てい ききゅうにゅうは忙しいいそがいため忘れてわすてしまう。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

11. 吸入ステロイドきゅうにゅうの定期吸入てい ききゅうにゅうは、副作用ふくさようが心配しんぱいである。

※副作用ふくさよう＝薬物やくぶつの、病気びょうきを治す作用なおすさようとは別の作用べつ さよう。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

12. 定期吸入てい ききゅうにゅうは副作用ふくさようが少ないすく。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも



13. 定期吸入ていききゅうにゅうをしないと親おや（家族かぞく）にしかれる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

14. 定期吸入ていききゅうにゅうをすることが面倒めんどうである。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

15. 定期吸入ていききゅうにゅうすると親おや（家族かぞく）にほめられる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

16. 定期吸入ていききゅうにゅうをするように親おや（家族かぞく）にいわれる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

17. 定期吸入ていききゅうにゅうすると安心あんしんできる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

18. 定期吸入ていききゅうにゅうをしていると喘息ぜんそくがわるくならない。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

19. 定期吸入ていききゅうにゅうをするように病院びょういんの先生せんせいからいわれている。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

20. 定期吸入ていききゅうにゅうをするように病院びょういんの先生せんせいからいわれていない。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

21. 病院びょういんの先生せんせいの言うこといは信用しんようできない。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

22. 定期吸入ていききゅうにゅうの準備おやを親おや（家族かぞく）がかしてくれる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

23. 定期吸入てい ききゅうにゅうするときおもに親おや（家族かぞく）が手伝てつだってくれる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

24. 定期吸入てい ききゅうにゅうのやり方かたが難むづかしい。

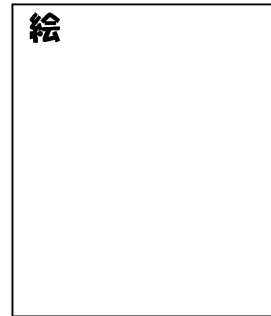
大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

絵



## 定期内服

ぜん息ぜんそくののみ薬のみぐすりについての質問しつもんです。

Q3 病院びょういんの先生せんせいから、ぜん息ぜんそくのために毎日まいにちのお薬くすり（定期内服ていきないふく）をもらって  
いますか？ \* 定期内服ていきないふくとは毎日まいにちのお薬くすりのことです。

はい いいえ わからない

\* 「はい」と答えた人だけ、③-1と③-2の質問しつもんに答えてください。

③-1 定期内服ていきないふくについて、あなたにはどれがいちばんあてはまりますか？

- ( ) のみ薬のみぐすりをもらっているけれども、ぜんぜんぜんぜんのんでいない  
( ) 薬くすりをのむつもりはあるのだけれど、ほとんどのんでいない  
( ) 薬くすりをのんでいるけれど、ときどき（1週間に1回よりおおく）  
わすれる  
( ) 薬くすりをのむのをわすれることはほとんどないが、はじめてから  
6ヶ月かげつたっていない  
( ) 薬くすりのむのをわすれることはほとんどなく、はじめてから6ヶ月かげつ  
たっていない

③-2 それぞれの文ぶんについて、自分のきもちにいちばん近いものを選んでください。

1. 定期内服ていきないふくすると安心あんしんできる。

- 大変たいへんそう思うおも 少しすこそう思うおも  
あまりおほそう思わないおも 全くまったそう思わないおも

2. 定期内服ていきないふくすることでぜん息ぜんそくのコントロールよが良くなる。

※コントロール=ちょうどよいぐあいに調節・統制すること。管理。

- 大変たいへんそう思うおも 少しすこそう思うおも  
あまりおほそう思わないおも 全くまったそう思わないおも

3. 定期内服ていきないふくすると発作はっさが起きなくなる。

- 大変たいへんそう思うおも 少しすこそう思うおも  
あまりおほそう思わないおも 全くまったそう思わないおも

4. 定期内服ていきないふくすることでぜん息ぜんそくを早くはや治すなおことができる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

5. 定期内服ていきないふくしないと運動うんどうできない。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

6. 定期内服ていきないふくしないと学校がっこうを休やすんでしまう。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

7. 定期内服ていきないふくするように病院びょういんの先生せんせいから言いわれている。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

8. 定期内服ていきないふくは必要ひつようであると病院びょういんの先生せんせいから説明せつめいされている。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

9. 定期内服ていきないふくすることは面倒めんどうに感かんじる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

10. 定期内服ていきないふくすることは副作用ふくさようが心配しんぱいである。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

11. 定期内服ていきないふくすることは薬くすりが苦にがくていやだ。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

12. 定期内服ていきないふくすることは量りょうが多おほくていやだ。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

13. 定期内服ていきないふくしないと親おや（家族かぞく）にしかられる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

14. 定期内服ていきないふくすると親おや（家族かぞく）にほめてもらえる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

15. 定期内服ていきないふくを忘れるわす。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

16. 内服ないふくをするように親おや（家族かぞく）から言われるい。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

17. 病院びょういんの先生せんせいに言われたいので飲んでいるの。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

18. 病院びょういんの先生せんせいの言うこといがあてにならない。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

19. 病院びょういんの先生せんせいが好きすになれない。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

20. 内服ないふくしていないと発作ほっさが起きおそう。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

21. 副作用ふくさようについて知しっている。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

22. 種類しゅるいがたくさんあってまちがえる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

23. 定期内服ていきないふくの準備じゅんびを親おや（家族かぞく）がしてくる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

24. ていきないふく 定期内服おやするときかぞくに親（家族）てつだが手伝てつだってくれる。

たいへん 大変おもそう思う

すこ 少おもしそう思う

おも あまりおもそう思おもわない

まった 全おもくそう思おもわない

25. くすり 薬ひとりを一人のでは飲のめない。

たいへん 大変おもそう思う

すこ 少おもしそう思う

おも あまりおもそう思おもわない

まった 全おもくそう思おもわない

## 喘息日誌

ぜんそくにっし  
喘息日誌についてお聞きします。

Q4 病院の先生から、ぜん息日誌を渡されたことがありますか？

はい いいえ

\* 全員下記の質問にお答えください。

④-1 ぜん息日誌について、あなたにはどれがいちばんあてはまりますか？

- ( ) 日誌は、ぜんぜんつけていない。
- ( ) 日誌をつけるつもりはあるのだけれど、ほとんどできていない
- ( ) 日誌をつけているが、時々（1週間に1回より多く）わすれる
- ( ) 日誌をつけるのを忘れることはほとんどないが、始めてから6ヶ月たっていない
- ( ) 日誌をつけるのを忘れることはほとんどなく、つけ始めてから6ヶ月以上たっている

④-2 下記の項目はあなたにどの程度あてはまるかお答えください。

1. 日誌をつけることでぜん息の状態がわかる。
  - 大変そう思う 少しそう思う
  - あまりそう思わない 全くそう思わない
2. 日誌をつけることで発作の回数がわかる。
  - 大変そう思う 少しそう思う
  - あまりそう思わない 全くそう思わない
3. 日誌をつけることは必要だ。
  - 大変そう思う 少しそう思う
  - あまりそう思わない 全くそう思わない
4. 日誌をつけていると親（家族）にほめられる。
  - 大変そう思う 少しそう思う
  - あまりそう思わない 全くそう思わない

5. 日誌をつけていないと親（家族）におこられる。  
 大変たいへんそう思う  少しすこそう思う  
 あまりおもそう思わない  全くまったそう思わない
6. 日誌をつけていると病院の先生にほめられる。  
 大変たいへんそう思う  少しすこそう思う  
 あまりおもそう思わない  全くまったそう思わない
7. 日誌をつけているとぜん息の状態が病院の先生にわかる。  
 大変たいへんそう思う  少しすこそう思う  
 あまりおもそう思わない  全くまったそう思わない
8. 日誌をつけていても病院の先生がみてくれない。  
 大変たいへんそう思う  少しすこそう思う  
 あまりおもそう思わない  全くまったそう思わない
9. 日誌をつけるのが大変である。  
 大変たいへんそう思う  少しすこそう思う  
 あまりおもそう思わない  全くまったそう思わない
10. 日誌をつけるのが面倒である。  
 大変たいへんそう思う  少しすこそう思う  
 あまりおもそう思わない  全くまったそう思わない
11. 日誌をつけるのが嫌いである。  
 大変たいへんそう思う  少しすこそう思う  
 あまりおもそう思わない  全くまったそう思わない
12. 日誌をつけるのがストレスになる。  
 大変たいへんそう思う  少しすこそう思う  
 あまりおもそう思わない  全くまったそう思わない
13. 日誌をつけるのが楽しい。  
 大変たいへんそう思う  少しすこそう思う  
 あまりおもそう思わない  全くまったそう思わない
14. いそがしいので日誌をつけることができない。  
 大変たいへんそう思う  少しすこそう思う  
 あまりおもそう思わない  全くまったそう思わない



15. 日誌をよくな<sup>にっし</sup>くしてしま<sup>う</sup>う。

大変<sup>たいへん</sup>そう思<sup>おも</sup>う

少し<sup>すこ</sup>そう思<sup>おも</sup>う

あまり<sup>おも</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

全く<sup>まった</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

16. 日誌のつけ方<sup>にっし</sup>がわか<sup>かた</sup>らない。

大変<sup>たいへん</sup>そう思<sup>おも</sup>う

少し<sup>すこ</sup>そう思<sup>おも</sup>う

あまり<sup>おも</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

全く<sup>まった</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

17. 何<sup>なん</sup>のために日誌<sup>にっし</sup>をつ<sup>け</sup>ているかわか<sup>かた</sup>らない。

大変<sup>たいへん</sup>そう思<sup>おも</sup>う

少し<sup>すこ</sup>そう思<sup>おも</sup>う

あまり<sup>おも</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

全く<sup>まった</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

18. 日誌<sup>にっし</sup>をつ<sup>け</sup>ること<sup>そく</sup>でぜん息<sup>そく</sup>をな<sup>お</sup>すこと<sup>そく</sup>ができる。

大変<sup>たいへん</sup>そう思<sup>おも</sup>う

少し<sup>すこ</sup>そう思<sup>おも</sup>う

あまり<sup>おも</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

全く<sup>まった</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

19. 日誌<sup>にっし</sup>をつ<sup>け</sup>るのは自<sup>じ</sup>分<sup>ぶん</sup>のため<sup>だ</sup>。

大変<sup>たいへん</sup>そう思<sup>おも</sup>う

少し<sup>すこ</sup>そう思<sup>おも</sup>う

あまり<sup>おも</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

全く<sup>まった</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

20. 日誌<sup>にっし</sup>をつ<sup>け</sup>るのを親<sup>おや</sup>（家族<sup>かぞく</sup>）が手<sup>て</sup>伝<sup>つ</sup>てくれ<sup>る</sup>る。

大変<sup>たいへん</sup>そう思<sup>おも</sup>う

少し<sup>すこ</sup>そう思<sup>おも</sup>う

あまり<sup>おも</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

全く<sup>まった</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

21. 日誌<sup>にっし</sup>をつ<sup>け</sup>ることに親<sup>おや</sup>（家族<sup>かぞく</sup>）が協<sup>き</sup>力<sup>りき</sup>的<sup>てき</sup>である。

大変<sup>たいへん</sup>そう思<sup>おも</sup>う

少し<sup>すこ</sup>そう思<sup>おも</sup>う

あまり<sup>おも</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

全く<sup>まった</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

22. 日誌<sup>にっし</sup>をつ<sup>け</sup>ていると発<sup>ほ</sup>作<sup>さく</sup>が起<sup>お</sup>きそう<sup>お</sup>なとき<sup>お</sup>がわか<sup>る</sup>る。

大変<sup>たいへん</sup>そう思<sup>おも</sup>う

少し<sup>すこ</sup>そう思<sup>おも</sup>う

あまり<sup>おも</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

全く<sup>まった</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

23. 日誌<sup>にっし</sup>をつ<sup>け</sup>ているとぜん息<sup>そく</sup>がな<sup>あ</sup>る。

大変<sup>たいへん</sup>そう思<sup>おも</sup>う

少し<sup>すこ</sup>そう思<sup>おも</sup>う

あまり<sup>おも</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

全く<sup>まった</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

24. 日誌<sup>にっし</sup>をつ<sup>け</sup>ていると安<sup>あん</sup>心<sup>しん</sup>でき<sup>る</sup>る。

大変<sup>たいへん</sup>そう思<sup>おも</sup>う

少し<sup>すこ</sup>そう思<sup>おも</sup>う

あまり<sup>おも</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

全く<sup>まった</sup>そう思<sup>おも</sup>わない

25. 日誌をつけるように親（家族）から言われる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

26. 日誌をつけるのが習慣になっている。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

## 環境整備

発作ほっさがおきないように、いつもの生活せいかつで気をつけていることについての質問しつもんです。

- Q5 病院びょういんの先生せんせいから、発作ほっさが起きないように気をつけることき（例えば、部屋へやの掃除そうじ、動物どうぶつの飼育しいく、早寝早起はやねはやあき、など）を何かい言われていますか？  
はい いいえ

\*全員ぜんいん下の質問しつもんにお答えこたえください。

### ⑤-1

それぞれの文ぶんについて、自分の気持ちじぶんにいちばんあてはまるものきもを選んでくださいえら。

1. 普段ふだんからそうじ、かたづけほっさをしていると発作ほっさがおこらないくる（苦しくならぬい）。  
大変たいへんそう思うおも 少しすこそう思うおも  
あまりあまりそう思わないおも 全くまったそう思わないおも
2. 普段ふだんからそうじ、かたづけほっさをしなくても発作ほっさはおこらない。  
大変たいへんそう思うおも 少しすこそう思うおも  
あまりあまりそう思わないおも 全くまったそう思わないおも
3. 動物どうぶつ（犬いぬや猫ねこなど）の近くちかに行かないようにしているい。  
大変たいへんそう思うおも 少しすこそう思うおも  
あまりあまりそう思わないおも 全くまったそう思わないおも
4. タバコたばこや花火はなびの煙けむりを吸すわないようにしている。  
大変たいへんそう思うおも 少しすこそう思うおも  
あまりあまりそう思わないおも 全くまったそう思わないおも
5. ほこりほこりをたてないたてないようにしている。  
大変たいへんそう思うおも 少しすこそう思うおも  
あまりあまりそう思わないおも 全くまったそう思わないおも
6. 走はしらないようにしている。  
大変たいへんそう思うおも 少しすこそう思うおも  
あまりあまりそう思わないおも 全くまったそう思わないおも

7. そうじ、かたづけをしないと親（家族）に怒られる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

8. そうじ、かたづけをすると親（家族）にほめられる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

9. そうじ、かたづけをするように病院の先生にいられている。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

10. 動物を飼ってはいけなないと病院の先生にいられている。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

11. 動物が好きである。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

12. そうじ、かたづけは大変である。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

13. そうじ、かたづけは面倒だ。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

14. そうじ、かたづけは必要だ。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

15. そうじ、かたづけをするとぜん息がよくなる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

16. すいみんをきちんととることは必要だ。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わない

全くまったそう思わないおも

17. うがい、手洗てあらいひつようをすることは必要だ。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

18. 規則きそく正しいただ生活せいかつをすることは必要だ。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

19. 何なんのためになんそうじ、かたづけをなんするかわからない。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

20. そうじ、かたづけをなんしなくてもいい。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

21. そうじ、かたづけをなんすると病院びょういんの先生せんせいにほめられる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

22. そうじ、かたづけを親おや（家族かぞく）が手伝てつだってくれる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

23. そうじ、かたづけを親おや（家族かぞく）がやってくれる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

24. そうじ、かたづけをなんするように親おや（家族かぞく）からいわれる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

25. 自分でじぶんそうじ、かたづけがなんできる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

26. そうじ、かたづけは時間じかんがかかる。

大変たいへんそう思うおも

少しすこそう思うおも

あまりおもそう思わないおも

全くまったそう思わないおも

27. そうじ、かたづけが習慣しゅうかんになっている。

大変たいへんと思うおも

少しすこと思うおも

あまりおもと思うおもわない

全くまったと思うおもわない

28. そうじ、かたづけのしかたがわからない。

大変たいへんと思うおも

少しすこと思うおも

あまりおもと思うおもわない

全くまったと思うおもわない

おつかれさまでした。

これでおわりです。

ご協力きょうりょくありがとうございました。

## 気管支喘息の治療状況に関するアンケートご協力をお願い

このアンケートは、気管支喘息を持つお子様および養育者の皆様を対象として行っております。現在の治療状況を把握し、より良い治療環境を提供できるようにしていくための調査です。なお、このデータにつきましては、個人が特定できない形式で統計処理を行い、研究以外の目的で使用されることはありません。

ご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

ご多忙の折、お手数をおかけいたしますが、調査にご協力いただけますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

調査責任者： 大矢 幸弘

国立成育医療センター第一専門診療部アレルギー科

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181

F A X：03-3416-2222

電子メール：ohya-y@ncchd.go.jp

**以下の質問にお答えください。なお答えたくない質問には無回答で構いません。**

アンケートID

\_\_\_\_\_

1) 現在、お住まいの場所はどこですか？

\_\_\_\_\_ 都・道・府・県

\_\_\_\_\_ 区・市・町・村

2) お子様の年齢は何歳ですか？

\_\_\_\_\_ 歳

3) あなた（記入者）とお子さまとの続柄と年齢を教えてください。

(父 母 その他)

年齢 \_\_\_\_\_ 歳

4) あなたは、主にお子さまのぜん息の治療にかかわっていますか？

(はい いいえ)

“いいえ”と回答された方は、主に治療にかかわっている方にご回答をお願いします。

学校名

\_\_\_\_\_

\_\_\_\_\_ 年 組 番

お子様の氏名

\_\_\_\_\_



## 定期受診

あなたのお子様の定期受診(発作がなくてもぜん息のために病院を受診すること)についてお聞きします。

Q1 現在医師から、ぜん息のために定期的な受診が必要だと言われていませんか？

はい いいえ

\*どちらに回答された方も下記の質問にお答えください。

①-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？

- 定期受診させるつもりはない
- 定期受診を始めようと考えているがなかなかできない
- 定期受診を始めようと考えていて、予定を組もうとしている
- 定期受診を始めて半年以内である
- 半年以上定期的に受診している

①-2 下記の項目はあなたにどの程度あてはまるかお答えください。

1. 定期的に受診していると安心できる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
2. 定期受診することでぜん息のコントロールが良くなってきたと思う。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
3. 定期受診することでぜん息の悪化(重症化)を防げる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
4. 定期受診することでぜん息を早く治すことができる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
5. 子供のぜん息治療に定期受診は必要だ。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
6. 定期受診していると発作が出たときに受診しやすい。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
7. 医師から定期受診の必要性について説明されている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
8. 定期受診をすることで医師との信頼関係が深まる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
9. 定期受診をすることで医師に子供の状態をよく知ってもらえるようになる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

10. 定期受診をすることで他の相談もできる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
11. 定期受診をすることでぜん息の知識を得ることができる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
12. 定期受診をすることは経済的に負担がある。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
13. 定期受診をすることは面倒に感じる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
14. 定期受診は習慣になっている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
15. 定期受診に家族が協力してくれる。(本人以外の家族)  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
16. 定期受診について家族と意見が合わない。(父母祖父母など)  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
17. 子どもが受診したがらないので定期受診できない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
18. 子どもが忙しいので定期受診が難しい。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
19. 自分が忙しくて子どもを定期受診させることができない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
20. 定期受診のため子どもに学校を欠席遅刻早退させたくない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
21. 子どもの定期受診のために仕事を欠勤遅刻早退できない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
22. 定期受診することで救急受診や入院が少なくなった。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
23. 定期受診しても医師に十分に症状が説明できない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
24. 定期受診を忘れてしまう。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
25. 発作の時にだけ受診すればよいと思う。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

## 定期吸入

ぜん息の治療薬(吸入)についてお聞きします。

Q2 ぜん息の治療のために、吸入の定期治療薬(毎日定期的に使う薬)を処方されていますか？

はい いいえ

\*「はい」と回答された方のみ②-1 と②-2 の質問にお答えください。

②-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？

- 定期治療薬の投与は受けているが吸入させるつもりはない。
- 吸入させるつもりなのだが、ほとんどできない。
- 吸入させるつもりなのだが 80%未満の実施率である。
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以内である。
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以上続けている。

②-2 下記の項目はあなたにどの程度あてはまるかお答えください。

1. 定期吸入を続けることが必要だ。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

2. 定期吸入の効果を実感できる。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

3. 定期吸入することで発作を起こさなくなる。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

4. 定期吸入はぜん息を早く治すことができる。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

5. 調子が良いため定期吸入を続ける必要がない。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

6. 医師から定期吸入の効果について説明されている。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

7. 医師から定期吸入の安全性について説明されている。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

8. 定期吸入は吸入器(または補助具)の手入れが面倒である。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

9. 定期吸入は手間がかからない。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

10. 定期吸入は子供自身で管理しやすい。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
11. 定期吸入を忘れてしまう。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
12. 定期吸入はこどもが嫌がるため困難である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
13. 吸入ステロイドの定期吸入は、副作用が心配である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
14. 定期吸入は副作用が少ない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
15. 医師から子供本人に定期吸入についての説明をしてもらえる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
16. 忙しくて定期吸入ができない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
17. いつまで吸入し続けるのかが不安である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
18. 発作を起こしたくないので吸入をしている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
19. 定期吸入をすると安心できる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
20. 医師に言われたとおりにしていれば問題ない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
21. 定期吸入を続けていると医師からほめてもらえる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
22. 定期吸入を忘れると医師から注意される。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
23. 定期吸入がうまくできるように家族が協力してくれる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
24. 定期吸入ができなくても家族は助けてくれない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
25. 定期吸入していることを学校が理解してくれている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
26. 定期吸入はやり方が難しい。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
27. 定期吸入を続けるとお金がかかる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

## 定期内服

ぜん息の治療薬(内服)についてお聞きします。

Q3 ぜん息の治療のために、内服の定期治療薬(毎日定期的に使う薬)を処方されていますか？

はい いいえ

\*「はい」と回答された方のみ③-1 と③-2 の質問にお答えください。

③-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？

- 定期治療薬の投与は受けているが飲ませるつもりはない
- 飲ませるつもりなのだが、ほとんどできない
- 飲ませるつもりなのだが 80%未満の実施率である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以内である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以上続けている

③-2 下記の項目はあなたにどの程度あてはまるかお答えください。

1. 定期内服をすることは必要だ。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

2. 医師から薬の安全性について説明されている。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

3. 医師から薬の効果について説明されている。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

4. 医師に言われた通りにしていれば問題がない。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

5. 医師を信頼している。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

6. 定期内服の効果を実感している。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

7. 子供が自分で薬の自己管理ができる。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

8. いつまで飲み続けるのが不安である。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

9. 子どもが内服薬の味を好む。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

10. 子供が嫌がらずに薬を飲める。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
11. 毎日服用することが習慣化されている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
12. 薬の準備が大変である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
13. 内服を忘れてしまう。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
14. 発作を起こしたくないので内服をしている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
15. 定期内服をすると喘息が早く治る。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
16. 学校を休ませたくないので飲ませている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
17. 内服しても発作が起きる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
18. 定期内服すると安心する。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
19. 定期内服の副作用が心配。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
20. 医師を好きになれない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
21. 子供が定期内服すると医師からほめられる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
22. 子供が定期内服すると発作頻度が減る。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
23. 子供に薬をうまく飲ませられない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
24. 定期内服を続けるとお金がかかる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
25. 定期内服がうまくできるように家族が協力してくれる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
26. 定期内服ができなくても家族は助けてくれない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
27. 定期内服していることを学校が理解してくれる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

## ぜんそく日誌

ぜん息日誌の記載についてお聞きます。

Q4 ぜん息の治療のためにぜん息日誌を記載するように医師から言われていますか？

はい いいえ

\*どちらに回答された方も下記の質問にお答えください。

④-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？

- 日誌をつけるつもりはない
- 日誌をつけるつもりなのだが、殆ど出来ていない
- 日誌をつけているが、80%未満である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以内である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以上続けている

④-2 下記の項目はあなたにどの程度あてはまるかお答えください。

1. 日誌をつけることで発作の目安になる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
2. 日誌をつけることで記録として残る。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
3. 日誌をつけることでぜん息の状態がわかる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
4. 日誌をつけることで自己管理ができる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
5. 日誌をつけることで発作の回数が分かる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
6. 日誌をつけることは必要だと思う。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
7. 日誌をつけていなくても発作が起こらない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
8. 日誌をつけることで医師にぜん息の状態を知ってもらう。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
9. 日誌をつけることで医師にほめてもらえる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
10. 日誌をつけていても医師が見てくれない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

11. 日誌をつけることが習慣になっていない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
12. 忙しくて日誌をつけることができない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
13. 日誌をつけることがストレスになる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
14. 日誌をつける作業は大変である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
15. 日誌のつけ方がよくわからない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
16. 日誌をつけるのを忘れる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
17. 日誌をつけるのが面倒である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
18. 日誌をよくなくしてしまう。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
19. 日誌をつけていないと発作が起こる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
20. 日誌をつけているとぜん息が治る。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
21. 日誌をつけていると安心する。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
22. 家族が日誌をつけるのを手伝ってくれる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
23. 家族が日誌をつけるのを手伝ってくれない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
24. 病院の先生が日誌を必ず見てくれる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
25. 日誌をつけることで病院の先生にほめられる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
26. 何のために日誌をつけているかわからない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
27. 子どもが自分で日誌をつけられる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
28. 日誌をつけていることを家族が知っている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない



## 環境整備

環境整備(自宅のダニやホコリ、カビを減らすための掃除や布団対策)についてお聞きします。

Q5 ぜん息の治療のために、環境整備をするように医師から言われていますか？

はい いいえ

\* どちらに回答された方も下記の質問にお答えください。

⑤-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？

- ( ) 環境整備に気をつけようとは思っていない
- ( ) 環境整備に気をつけようとは思っているが、殆ど出来ていない
- ( ) 環境整備に気をつけようと思って、準備をしている状態である
- ( ) 環境整備に気をつけていて、はじめてから半年以内である
- ( ) 環境整備に気をつけていて、はじめてから半年以上続けている

⑤-2 下記の項目はあなたにどの程度あてはまるかお答えください。

1. 環境整備の方法が分からない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
2. 環境整備の方法を医師から説明を受けている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
3. 環境整備をすることで発作頻度が減った。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
4. 環境整備をしないことで発作頻度が増える。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
5. 環境整備の重要性を病院以外(保健所、育児書、インターネットなど)でも聞いている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
6. 環境整備をしても発作頻度は変わらない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
7. 環境整備をする必要はない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
8. 環境整備は必要だ。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
9. 環境整備は楽しい。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

10. 環境整備をすることは当然だ。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
11. 環境整備をすることは習慣になっている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
12. 環境整備は苦手である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
13. 環境整備に家族が協力的である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
14. 環境整備に家族の協力が無い。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
15. 環境整備をする時間がない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
16. 環境整備をする費用がない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
17. 環境整備は家族の健康にも良い効果がある。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
18. 環境整備は家族のアレルギーの予防になる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
19. 環境整備をすることで、定期服薬が減った。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
20. 環境整備をすると安心する。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
21. 環境整備をしないと医師に叱られる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
22. 環境整備をすると医師にほめられる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
23. 環境整備は時間がかかる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

## あなたのお子様についてご記入ください

1-1：現在同居されている兄弟姉妹、同居人の人数を教えてください。

本人（お子様）を含めた兄弟姉妹の数 （ ）人

本人（お子様）を含めた同居人の数 （ ）人

1-2：お子様は通園・通学されていますか？

- |           |                |       |       |       |
|-----------|----------------|-------|-------|-------|
| 1.高校生     | 2.中学生          | 3.小学生 | 4.幼稚園 | 5.保育園 |
| 6.その他託児施設 | 7.集団保育には入っていない |       |       |       |

1-3：お子様が気管支喘息と診断されたのはおいくつのときですか？

歳

1-4：お子様が気管支喘息で病院に通っている期間は何年になりますか？

年

1-5：お子様には喘息以外のアレルギー疾患がありますか・・・

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1.アトピー性皮膚炎 | 2.食物アレルギー  | 3.アレルギー性鼻炎 |
| 4.薬剤アレルギー  | 5.その他(病名 ) |            |

1-6：お子様はほかに何か病気がありますか・・・

0.なし 1.あり(病名 )

1-7：あなたはお子様の気管支喘息の重症度が全体としてどの程度だと評価しますか  
もっとも当てはまる数字1つに○をつけてください。

なし						非常に重症
0	1	2	3	4	5	

## あなたご自身についてお答えください

2-1：あなたの最終卒業校をお選びください。

- |       |       |            |       |        |        |
|-------|-------|------------|-------|--------|--------|
| 1. 中学 | 2. 高校 | 3. 短大・専門学校 | 4. 大学 | 5. 大学院 | 6. その他 |
|-------|-------|------------|-------|--------|--------|

2-2：現在あなたはどの程度の時間お仕事をなさっていますか。

- |       |              |              |
|-------|--------------|--------------|
| 1. なし | 2. 週 30 時間未満 | 3. 週 30 時間以上 |
|-------|--------------|--------------|

2-3：あなたは、どこから喘息の病態や治療についての情報を得ておられますか(複数回答)。

- |                            |
|----------------------------|
| 1. 通院している病院の主治医            |
| 2. 市町村が開催している喘息教室などの催し     |
| 3. 医療機関・市町村などで配布しているパンフレット |
| 4. インターネット                 |
| 5. 患者会などのつながり              |
| 6. その他( )                  |

2-4：以下の質問にお答えください。

1. 全体的にみて、過去 1 ヶ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。

ぜんぜん、 妨げられ なかった	わずかに 妨げられた	少し、 妨げられた	かなり、 妨げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

2. 過去 1 ヶ月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。

ぜんぜん、 妨げられ なかった	わずかに 妨げられた	少し、 妨げられた	かなり、 妨げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

3. 過去 1 ヶ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。

ぜんぜん、 妨げられ なかった	わずかに 妨げられた	少し、 妨げられた	かなり、 妨げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

4. 過去1ヶ月間に、体の痛みはどのくらいありましたか。

ぜんぜん、 妨 <small>きまた</small> げられ なかった	わずかに 妨 <small>さまた</small> げられた	少し、 妨 <small>きまた</small> げられた	かなり、 妨 <small>きまた</small> げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> <sub>1</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>3</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>4</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>5</sub>

5. 過去1ヶ月間、どのくらい元気でしたか。

ぜんぜん、 妨 <small>きまた</small> げられ なかった	わずかに 妨 <small>さまた</small> げられた	少し、 妨 <small>きまた</small> げられた	かなり、 妨 <small>きまた</small> げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> <sub>1</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>3</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>4</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>5</sub>

6. 過去1ヶ月間に、家族や友人とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由でどのくらい妨さまたげられましたか。

ぜんぜん、 妨 <small>きまた</small> げられ なかった	わずかに 妨 <small>さまた</small> げられた	少し、 妨 <small>きまた</small> げられた	かなり、 妨 <small>きまた</small> げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> <sub>1</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>3</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>4</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>5</sub>

7. 過去1ヶ月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか。

ぜんぜん、 妨 <small>きまた</small> げられ なかった	わずかに 妨 <small>さまた</small> げられた	少し、 妨 <small>きまた</small> げられた	かなり、 妨 <small>きまた</small> げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> <sub>1</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>3</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>4</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>5</sub>

8. 過去1ヶ月間に、日常行う活動（仕事、学校、家事などのふだんの行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨さまたげられましたか。

ぜんぜん、 妨 <small>きまた</small> げられ なかった	わずかに 妨 <small>さまた</small> げられた	少し、 妨 <small>きまた</small> げられた	かなり、 妨 <small>きまた</small> げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> <sub>1</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>3</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>4</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>5</sub>

### お子様のご家族についてお聞きします

3-1: ご家族の中 (今回の調査対象のお子様を除く)で現在ぜん息をお持ちの方はいらっしゃいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください

祖父母	父	母	兄弟姉妹

3-2: ご家族の中 (今回の調査対象のお子様を除く)で過去にぜん息をお持ちだった方はいらっしゃいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください

祖父母	父	母	兄弟姉妹

3-3: ご家族の中 (今回の調査対象のお子様を除く)でぜん息で入院された方はいらっしゃいますか。お分りの範囲で当てはまるものすべてに○をつけてください

祖父母	父	母	兄弟姉妹

3-4: 家族、親戚を含めて、ぜん息のためにお亡くなりになられた方はいらっしゃいますか。当てはまるものに○をつけてください。

0.いない 1.いる

3-5: ご家族の中 (今回の調査対象のお子様を除く)で現在ぜん息以外のアレルギー疾患をお持ちの方はいらっしゃいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください

祖父母	父	母	兄弟姉妹

3-6: ご家族(今回の調査対象のお子様を除く)にアレルギー疾患以外で、医師から診断された持病(慢性の病気)がありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。差し支えなければ病名もお書きください。

祖父母	父	母	兄弟姉妹

**現在定期的に医療機関を受診されている方にお聞きします**

4-1：主治医にどの程度症状を理解してもらっていると思いますか



4-2：現在の主治医との関係に満足していますか



### 最近3ヶ月間のお子様のぜん息の状況についておたずねします

5-1：喘息発作のために入院したことはありましたか・・・

0.なし 1.あり

5-2：喘息発作のために予約外受診することはありましたか。

0.なし 1.あり

5-3：大発作(はなれていても“ぜいぜい”と呼吸困難で横になれないほどの発作)はどれくらいありましたか。

0. なし 1. 3ヶ月に1回未満 2. 月に1回以上、週に1回未満  
3 .週に1回以上 4. ほぼ毎日

5-4：中発作(明らかな“ぜいぜい”がある。横になれるが、眠れない程度の発作)はどれくらいありましたか。

0. なし 1. 3ヶ月に1回未満 2. 月に1回以上、週に1回未満  
3 .週に1回以上 4. ほぼ毎日

5-5：小発作(少し“ぜいぜい”がきこえるが食事、睡眠ができる程度の発作)はどれくらいありましたか。

0. なし 1. 3ヶ月に1回未満 2. 月に1回以上、週に1回未満  
3 .週に1回以上 4. ほぼ毎日

5-6：現在、お子様がぜん息発作がないときでもぜん息の治療のために毎日使用している薬はありますか。ある場合にはその薬の種類を記入してください。

0.なし 1.あり (薬の名前： )

5-7 現在、お子様は乳児医療、子供医療券、ぜん息医療のための小児慢性特定疾患など医療費の公的補助を受けていますか？

0.なし 1.あり



## ぜん息に関する知識についてお聞きします

以下の質問で正しいと思うものには括弧内に○を、間違っていると思うものには×をつけて下さい。わからない場合は△をつけてください。

- ( ) 1. ぜん息は気道の炎症によるものである
- ( ) 2. 室内喫煙は子どものぜん息を悪化させる可能性がある
- ( ) 3. 成長するにつれてぜん息が軽症化してくる人たちがいる
- ( ) 4. 泣いたり笑ったりすることでぜん息発作は起こりうる
- ( ) 5. ぜん息児は発作がないときも長時間走るスポーツをするべきではない
- ( ) 6. 乳幼児はウィルス気道感染後にぜん息発作を起こすことがある
- ( ) 7. 寒いところで運動すると発作が起こることがある
- ( ) 8. 気管支拡張剤などの急性発作で用いる吸入薬は気道炎症を抑えるために使われる
- ( ) 9. ぜん息治療薬には、毎日使用しないと効果を現さないものもある
- ( ) 10. 10年前に比べて現在ではぜん息患者は減っている。

これでおしまいです。

ご協力ありがとうございました。

## 気管支喘息の治療状況に関するアンケートご協力をお願い

このアンケートは、気管支喘息を持つお子様および養育者の皆様を対象として行っております。現在の治療状況を把握し、より良い治療環境を提供できるようにしていくための調査です。なお、このデータにつきましては、個人が特定できない形式で統計処理を行い、研究以外の目的で使用されることはありません。

ご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

ご多忙の折、お手数をおかけいたしますが、調査にご協力いただけますよう、何卒、よろしくお願い申し上げます。

調査責任者： 大矢 幸弘

国立成育医療センター第一専門診療部アレルギー科

〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1

電話：03-3416-0181

F A X：03-3416-2222

電子メール：ohya-y@ncchd.go.jp

**以下の質問にお答えください。なお答えたくない質問には無回答で構いません。**

アンケートID

\_\_\_\_\_

- 1) 現在、お住まいの場所はどこですか？

\_\_\_\_\_ 都・道・府・県

\_\_\_\_\_ 区・市・町・村

- 2) お子様の年齢は何歳ですか？

\_\_\_\_\_ 歳

- 3) あなた（記入者）とお子さまとの続柄と年齢を教えてください。

(父 母 その他)

年齢 \_\_\_\_\_ 歳

- 4) あなたは、主にお子さまのぜん息の治療にかかわっていますか？

(はい いいえ)

“いいえ”と回答された方は、主に治療にかかわっている方にご回答をお願いします。

いらっしゃらない場合には申し訳ありませんが担当者にお申し出ください。

診察券番号

\_\_\_\_\_

お子様の氏名

\_\_\_\_\_

## 定期受診

あなたのお子様の定期受診(発作がなくてもぜん息のために病院を受診すること)についてお聞きします。

Q1 現在医師から、ぜん息のために定期的な受診が必要だと言われていませんか？

はい いいえ

\*どちらに回答された方も下記の質問にお答えください。

①-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？

- 定期受診させるつもりはない
- 定期受診を始めようと考えているがなかなかできない
- 定期受診を始めようと考えていて、予定を組もうとしている
- 定期受診を始めて半年以内である
- 半年以上定期的に受診している

①-2 下記の項目はあなたにどの程度あてはまるかお答えください。

1. 定期的に受診していると安心できる。  
 大変そう思う  少しそう思う  あまりそう思わない  全くそう思わない
2. 定期受診することでぜん息のコントロールが良くなってきたと思う。  
 大変そう思う  少しそう思う  あまりそう思わない  全くそう思わない
3. 定期受診することでぜん息の悪化(重症化)を防げる。  
 大変そう思う  少しそう思う  あまりそう思わない  全くそう思わない
4. 定期受診することでぜん息を早く治すことができる。  
 大変そう思う  少しそう思う  あまりそう思わない  全くそう思わない
5. 子供のぜん息治療に定期受診は必要だ。  
 大変そう思う  少しそう思う  あまりそう思わない  全くそう思わない
6. 定期受診していると発作が出たときに受診しやすい。  
 大変そう思う  少しそう思う  あまりそう思わない  全くそう思わない
7. 医師から定期受診の必要性について説明されている。  
 大変そう思う  少しそう思う  あまりそう思わない  全くそう思わない
8. 定期受診をすることで医師との信頼関係が深まる。  
 大変そう思う  少しそう思う  あまりそう思わない  全くそう思わない
9. 定期受診をすることで医師に子供の状態をよく知ってもらえるようになる。  
 大変そう思う  少しそう思う  あまりそう思わない  全くそう思わない

10. 定期受診をすることで他の相談もできる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
11. 定期受診をすることでぜん息の知識を得ることができる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
12. 定期受診をすることは経済的に負担がある。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
13. 定期受診をすることは面倒に感じる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
14. 定期受診は習慣になっている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
15. 定期受診に家族が協力してくれる。(本人以外の家族)  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
16. 定期受診について家族と意見が合わない。(父母祖父母など)  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
17. 子どもが受診したがらないので定期受診できない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
18. 子どもが忙しいので定期受診が難しい。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
19. 自分が忙しくて子どもを定期受診させることができない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
20. 定期受診のため子どもに学校を欠席遅刻早退させたくない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
21. 子どもの定期受診のために仕事を欠勤遅刻早退できない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
22. 定期受診することで救急受診や入院が少なくなった。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
23. 定期受診しても医師に十分に症状が説明できない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
24. 定期受診を忘れてしまう。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
25. 発作の時にだけ受診すればよいと思う。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

## 定期吸入

ぜん息の治療薬(吸入)についてお聞きします。

Q2 ぜん息の治療のために、吸入の定期治療薬(毎日定期的に使う薬)を処方されていますか？

はい いいえ

\*「はい」と回答された方のみ②-1 と②-2 の質問にお答えください。

②-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？

- 定期治療薬の投与は受けているが吸入させるつもりはない。
- 吸入させるつもりなのだが、ほとんどできない。
- 吸入させるつもりなのだが 80%未満の実施率である。
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以内である。
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以上続けている。

②-2 下記の項目はあなたにどの程度あてはまるかお答えください。

1. 定期吸入を続けることが必要だ。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

2. 定期吸入の効果を実感できる。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

3. 定期吸入することで発作を起こさなくなる。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

4. 定期吸入はぜん息を早く治すことができる。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

5. 調子が良いため定期吸入を続ける必要がない。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

6. 医師から定期吸入の効果について説明されている。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

7. 医師から定期吸入の安全性について説明されている。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

8. 定期吸入は吸入器(または補助具)の手入れが面倒である。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

9. 定期吸入は手間がかからない。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

10. 定期吸入は子供自身で管理しやすい。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
11. 定期吸入を忘れてしまう。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
12. 定期吸入はこどもが嫌がるため困難である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
13. 吸入ステロイドの定期吸入は、副作用が心配である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
14. 定期吸入は副作用が少ない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
15. 医師から子供本人に定期吸入についての説明をしてもらえる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
16. 忙しくて定期吸入ができない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
17. いつまで吸入し続けるのかが不安である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
18. 発作を起こしたくないので吸入をしている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
19. 定期吸入をすると安心できる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
20. 医師に言われたとおりにしていれば問題ない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
21. 定期吸入を続けていると医師からほめてもらえる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
22. 定期吸入を忘れると医師から注意される。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
23. 定期吸入がうまくできるように家族が協力してくれる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
24. 定期吸入ができなくても家族は助けてくれない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
25. 定期吸入していることを学校が理解してくれている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
26. 定期吸入はやり方が難しい。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
27. 定期吸入を続けるとお金がかかる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

## 定期内服

ぜん息の治療薬(内服)についてお聞きします。

Q3 ぜん息の治療のために、内服の定期治療薬(毎日定期的に使う薬)を処方されていますか？

はい いいえ

\*「はい」と回答された方のみ③-1 と③-2 の質問にお答えください。

③-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？

- 定期治療薬の投与は受けているが飲ませるつもりはない
- 飲ませるつもりなのだが、ほとんどできない
- 飲ませるつもりなのだが 80%未満の実施率である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以内である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以上続けている

③-2 下記の項目はあなたにどの程度あてはまるかお答えください。

1. 定期内服をすることは必要だ。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

2. 医師から薬の安全性について説明されている。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

3. 医師から薬の効果について説明されている。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

4. 医師に言われた通りにしていれば問題がない。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

5. 医師を信頼している。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

6. 定期内服の効果を実感している。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

7. 子供が自分で薬の自己管理ができる。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

8. いつまで飲み続けるのが不安である。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

9. 子どもが内服薬の味を好む。

大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない



10. 子供が嫌がらずに薬を飲める。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
11. 毎日服用することが習慣化されている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
12. 薬の準備が大変である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
13. 内服を忘れてしまう。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
14. 発作を起こしたくないので内服をしている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
15. 定期内服をすると喘息が早く治る。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
16. 学校を休ませたくないので飲ませている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
17. 内服しても発作が起きる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
18. 定期内服すると安心する。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
19. 定期内服の副作用が心配。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
20. 医師を好きになれない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
21. 子供が定期内服すると医師からほめられる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
22. 子供が定期内服すると発作頻度が減る。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
23. 子供に薬をうまく飲ませられない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
24. 定期内服を続けるとお金がかかる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
25. 定期内服がうまくできるように家族が協力してくれる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
26. 定期内服ができなくても家族は助けてくれない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
27. 定期内服していることを学校が理解してくれる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

## ぜんそく日誌

ぜん息日誌の記載についてお聞きます。

Q4 ぜん息の治療のためにぜん息日誌を記載するように医師から言われていますか？

はい いいえ

\*どちらに回答された方も下記の質問にお答えください。

④-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？

- 日誌をつけるつもりはない
- 日誌をつけるつもりなのだが、殆ど出来ていない
- 日誌をつけているが、80%未満である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以内である
- 80%以上実施できていて、始めてから半年以上続けている

④-2 下記の項目はあなたにどの程度あてはまるかお答えください。

1. 日誌をつけることで発作の目安になる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
2. 日誌をつけることで記録として残る。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
3. 日誌をつけることでぜん息の状態がわかる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
4. 日誌をつけることで自己管理ができる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
5. 日誌をつけることで発作の回数が分かる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
6. 日誌をつけることは必要だと思う。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
7. 日誌をつけていなくても発作が起こらない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
8. 日誌をつけることで医師にぜん息の状態を知ってもらう。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
9. 日誌をつけることで医師にほめてもらえる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
10. 日誌をつけていても医師が見てくれない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

11. 日誌をつけることが習慣になっていない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
12. 忙しくて日誌をつけることができない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
13. 日誌をつけることがストレスになる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
14. 日誌をつける作業は大変である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
15. 日誌のつけ方がよくわからない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
16. 日誌をつけるのを忘れる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
17. 日誌をつけるのが面倒である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
18. 日誌をよくなくしてしまう。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
19. 日誌をつけていないと発作が起こる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
20. 日誌をつけているとぜん息が治る。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
21. 日誌をつけていると安心する。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
22. 家族が日誌をつけるのを手伝ってくれる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
23. 家族が日誌をつけるのを手伝ってくれない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
24. 病院の先生が日誌を必ず見てくれる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
25. 日誌をつけることで病院の先生にほめられる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
26. 何のために日誌をつけているかわからない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
27. 子どもが自分で日誌をつけられる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
28. 日誌をつけていることを家族が知っている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

## 環境整備

環境整備(自宅のダニやホコリ、カビを減らすための掃除や布団対策)についてお聞きします。

Q5 ぜん息の治療のために、環境整備をするように医師から言われていますか？

はい いいえ

\* どちらに回答された方も下記の質問にお答えください。

⑤-1 あなたとお子様の状況はどれに最も近いですか？

- ( ) 環境整備に気をつけようとは思っていない
- ( ) 環境整備に気をつけようとは思っているが、殆ど出来ていない
- ( ) 環境整備に気をつけようと思って、準備をしている状態である
- ( ) 環境整備に気をつけていて、はじめてから半年以内である
- ( ) 環境整備に気をつけていて、はじめてから半年以上続けている

⑤-2 下記の項目はあなたにどの程度あてはまるかお答えください。

1. 環境整備の方法が分からない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
2. 環境整備の方法を医師から説明を受けている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
3. 環境整備をすることで発作頻度が減った。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
4. 環境整備をしないことで発作頻度が増える。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
5. 環境整備の重要性を病院以外(保健所、育児書、インターネットなど)でも聞いている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
6. 環境整備をしても発作頻度は変わらない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
7. 環境整備をする必要はない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
8. 環境整備は必要だ。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
9. 環境整備は楽しい。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

10. 環境整備をすることは当然だ。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
11. 環境整備をすることは習慣になっている。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
12. 環境整備は苦手である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
13. 環境整備に家族が協力的である。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
14. 環境整備に家族の協力が無い。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
15. 環境整備をする時間がない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
16. 環境整備をする費用がない。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
17. 環境整備は家族の健康にも良い効果がある。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
18. 環境整備は家族のアレルギーの予防になる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
19. 環境整備をすることで、定期服薬が減った。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
20. 環境整備をすると安心する。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
21. 環境整備をしないと医師に叱られる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
22. 環境整備をすると医師にほめられる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない
23. 環境整備は時間がかかる。  
大変そう思う 少しそう思う あまりそう思わない 全くそう思わない

## あなたのお子様についてご記入ください

1-1：現在同居されている兄弟姉妹、同居人の人数を教えてください。

本人（お子様）を含めた兄弟姉妹の数 （ ）人

本人（お子様）を含めた同居人の数 （ ）人

1-2：お子様は通園・通学されていますか？

- |           |                |       |       |       |
|-----------|----------------|-------|-------|-------|
| 1.高校生     | 2.中学生          | 3.小学生 | 4.幼稚園 | 5.保育園 |
| 6.その他託児施設 | 7.集団保育には入っていない |       |       |       |

1-3：お子様が気管支喘息と診断されたのはおいくつのときですか？

歳

1-4：お子様が気管支喘息で病院に通っている期間は何年になりますか？

年

1-5：お子様には喘息以外のアレルギー疾患がありますか・・・

- |            |            |            |
|------------|------------|------------|
| 1.アトピー性皮膚炎 | 2.食物アレルギー  | 3.アレルギー性鼻炎 |
| 4.薬剤アレルギー  | 5.その他(病名 ) |            |

1-6：お子様はほかに何か病気がありますか・・・

0.なし 1.あり(病名 )

1-7：あなたはお子様の気管支喘息の重症度が全体としてどの程度だと評価しますか  
もっとも当てはまる数字1つに○をつけてください。

なし						非常に重症
0	1	2	3	4	5	

## あなたご自身についてお答えください

2-1：あなたの最終卒業校をお選びください。

1. 中学 2. 高校 3. 短大・専門学校 4. 大学 5. 大学院 6. その他

2-2：現在あなたはどの程度の時間お仕事をなさっていますか。

1. なし 2. 週 30 時間未満 3. 週 30 時間以上

2-3：あなたは、どこから喘息の病態や治療についての情報を得ておられますか(複数回答)。

1. 通院している病院の主治医
2. 市町村が開催している喘息教室などの催し
3. 医療機関・市町村などで配布しているパンフレット
4. インターネット
5. 患者会などのつながり
6. その他( )

2-4：以下の質問にお答えください。

1. 全体的にみて、過去 1 ヶ月間のあなたの健康状態はいかがでしたか。

ぜんぜん、 妨げられ なかった	わずかに 妨げられた	少し、 妨げられた	かなり、 妨げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

2. 過去 1 ヶ月間に、体を使う日常活動（歩いたり階段を昇ったりなど）をすることが身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。

ぜんぜん、 妨げられ なかった	わずかに 妨げられた	少し、 妨げられた	かなり、 妨げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

3. 過去 1 ヶ月間に、いつもの仕事（家事も含みます）をすることが、身体的な理由でどのくらい妨げられましたか。

ぜんぜん、 妨げられ なかった	わずかに 妨げられた	少し、 妨げられた	かなり、 妨げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> 1	<input type="checkbox"/> 2	<input type="checkbox"/> 3	<input type="checkbox"/> 4	<input type="checkbox"/> 5

4. 過去1ヶ月間に、体の痛みはどのくらいありましたか。

ぜんぜん、 妨 <small>きまた</small> げられ なかった	わずかに 妨 <small>さまた</small> げられた	少し、 妨 <small>きまた</small> げられた	かなり、 妨 <small>きまた</small> げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> <sub>1</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>3</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>4</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>5</sub>

5. 過去1ヶ月間、どのくらい元気でしたか。

ぜんぜん、 妨 <small>きまた</small> げられ なかった	わずかに 妨 <small>さまた</small> げられた	少し、 妨 <small>きまた</small> げられた	かなり、 妨 <small>きまた</small> げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> <sub>1</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>3</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>4</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>5</sub>

6. 過去1ヶ月間に、家族や友人とのふだんのつきあいが、身体的あるいは心理的な理由でどのくらい妨さまたげられましたか。

ぜんぜん、 妨 <small>きまた</small> げられ なかった	わずかに 妨 <small>さまた</small> げられた	少し、 妨 <small>きまた</small> げられた	かなり、 妨 <small>きまた</small> げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> <sub>1</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>3</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>4</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>5</sub>

7. 過去1ヶ月間に、心理的な問題（不安を感じたり、気分が落ち込んだり、イライラしたり）に、どのくらい悩まされましたか。

ぜんぜん、 妨 <small>きまた</small> げられ なかった	わずかに 妨 <small>さまた</small> げられた	少し、 妨 <small>きまた</small> げられた	かなり、 妨 <small>きまた</small> げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> <sub>1</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>3</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>4</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>5</sub>

8. 過去1ヶ月間に、日常行う活動（仕事、学校、家事などのふだんの行動）が、心理的な理由で、どのくらい妨さまたげられましたか。

ぜんぜん、 妨 <small>きまた</small> げられ なかった	わずかに 妨 <small>さまた</small> げられた	少し、 妨 <small>きまた</small> げられた	かなり、 妨 <small>きまた</small> げられた	いつもの 仕事ができ なかった。
▼	▼	▼	▼	▼
<input type="checkbox"/> <sub>1</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>2</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>3</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>4</sub>	<input type="checkbox"/> <sub>5</sub>



### お子様のご家族についてお聞きします

3-1: ご家族の中 (今回の調査対象のお子様を除く)で現在ぜん息をお持ちの方はいらっしゃいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください

祖父母	父	母	兄弟姉妹

3-2: ご家族の中 (今回の調査対象のお子様を除く)で過去にぜん息をお持ちだった方はいらっしゃいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください

祖父母	父	母	兄弟姉妹

3-3: ご家族の中 (今回の調査対象のお子様を除く)でぜん息で入院された方はいらっしゃいますか。お分りの範囲で当てはまるものすべてに○をつけてください

祖父母	父	母	兄弟姉妹

3-4: 家族、親戚を含めて、ぜん息のためにお亡くなりになられた方はいらっしゃいますか。当てはまるものに○をつけてください。

0.いない 1.いる

3-5: ご家族の中 (今回の調査対象のお子様を除く)で現在ぜん息以外のアレルギー疾患をお持ちの方はいらっしゃいますか。当てはまるものすべてに○をつけてください

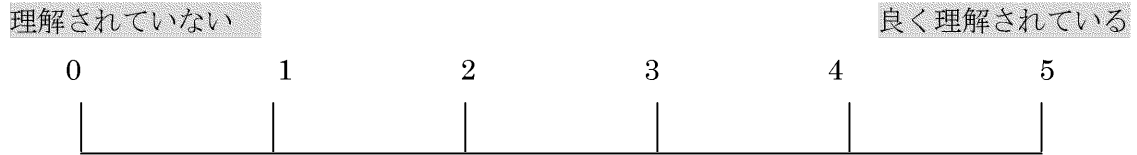
祖父母	父	母	兄弟姉妹

3-6: ご家族(今回の調査対象のお子様を除く)にアレルギー疾患以外で、医師から診断された持病(慢性の病気)がありますか。当てはまるものすべてに○をつけてください。差し支えなければ病名もお書きください。

祖父母	父	母	兄弟姉妹

**現在定期的に医療機関を受診されている方にお聞きします**

4-1：主治医にどの程度症状を理解してもらっていると思いますか



4-2：現在の主治医との関係に満足していますか



**最近3ヶ月間のお子様のぜん息の状況についておたずねします**

5-1：喘息発作のために入院したことはありましたか・・・

0.なし 1.あり

5-2：喘息発作のために予約外受診することはありましたか・

0.なし 1.あり

5-3：大発作(はなれていても“ぜいぜい”と呼吸困難で横になれないほどの発作)はどれくらいありましたか。

0. なし 1. 3ヶ月に1回未満 2. 月に1回以上、週に1回未満  
3 .週に1回以上 4. ほぼ毎日

5-4：中発作(明らかな“ぜいぜい”がある。横になれるが、眠れない程度の発作)はどれくらいありましたか。

0. なし 1. 3ヶ月に1回未満 2. 月に1回以上、週に1回未満  
3 .週に1回以上 4. ほぼ毎日

5-5：小発作(少し“ぜいぜい”がきこえるが食事、睡眠ができる程度の発作)はどれくらいありましたか。

0. なし 1. 3ヶ月に1回未満 2. 月に1回以上、週に1回未満  
3 .週に1回以上 4. ほぼ毎日

5-6：現在、お子様がぜん息発作がないときでもぜん息の治療のために毎日使用している薬はありますか。ある場合にはその薬の種類を記入してください。

0.なし 1.あり (薬の名前： )

5-7 現在、お子様は乳児医療、子供医療券、ぜん息医療のための小児慢性特定疾患など医療費の公的補助を受けていますか？

0.なし 1.あり

## ぜん息に関する知識についてお聞きします

以下の質問で正しいと思うものには括弧内に○を、間違っていると思うものには×をつけて下さい。わからない場合は△をつけてください。

- ( ) 1. ぜん息は気道の炎症によるものである
- ( ) 2. 室内喫煙は子どものぜん息を悪化させる可能性がある
- ( ) 3. 成長するにつれてぜん息が軽症化してくる人たちがいる
- ( ) 4. 泣いたり笑ったりすることでぜん息発作は起こりうる
- ( ) 5. ぜん息児は発作がないときも長時間走るスポーツをするべきではない
- ( ) 6. 乳幼児はウィルス気道感染後にぜん息発作を起こすことがある
- ( ) 7. 寒いところで運動すると発作が起こることがある
- ( ) 8. 気管支拡張剤などの急性発作で用いる吸入薬は気道炎症を抑えるために使われる
- ( ) 9. ぜん息治療薬には、毎日使用しないと効果を現さないものもある
- ( ) 10. 10年前に比べて現在ではぜん息患者は減っている。

これでおしまいです。

ご協力ありがとうございました。

以下は、医師記入欄ですので、空白で構いません。

## 医師記入欄

### BA adherence study 第2回大規模調査医師記入用紙

1: 患者さんの発作頻度(治療を加味しない)お答えください

- 1) 間歇型 2) 軽症持続型 3) 中等症持続型 4) 重症持続型

2: 患者さんの受診頻度をお答えください

- 1) 定期受診していない  
2) 定期受診している



- ① 2週に1回以上 ② 月に1回程度 ③ 2・3ヶ月に1回 ④ ③以下

3: 患者さんの治療内容をお教えてください

	有無	使用状況	1日回数	1日使用量
ステロイド吸入	(あり なし)	(定期使用 頓用使用)	回	$\mu\text{g}$
インターール吸入	(あり なし)	(定期使用 頓用使用)	回	
$\beta$ 吸入	(あり なし)	(定期使用 頓用使用)	回	
LABA吸入	(あり なし)	(定期使用 頓用使用)	回	
抗LT剤内服	(あり なし)	(定期使用 頓用使用)	回	
IPD内服	(あり なし)	(定期使用 頓用使用)	回	
テオフィリン内服	(あり なし)	(定期使用 頓用使用)	回	
$\beta$ 内服	(あり なし)	(定期使用 頓用使用)	回	
ツロブテロール貼付	(あり なし)	(定期使用 頓用使用)	回	

ステロイド吸入1日使用量はFP換算をお願いします